

# 狛江市ヤングケアラー実態調査

## 報告書

令和8年3月

狛江市



# 目次

第1章 調査の概要 .....	1
1 調査の目的と方法 .....	3
(1) 調査の背景と目的 .....	3
(2) 調査の対象と方法 .....	3
(3) 調査期間 .....	3
(4) 回収状況 .....	3
◆ 調査結果の見方について .....	4
2 調査結果の概要 .....	5
(1) 世話をしている家族の有無 .....	5
(2) 世話をしている相手 .....	5
(3) 世話をしている理由 .....	6
(4) 世話をしている頻度 .....	7
(5) 世話をしている時間 .....	7
(6) 世話をすることによる生活への影響 .....	8
(7) 支援してほしいこと .....	10
(8) 希望する相談方法 .....	10
(9) ヤングケアラーの自覚 .....	11
(10) 世話について感じること .....	11
(11) ヤングケアラーという言葉の認知 .....	12
(12) 記名者について .....	12
3 調査のまとめ .....	14
(1) 世話をしている子どもの割合 .....	14
(2) 世話をしている相手と理由 .....	14
(3) 世話の頻度と時間 .....	14
(4) 日常生活への影響 .....	14
(5) 世話について感じること .....	15
(6) 求めるサポートと相談方法 .....	15
(7) ヤングケアラーとしての自己認識と用語認知 .....	15
(8) 相談の状況 .....	15
(9) 自由記述にみる学年段階別の意識の変化 .....	16
(10) 記名のあった子どもへの対応と要支援者の確認 .....	16
(11) 課題と取組の方向性 .....	17

第2章 調査結果 .....	19
1 小学生調査（5・6年生） .....	21
1 基本情報 .....	21
問1.あなたの学校を教えてください。 .....	21
問2.あなたの学年を教えてください。 .....	21
問3.学級名（省略） .....	21
問4.出席番号（省略） .....	21
問5.あなたの性別について教えてください。 .....	22
問6.あなたの健康状態について教えてください。 .....	22
2 家庭や家族のことについて .....	23
問7.家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。 .....	23
問8.あなたが一緒に住んでいるのは誰ですか。 .....	23
問8-① あなたの兄についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	24
問8-② あなたの姉についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	24
問8-③ あなたの弟についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	25
問8-④ あなたの妹についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	25
問9.あなたは誰のお世話をしていますか。 .....	26
問10.あなたがお世話している人の状況について教えてください。 .....	27
問10-① お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	27
問10-② おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	28
問10-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	29
問10-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	30
問11.あなたはどのようなお世話をしていますか。 .....	31
問12.あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。 .....	32
問13.あなたはどのくらいお世話をしていますか。 .....	33
問14.あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。 .....	33
問15.お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。 .....	34
問16.あなたはお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。 .....	35
問16-① 相談した相手は誰ですか。 .....	36
問16-② 相談していない理由を教えてください。 .....	37
問17.学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいなと思うサポートは何ですか。 .....	38
問18.あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。 .....	39
問19.あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。 .....	39
問19-① あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。 .....	40

問 20.「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありますか。 .....	40
問 21.ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることがあれば自由に書いてください。(自由記述) .....	41
★ 最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」人のみ、こちらにお名前を書いてください。 .....	48
<b>2 中学生調査</b> .....	<b>49</b>
<b>1 基本情報</b> .....	<b>49</b>
問 1.あなたの学校を教えてください。 .....	49
問 2.あなたの学年を教えてください。 .....	49
問 3.学級名(省略) .....	49
問 4.出席番号(省略) .....	49
問 5.あなたの性別を教えてください。 .....	50
問 6.あなたの健康状態について教えてください。 .....	50
<b>2 家庭や家族のことについて</b> .....	<b>51</b>
問 7.家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。 .....	51
問 8.あなたが一緒に住んでいるのは誰ですか。 .....	51
問 8-① あなたの兄についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	52
問 8-② あなたの姉についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	52
問 8-③ あなたの弟についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	53
問 8-④ あなたの妹についてあてはまるものをすべて選んでください。 .....	54
問 9.あなたは誰のお世話をしていますか。 .....	55
問 10.あなたがお世話している人の状況について教えてください。 .....	56
問 10-① お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	56
問 10-② おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	57
問 10-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	58
問 10-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	59
問 11.あなたはどのようなお世話をしていますか。 .....	60
問 12.あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。 .....	61
問 13.あなたはどのくらいお世話をしていますか。 .....	62
問 14.あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。 .....	62
問 15.お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。 .....	63
問 16.あなたはお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。 .....	64
問 16-① 相談した相手は誰ですか。 .....	65
問 16-② 相談していない理由を教えてください。 .....	66

問 17.学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであったらいいなと思 うサポートは何ですか。 .....	67
問 18.あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。 .....	68
問 19.あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。 .....	68
問 19-① あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。 .....	69
問 20.「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがあり ましたか。 .....	69
問 21.ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることがあれば自由に書 いてください。(自由記述) .....	70
★ 最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かして ほしい」人のみ、こちらにお名前を書いてください。 .....	77
<b>3 高校生世代調査</b> .....	<b>78</b>
<b>1 基本情報</b> .....	<b>78</b>
問 1.あなたが住んでいる地区を教えてください。 .....	78
問 2.あなたの年齢を教えてください。 .....	79
問 3.あなたの性別を教えてください。 .....	79
問 4.あなたの状況について教えてください。 .....	80
問 5.あなたの健康状態について教えてください。 .....	80
<b>2 家庭や家族のことについて</b> .....	<b>81</b>
問 6.家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。 .....	81
問 7.現在一緒に住んでいる家族について教えてください。 .....	81
問 8.あなたは誰のお世話をしていますか。 .....	82
問 9.あなたがお世話している人の状況について教えてください。 .....	83
問 9-① 母親や父親のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	83
問 9-② 祖母や祖父のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	84
問 9-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	85
問 9-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。 .....	86
問 10.あなたはどのようなお世話をしていますか。 .....	87
問 11.あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。 .....	88
問 12.あなたはどのくらいお世話をしていますか。 .....	89
問 13.あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。 .....	89
問 14.お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。 .....	90
問 15.あなたはお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したこと はありますか。 .....	91
問 15-① 相談した相手は誰ですか。 .....	92
問 15-② 相談していない理由を教えてください。 .....	93

問 16.学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいなと思 うサポートは何ですか。 .....	94
問 17.あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。 .....	95
問 18.あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。 .....	95
問 18-① あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。 .....	96
問 19.「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがあり ましたか。 .....	96
問 20.ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることがあれば自由に書 いてください。(自由記述) .....	97
★ 最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「支援して ほしい」人のみ、こちらにお名前・住所・電話番号を書いてください。 .....	100



# 第1章 調査の概要

---

調査の目的と方法

調査結果の概要

調査のまとめ



## 1 調査の目的と方法

### (1) 調査の背景と目的

ヤングケアラーと思われる子どもを早期に把握し、適切な支援につなげることができるよう実態把握を実施するとともに、本人や家族が必要とするニーズの把握を行うことを目的とする。

### (2) 調査の対象と方法

調査対象者	調査方法
狛江市立小学校5・6年生の児童	各学校を通じて児童・生徒に向け、保護者向けの調査依頼文を送付し、児童・生徒本人が学校配布のタブレット端末からWeb上のアンケートフォームにアクセスし回答する。
狛江市立中学校1・2・3年生の生徒	
狛江市在住の高校生世代	高校生世代向け、保護者向けの依頼文にインターネット回答ページの二次元コードを印字したものを郵送し、高校生世代本人が個人の端末でWeb上のアンケートフォームにアクセスし回答する。

### (3) 調査期間

令和7年11月10日～令和7年12月9日

### (4) 回収状況

調査対象者	配布数	回収数	回収率
狛江市立小学校5・6年生の児童	1330	783	58.9%
狛江市立中学校1・2・3年生の生徒	1424	888	62.4%
狛江市在住の高校生世代	1916	300	15.7%

◆ 調査結果の見方について

- 集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（％）を全て合計しても、四捨五入の関係で100％にならない場合がある。
- 複数回答の場合、回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、各選択肢の割合を合計すると100％を超えることがある。
- 回答結果を見やすくするために、グラフや表等で回答のなかった選択肢や無回答など一部の項目を省略している場合がある。

【ヤングケアラーとは？】

“本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることも・若者”のこと。  
責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



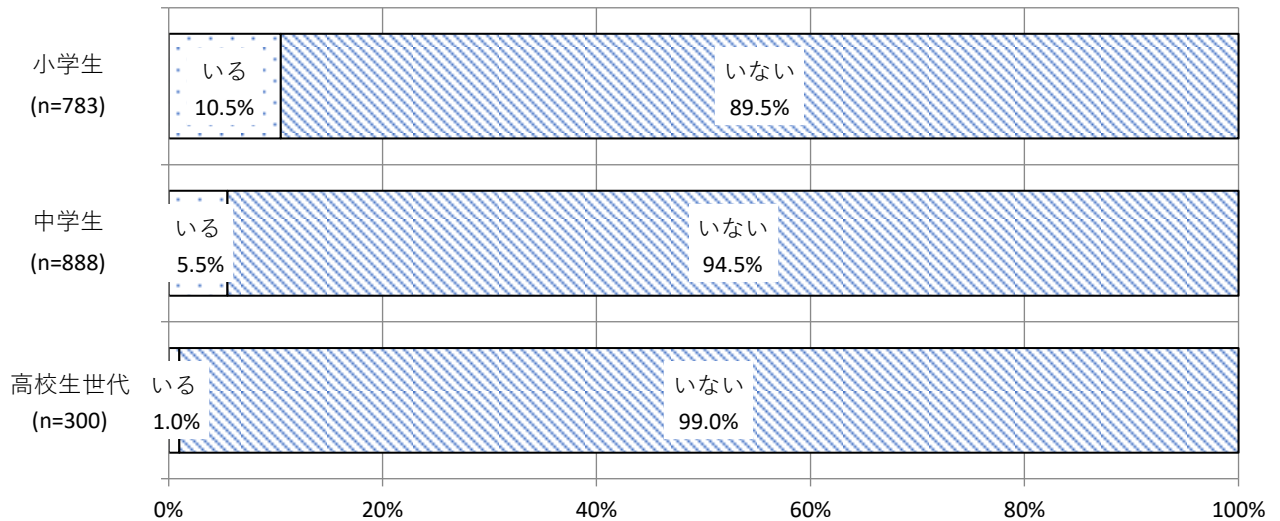
障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

出展：こども家庭庁特設ホームページ

## 2 調査結果の概要

### (1) 世話をしている家族の有無

世話をしている人が「いる」を選択した回答者は、小学生が10.5%と最も多い。



### (2) 世話をしている相手

小学生、中学生では「兄弟姉妹」が最も多い。高校生世代では「母親」、「祖母」、「祖父」と回答があった。

(複数回答)

(%)

	母親	父親	祖母	祖父	兄弟姉妹	その他	無回答
小学生 (n=82)	12.2	9.8	3.7	2.4	63.4	20.7	0.0
中学生 (n=49)	20.4	14.3	8.2	4.1	53.1	22.4	0.0
高校生世代 (n=3)	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

### (3) 世話をしている理由

#### 【小学生調査 (n=82)】

世話の相手が、お母さん・お父さんでは「わからない」、おばあさん・おじいさんでは「高齢(65歳以上)」、兄弟姉妹では「若い」が1位となっている。

(複数回答)

(%)

	お母さん・お父さん (n=12)	おばあさん・おじいさん (n=4)	兄弟姉妹 (n=52)	その他の人 (n=17)
1位	わからない 33.3	高齢(65歳以上) 100.0	若い 50.0	その他 70.6
2位	依存症 日本語が苦手 16.7	介護が必要 50.0	わからない 25.0	わからない 17.6
3位		知的に障がいがある 25.0	その他 23.1	高齢(65歳以上) 介護が必要 5.9

#### 【中学生調査 (n=49)】

世話の相手が、お母さん・お父さんでは「わからない」、おばあさん・おじいさんでは「高齢(65歳以上)」、兄弟姉妹では「若い」が1位となっている。

(複数回答)

(%)

	お母さん・お父さん (n=11)	おばあさん・おじいさん (n=5)	兄弟姉妹 (n=26)	その他の人 (n=11)
1位	わからない 54.5	高齢(65歳以上) 80.0	若い 50.0	その他 54.5
2位	日本語が苦手 その他 18.2	介護が必要 身体の障がいがある	その他 26.9	わからない 36.4
3位		わからない 20.0	わからない 19.2	介護が必要 9.1

#### 【高校生世代調査 (n=3)】

世話の相手が、母親・父親では「介護が必要」、「身体に障がいがある」、「わからない」、祖母・祖父では「高齢(65歳以上)」と回答があった。

(複数回答)

(%)

	母親・父親 (n=1)	祖母・祖父 (n=2)	兄弟姉妹 (n=0)	その他の人 (n=0)
1位	介護が必要 身体に障がいがある わからない 100.0	高齢(65歳以上) 100.0	(兄弟姉妹のお世話を していると選択をした 回答者はいませんでした)	(その他の人のお世話を していると選択をした 回答者はいませんでした)
2位		介護が必要 認知症 20.0		

#### (4) 世話をしている頻度

世話をしている頻度は小学生、中学生、高校生世代とも「ほぼ毎日」が最も多い。

(単数回答)

(%)

	ほぼ毎日	週に3～5日	週に1～2日	1カ月に数日	その他	無回答
小学生 (n=82)	46.3	17.1	15.9	12.2	8.5	0.0
中学生 (n=49)	34.7	16.3	18.4	14.3	16.3	0.0
高校生世代 (n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

#### (5) 世話をしている時間

1日あたりの世話をしている時間は小学生、中学生、高校生世代とも「2時間未満」が最も多い。

(単数回答)

(%)

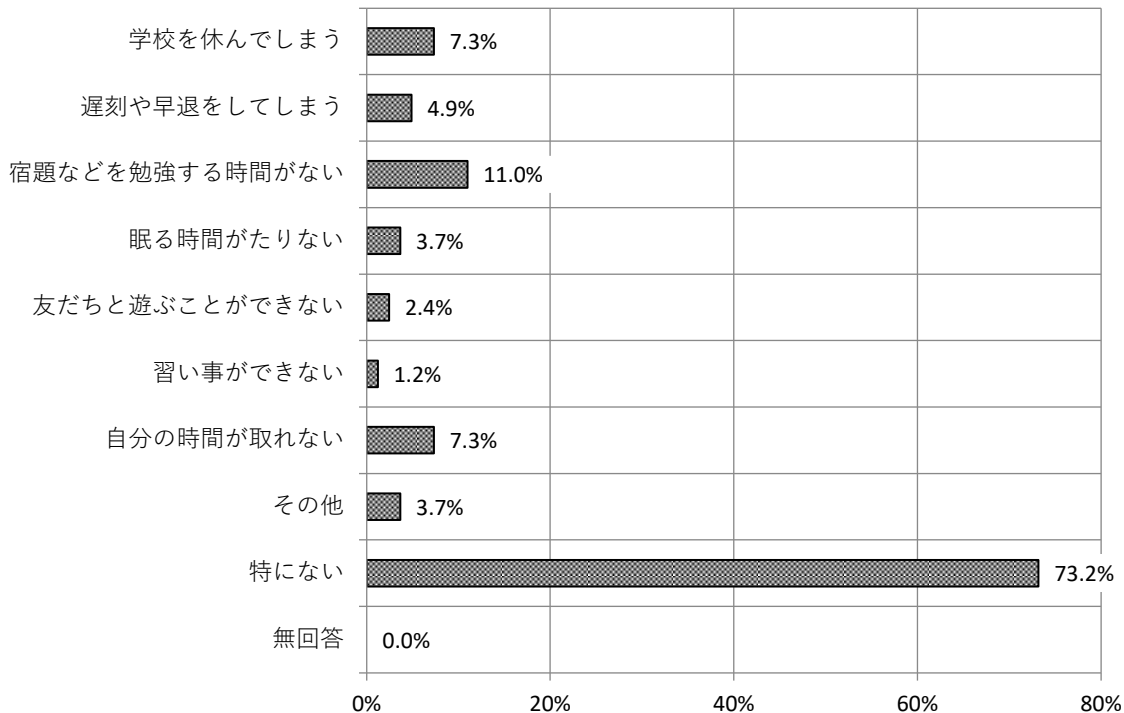
	2時間未満	2時間以上 4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上 12時間未満	12時間以上	無回答
小学生 (n=82)	61.0	17.1	11.0	8.5	2.4	0.0
中学生 (n=49)	53.1	26.5	8.2	6.1	6.1	0.0
高校生世代 (n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※日によってお世話をしている時間が異なる場合は、1カ月で最も長かった日の時間を回答している。

## (6) 世話をすることによる生活への影響

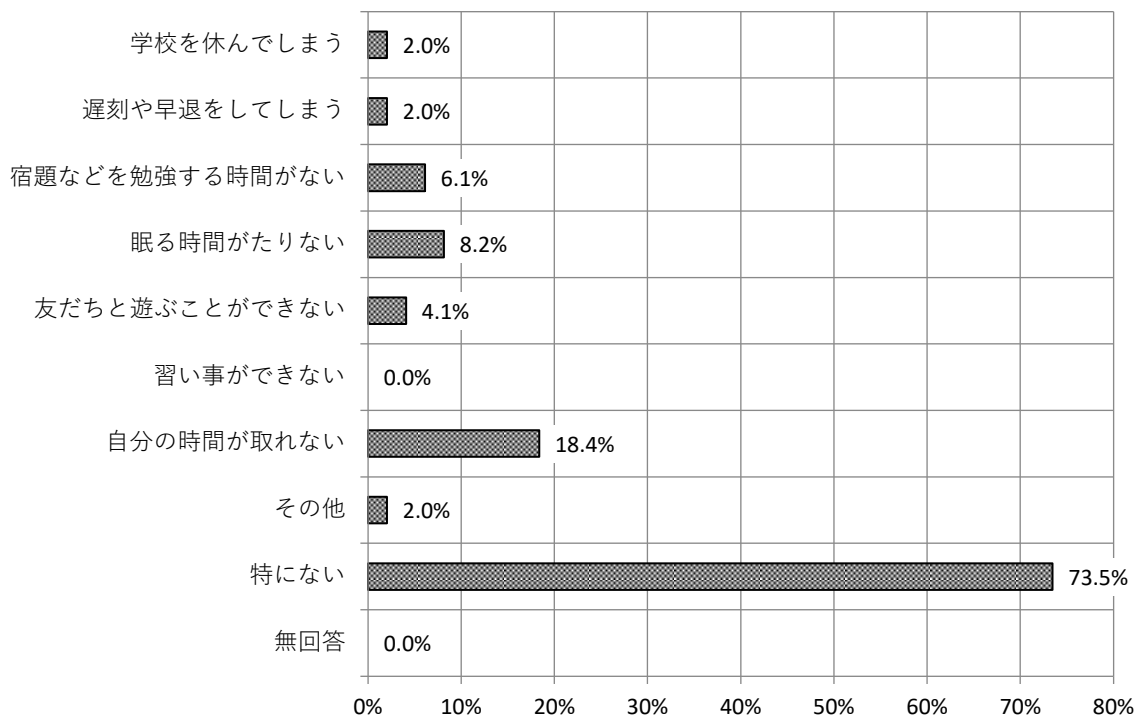
### 【小学生調査 (n=82)】

「特にない」と回答した割合が約4分の3を占めているが、この他では「宿題などを勉強する時間がない」が最も多く、次いで「学校を休んでしまう」「自分の時間が取れない」、「遅刻や早退をしてしまう」となっている。



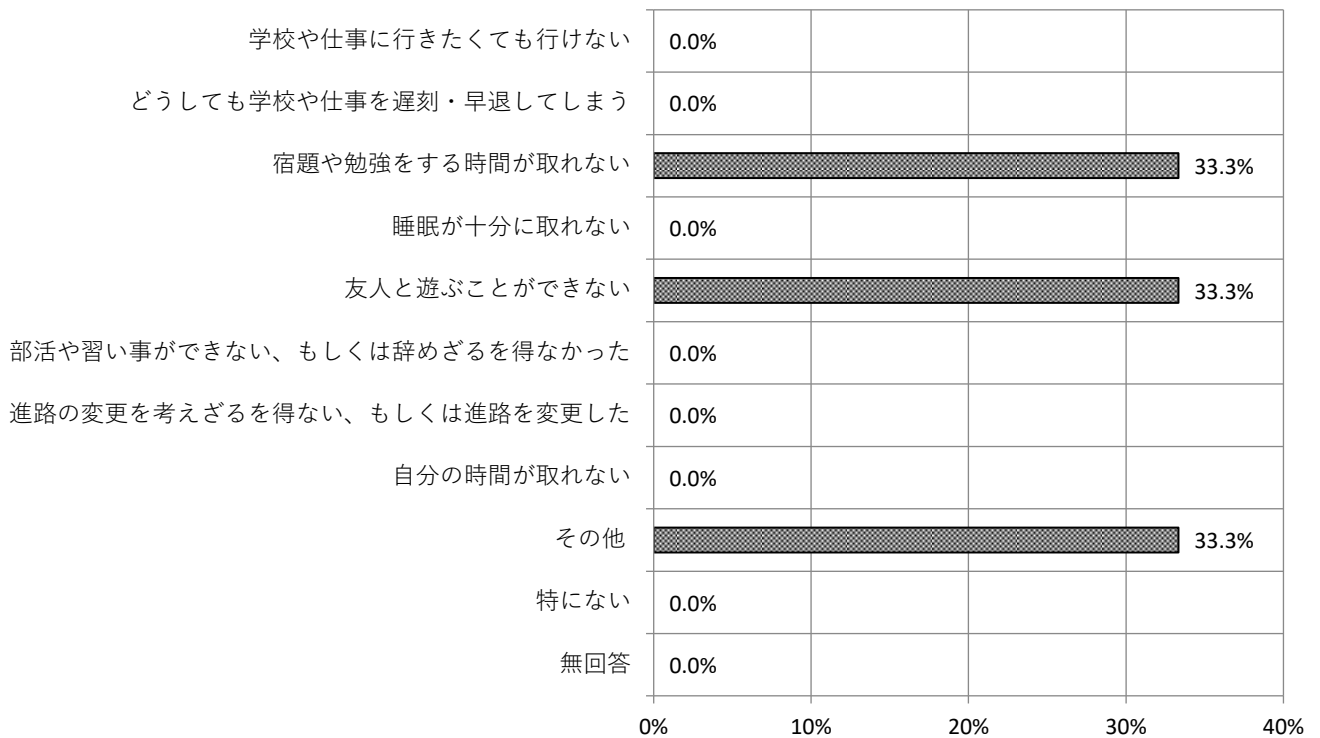
### 【中学生調査 (n=49)】

「特にない」と回答した割合が約4分の3を占めているが、この他では「自分の時間が取れない」が最も多く、次いで「眠る時間がたりない」、「宿題などを勉強する時間がない」、「友だちと遊ぶことができない」となっている。



【高校生世代調査 (n=3)】

「宿題や勉強をする時間が取れない」「友人と遊ぶことができない」「その他」と回答があった。



### (7) 支援してほしいこと

小学生、中学生では「勉強を教えてほしい」が最も多い。高校生世代では「自分のことについて話を聞いてほしい」、「ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい」、「自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい」、「進路や就職など将来の相談に乗ってほしい」と回答があった。

(複数回答)

(%)

	自分のことについて話を聞いてほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい	ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい	自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい	自分が行っているお世話の一部を誰かに代わってほしい	ヤングケアラーについて、周りの大人や友達にもっとよく知ってほしい	自由に使える時間がほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	進路や就職など将来の相談に乗ってほしい	わからない	特にない	その他	無回答
小学生 (n=82)	8.5	3.7	1.2	2.4	3.7	0.0	1.2	7.3	9.8	3.7	2.4	79.3	1.2	0.0	
中学生 (n=49)	12.2	6.1	4.1	4.1	2.0	0.0	0.0	14.3	16.3	2.0	6.1	61.2	0.0	0.0	
高校生世代 (n=3)	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	

### (8) 希望する相談方法

小学生、中学生では「直接会って」が最も多い。高校生世代では「直接会って」、「電子メール」が最も多い。

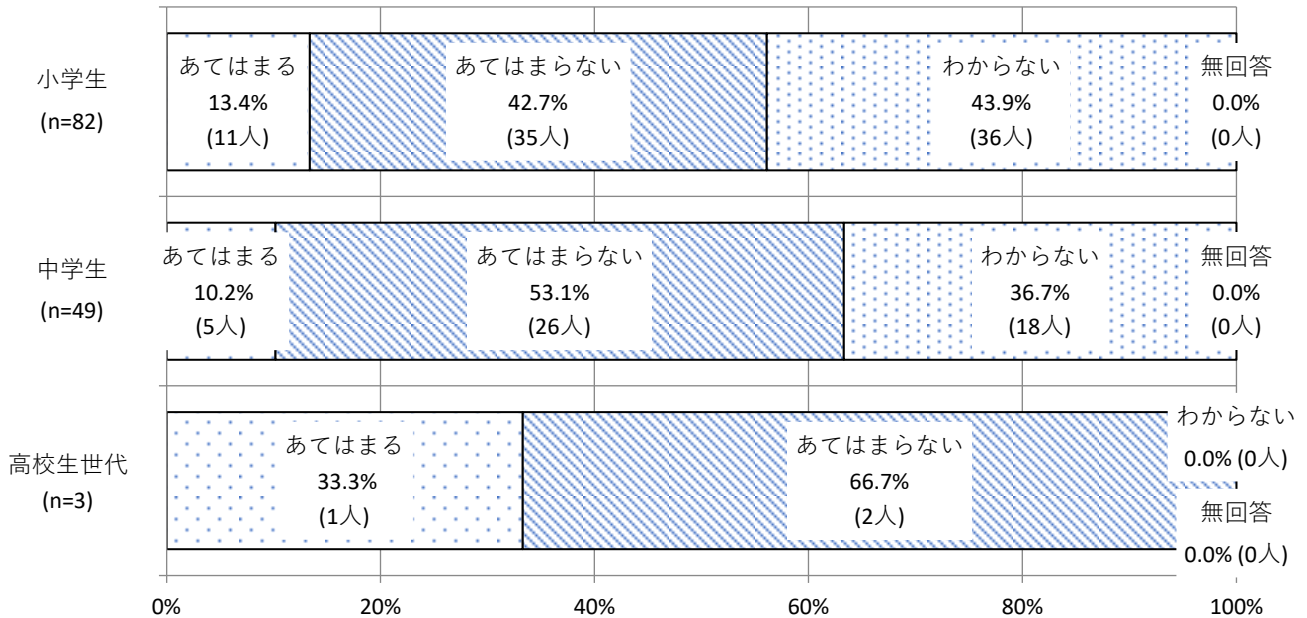
(複数回答)

(%)

	直接会って	電話	電子メール	その他	無回答
小学生 (n=82)	50.0	11.0	17.1	19.5	13.4
中学生 (n=49)	36.7	24.5	12.2	20.4	12.2
高校生世代 (n=3)	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0

### (9) ヤングケアラーの自覚

世話をしている人が「いる」、かつ「あてはまる」を選択した回答者は、小学生では13.4%（11人）、中学生では10.2%（5人）、高校生世代では33.3%（1人）となっている。



### (10) 世話について感じること

ヤングケアラーに「あてはまる」を選択した回答者で、小学生、中学生では「特につらさは感じていない」が最も多い。高校生世代では「気持ちの面でつらい」と回答があった。

(複数回答)

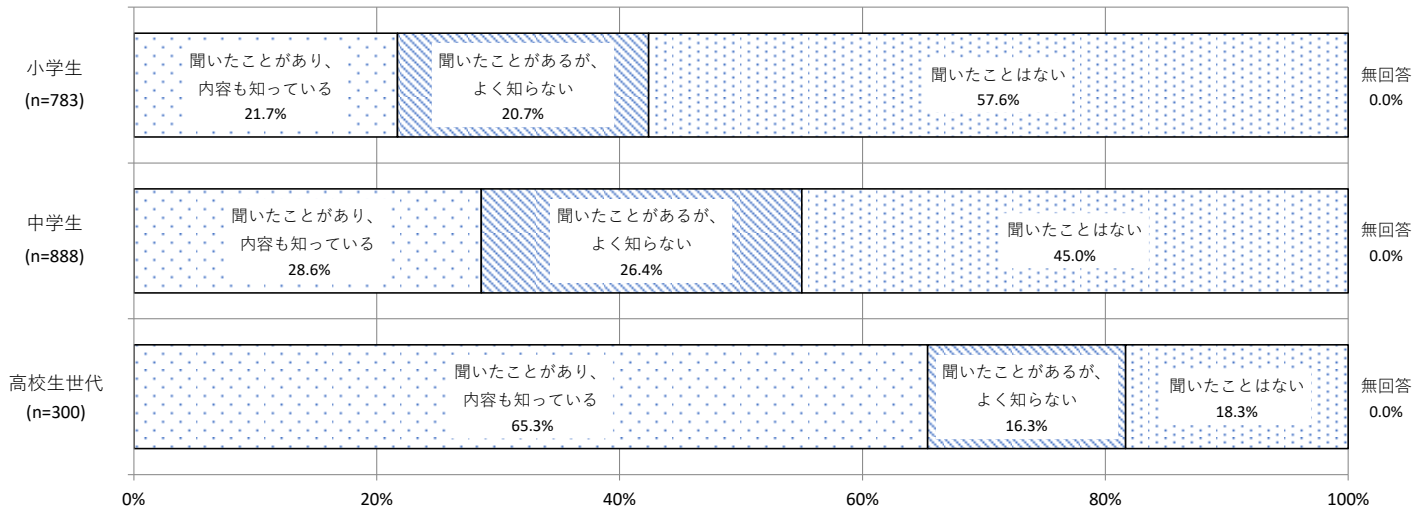
(%)

	体力の面でつらい	気持ちの面でつらい	時間の余裕がない	やりたいことができない	特につらさは感じていない	その他	無回答
小学生 (n=11)	36.4	27.3	9.1	9.1	45.5	0.0	0.0
中学生 (n=5)	20.0	20.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0
高校生世代 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 第1章 2 調査結果の概要

### (11) ヤングケアラーという言葉の認知

小学生、中学生では「聞いたことはない」が最も多い。高校生世代では「聞いたことがあり、内容も知っている」が最も多い。



### (12) 記名者について

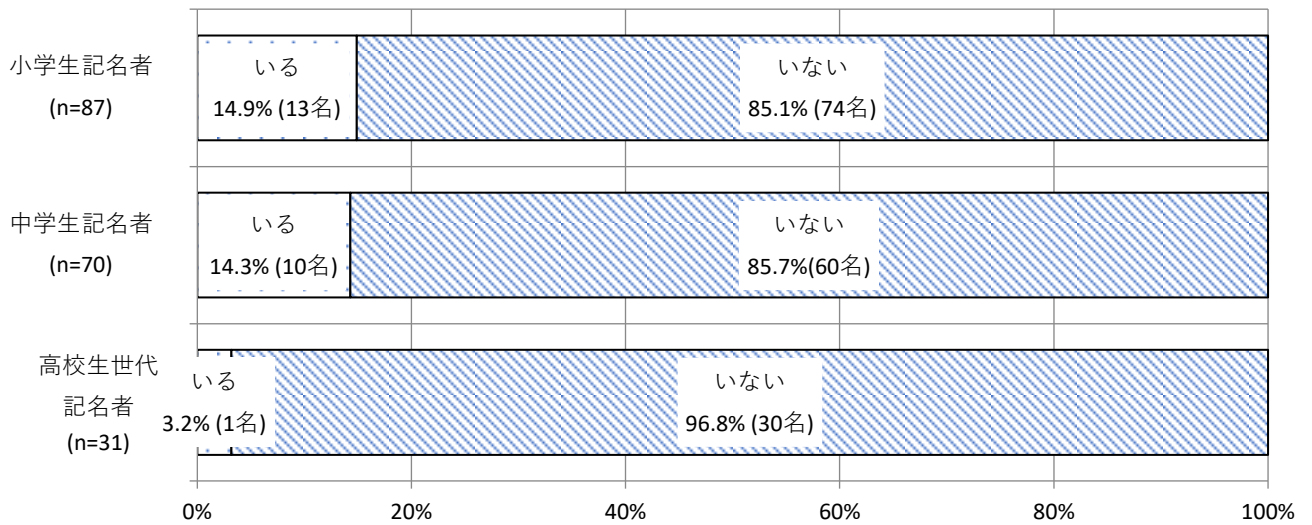
ヤングケアラーについて悩み、相談や支援を希望する子どもが記名できる設問を設けたところ、記名した回答者は、小学生では11.1%（87名）、中学生では7.9%（70名）、高校生世代では10.3%（31名）となっている。

(単数回答)

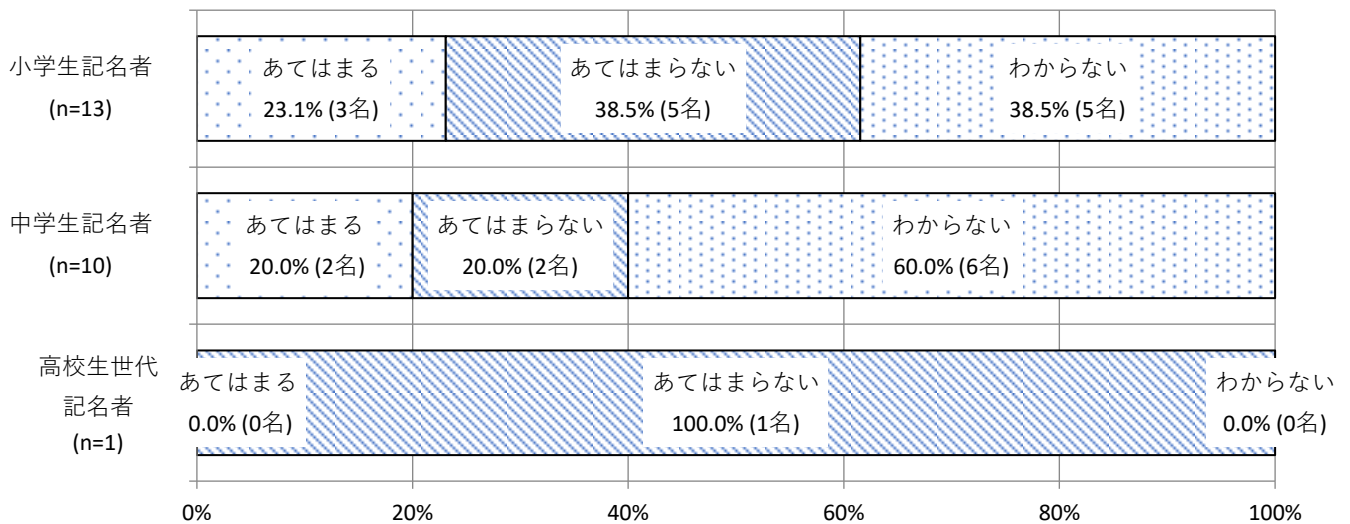
	記名した回答者	
	人数	割合(%)
小学生 (n=783)	87名	11.1
中学生 (n=888)	70名	7.9
高校生世代 (n=300)	31名	10.3

小学生・中学生については学校の協力を得ながら、子ども家庭課が子どもたちの状況を確認したところ、誤って記名された回答も多く見られた。

記名した回答者のうち、世話をしている人が「いる」を選択した回答者は、小学生では14.9%（13名）、中学生では14.3%（10名）、高校生世代では3.2%（1名）となっている。



記名した回答者のうち、世話をしている家族が「いる」を選択し、かつ、自身がヤングケアラーに「あてはまる」を選択した回答者は、小学生では23.1%（3名）、中学生では20.0%（2名）となっている。高校生世代で「あてはまる」を選択した回答者はいなかった。



### 3 調査のまとめ

本調査は、ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげることを目的として、小学生・中学生・高校生世代を対象に実施したものである。以下では、各設問の結果を整理し、ヤングケアラーの課題と今後の方向性についてまとめた。

#### (1) 世話をしている子どもの割合

家族の中に世話をしている人が「いる」とした回答者の人数(全回答者に対する割合)は、小学生 82 名(10.5%)、中学生 49 名(5.5%)、高校生世代 3 名(1.0%)であった。いずれの学年においても、一定数の子どもが日常的に世話をする役割を担っている実態が確認された。

#### (2) 世話をしている相手と理由

世話をしている相手については、小学生・中学生ともに「兄弟姉妹」が多い。一方、高校生世代では「母親」・「祖母」・「祖父」と回答があり、世話をする相手が年齢とともに変化していく傾向が見られる。

世話をしている理由については、親を世話している場合、「わからない」と回答した人数が小学生で 4 名、中学生で 6 名であった。この結果は、子ども自身が家族の世話をする役割を担うようになった背景を十分に認識できていないことが推察される。祖父母を世話する理由としては「高齢(65歳以上)」が多く挙げられ、兄弟姉妹については「幼い」という理由が中心であった。

#### (3) 世話の頻度と時間

世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」と回答した人数が小学生 38 名、中学生 17 名、高校生世代 3 名であった。高校生世代については回答者数が限られるものの、全員が毎日世話をしていると回答している。

1日に家族の世話に費やしている時間については、「2時間未満」と答えた人数が小学生 50 名、中学生 26 名、高校生世代 3 名であり、多くの場合は比較的短時間の負担にとどまっている。

#### (4) 日常生活への影響

家族の世話が日常生活に与える影響については、「特になし」と回答した人数が小学生 60 名、中学生 36 名と、いずれも約4分の3を占めており、大多数の子どもが大きな支障を感じていないと回答している。しかし、残りの約4分の1の子どもには何らかの影響が生じており、「宿題などを勉強する時間がない」「眠る時間がたりない」「自分の時間が取れない」といった回答も見られた。

## (5) 世話について感じること

自身をヤングケアラーに「あてはまる」と回答した高校生世代については、「気持ちの面でつらい」と回答があり、精神的な負担が確認された。また、「特につらさは感じていない」と回答した人は小学生と中学生で多く、年齢によって世話をすることに対する心理的受け止め方に差があることがわかる。小学生の段階では、自分が担っている役割の重さを十分に自覚していない場合も多く、表面上は影響を感じていないように見えても、客観的には負担が生じている可能性があると考えられる。

## (6) 求めるサポートと相談方法

必要なサポートについては、「特にない」と回答した人数は小学生と中学生が多かった。具体的なサポートとして挙げられたものの中では、中学生において「勉強を教えてほしい」が8名、「自由に使える時間がほしい」が7名、「自分のことについて話を聞いてほしい」が6名となっており、学習・時間・傾聴という3つのニーズが上位を占めていた。小学生では「勉強を教えてほしい」が8名であった。

相談方法の希望については、「直接会って」相談したいと回答した人数が小学生41名、中学生18名であり、対面での相談を希望する子どもが多い傾向にある。一方、高校生世代では「直接会って」に加えて「電子メール」による相談希望もあり、年齢が上がるにつれて非対面の手段も好む傾向が見られた。

## (7) ヤングケアラーとしての自己認識と用語認知

世話をしている人が「いる」と回答し、かつ、自分がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した人数は、小学生11名、中学生5名、高校生世代1名であった。一方、「わからない」と回答した人数は小学生36名、中学生18名と多く、自分の状況をヤングケアラーと結びつけて考えることが難しい子どもが多いことも推察される。

「ヤングケアラー」という言葉の認知については、「聞いたことはない」と回答した人数（全回答者に対する割合）が小学生451名（57.6%）、中学生400名（45.0%）、高校生世代55名（18.3%）であり、年齢が上がるにつれて認知度が高まっている。「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した割合は、小学生170名（21.7%）、中学生254名（28.6%）、高校生世代196名（65.3%）であり、高校生世代においては過半数が用語と内容を認知していた。

## (8) 相談の状況

世話をしている人が「いる」とした回答者のうち過去に家族の世話の負担に関して誰かに相談したことが「ある」と回答した人は、小学生12名、中学生4名、高校生世代2名であった。相談しない理由として最も多かったのは「相談するほどの悩みではないから」というものであった。

## (9) 自由記述にみる学年段階別の意識の変化

自由記述の分析では、小学生（102件）、中学生（106件）、高校生世代（23件）の回答を以下の10のカテゴリーに分類した。

1. ヤングケアラーの認知	6. 称賛・肯定的評価
2. 共感・同情	7. 自身・身近な体験
3. 支援・助けたい	8. 相談・サポート体制
4. 問題意識・制度への提言	9. 自己開示・援助希求
5. ヤングケアラーの困難の理解	10. その他

小学生では、「1. ヤングケアラーの認知」が25件と最多であり、「3. 支援・助けたい」が15件、「2. 共感・同情」が11件と続いた。「2. 共感・同情」「3. 支援・助けたい」が合わせて26件であり、ヤングケアラーという存在を初めて知り、感情的・共感的に反応する傾向が強く、「かわいそう」「助けてあげたい」という素直な感情表現が多く見られた。「4. 問題意識・制度への提言」は11件にとどまっており、具体的な問題解決よりも感情的受け止めが中心となっている。

中学生では、「4. 問題意識・制度への提言」が20件、「3. 支援・助けたい」が18件、「1. ヤングケアラーの認知」が16件となった。「2. 共感・同情」は12件と小学生と同水準であるが、制度への提言の割合が増加し、問題を構造的に捉える視点が育ちつつあることがうかがえる。「9. 自己開示・援助希求」は3件であった。

高校生世代では、「4. 問題意識・制度への提言」が12件と多数を占め、他のカテゴリーとの差が顕著であった。「2. 共感・同情」は0件であり、感情的な反応から批判的・分析的な思考へと意識が転換していることが推察される。「1. ヤングケアラーの認知」への言及は2件であり、用語や概念への習熟度の高さを反映している。「9. 自己開示・援助希求」は2件であり、自由記述においても困難な状況を抱える子どもの声が確認された。

## (10) 記名のあった子どもへの対応と要支援者の確認

アンケート終了後、子ども家庭課では学校の協力を得ながら記名のあった子どもに再度面談の希望調査を実施し、希望者との面接を実施した。

また、記名がなくても回答内容から心配な様子が見られる場合には、学校の協力のもと調査を実施した。

その結果、ヤングケアラーに該当し、支援が必要な子どもは1名と確認された。該当者には子ども家庭課が話を聞き、見守りを続けている。また、今回の調査でヤングケアラーには該当しなかったものの、家庭での悩みを聞いて欲しいと希望する子どもとは、継続して関わっている。

## (11) 課題と取組の方向性

本調査を通じて、学年段階を問わず一定数の子どもが家族の世話をする役割を担っている実態が明らかになった。世話の内容や頻度・時間・影響には個人差が大きく、表面上は支障を感じていないと回答しながらも、長時間にわたる世話や心理的負担を抱えている子どもが存在している。

特に注目すべき点として、「ヤングケアラー」という言葉の認知が小学生・中学生で低いこと、自己認識が難しいために潜在的に困難を抱える子どもが把握されにくいこと、相談経験が少なく支援にたどり着けていないことが挙げられる。「ヤングケアラー」という言葉の認知は自己認識や支援へのアクセスにつながる重要な要素であり、特に小学生・中学生に向けた理解の促進を図るとともに、広く市民に対しても周知啓発をしていくほか、身近な相談窓口の周知や相談しやすい環境を整えることが必要である。

また、自由記述において深刻な状況を吐露した回答（「9. 自己開示・援助希求」）については、速やかに個別対応を行う体制を整えることが求められる。子どもの声を丁寧に受け止め、実態に即した支援につなげていくことが課題であり、世話をする相手や理由の多様性から、子どもが置かれる状況は一様ではなく、個別の実態把握と対応が必要であると考えられる。そのため、実態調査を今後も実施していくことや関係機関との連携、情報共有により、支援が必要と思われる子どもや家庭の早期発見に努め、継続的な相談や支援につなげていく必要がある。



## 第2章 調査結果

---

小学生調査（5・6年生）

中学生調査

高校生世代調査



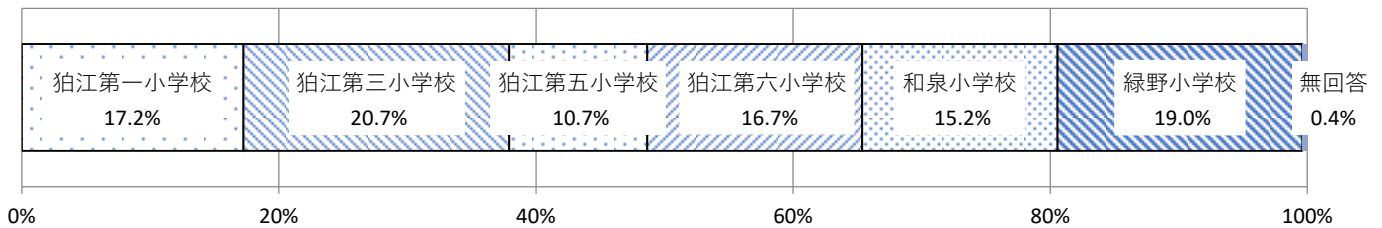
# 1 小学生調査（5・6年生）

## 1 基本情報

問1. あなたの学校を教えてください。

「狛江第一小学校」が17.2%、「狛江第三小学校」が20.7%、「狛江第五小学校」が10.7%、「狛江第六小学校」が16.7%、「和泉小学校」が15.2%、「緑野小学校」が19.0%となっている。

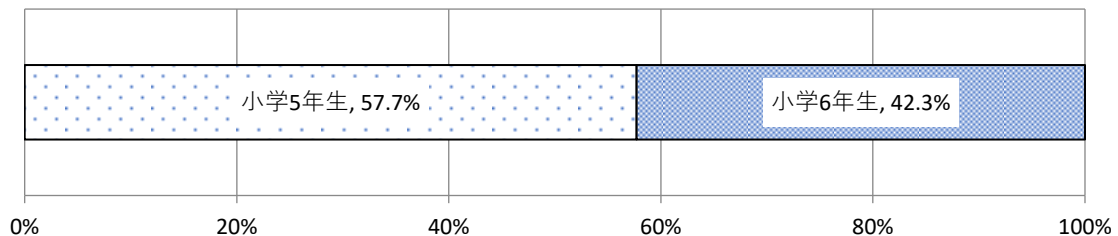
小学生調査 n=783



問2. あなたの学年を教えてください。

「小学5年生」が57.7%、「小学6年生」が42.3%となっている。

小学生調査 n=783



問3. 学級名（省略）

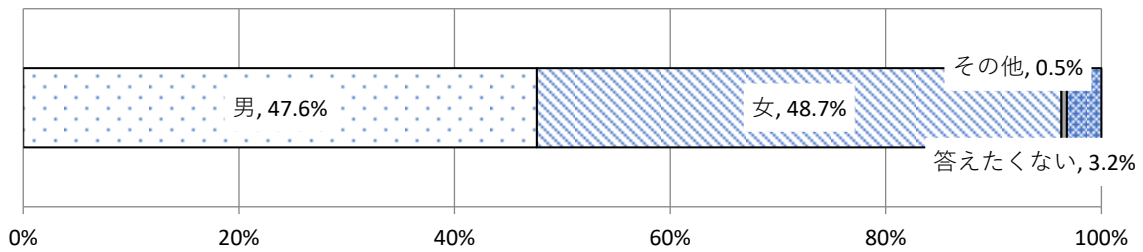
問4. 出席番号（省略）

## 第2章 調査結果 1 小学生調査

問5. あなたの性別について教えてください。

「男」が47.6%、「女」が48.7%、「答えたくない」が3.2%、「その他」が0.5%となっている。

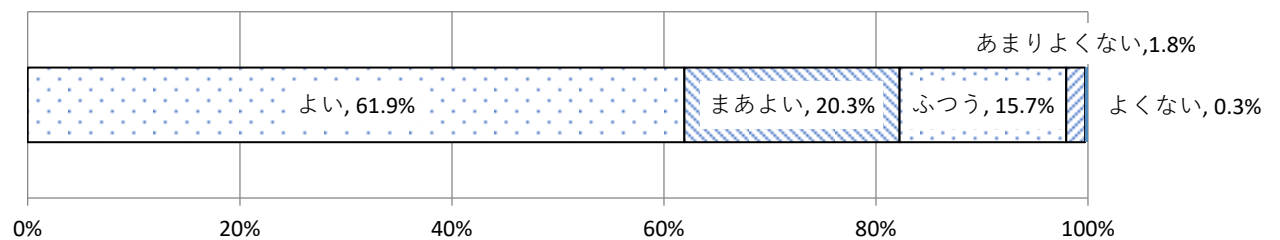
小学生調査 n=783



問6. あなたの健康状態について教えてください。

「よい」が61.9%、「まあよい」が20.3%、「ふつう」が15.7%、「あまりよくない」が1.8%、「よくない」が0.3%となっている。

小学生調査 n=783

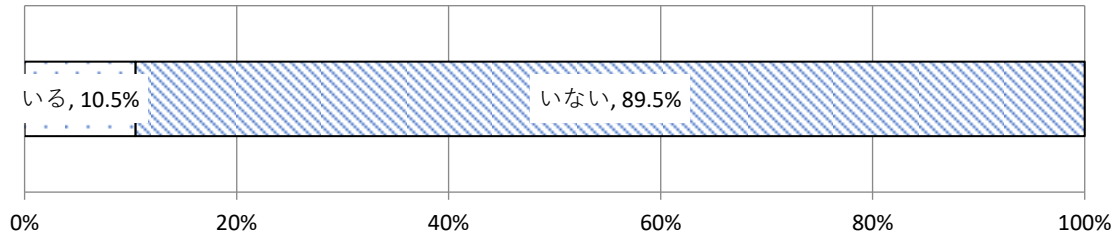


## 2 家庭や家族のことについて

問7. 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

「いる」が10.5%、「いない」が89.5%となっている。

小学生調査 n=783

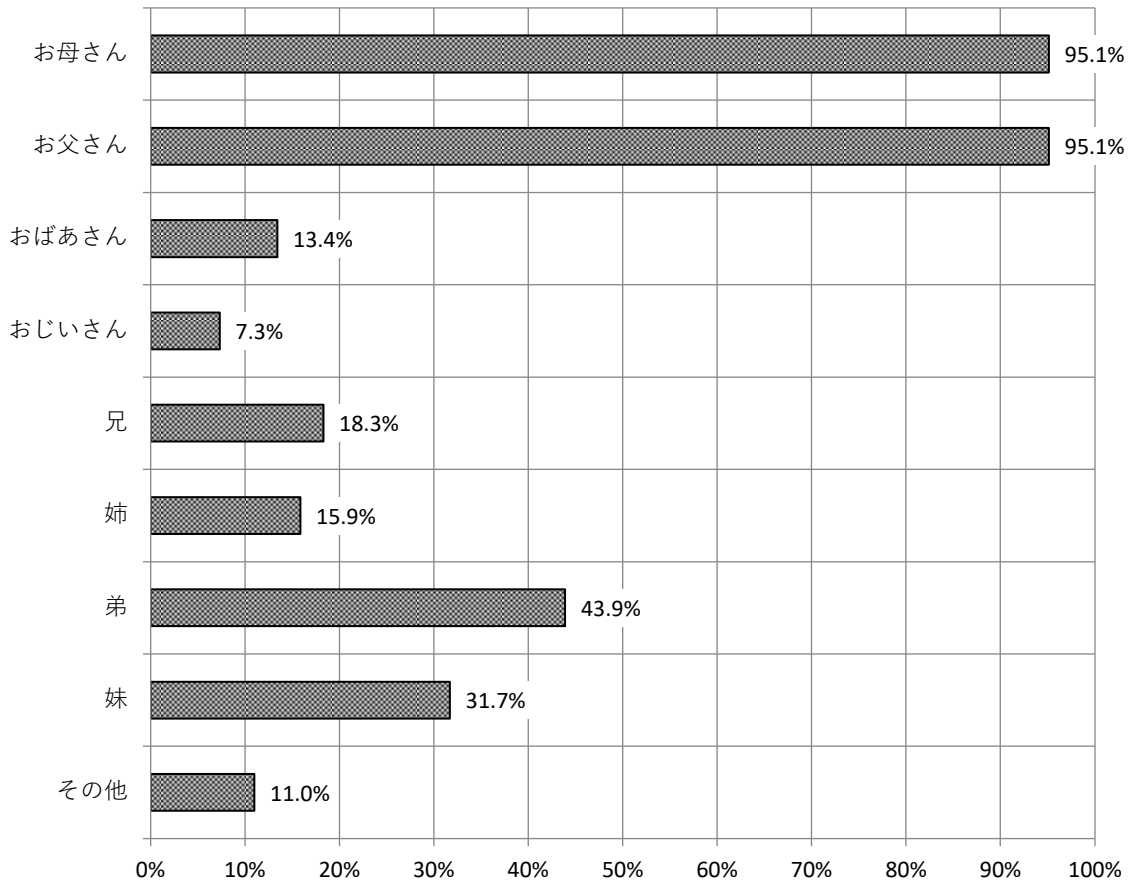


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問8. あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべて)

「お母さん」「お父さん」がともに95.1%、「弟」が43.9%、「妹」が31.7%となっている。

小学生調査 n=82



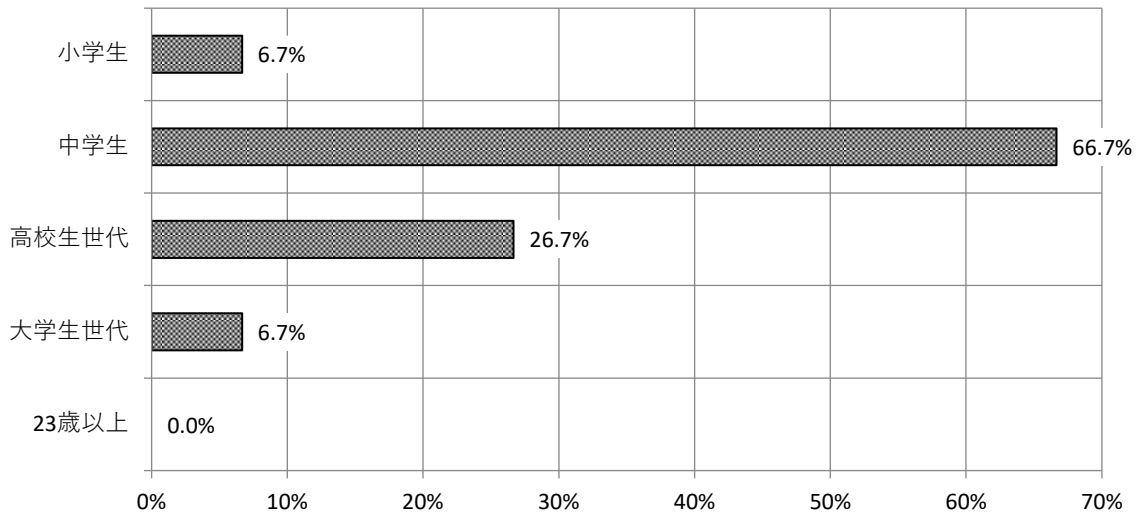
## 第2章 調査結果 1 小学生調査

### (問8で「兄」を選択した回答者)

- 問8-① あなたの兄についてあてはまるものをすべて選んでください。  
(複数の兄がいる場合、すべての方について回答してください。)  
(あてはまる番号すべて)

小学生が6.7%、中学生が66.7%、高校生世代が26.7%、大学生世代が6.7%となっている。

#### 小学生調査 n=15

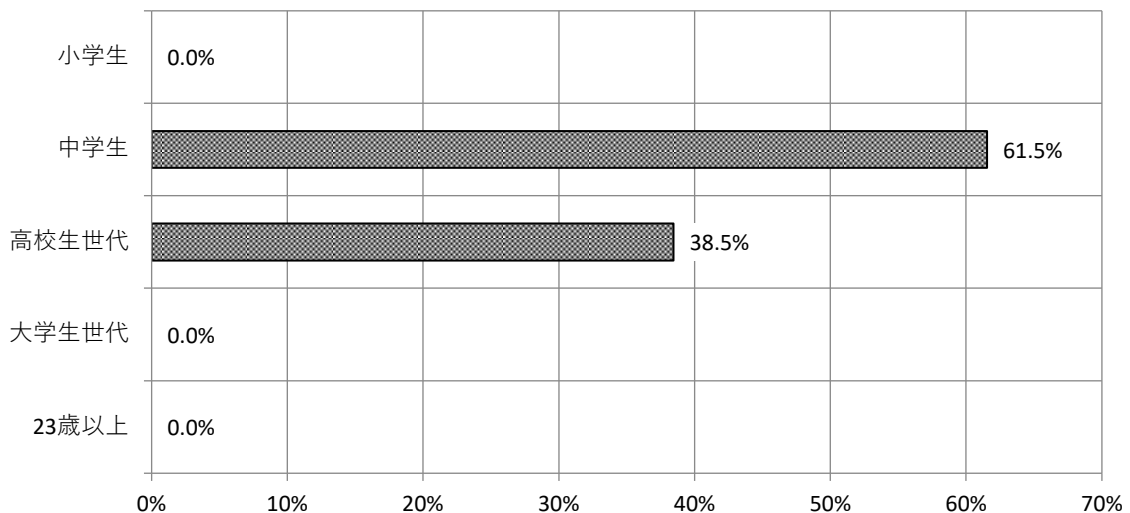


### (問8で「姉」を選択した回答者)

- 問8-② あなたの姉についてあてはまるものをすべて選んでください。  
(複数の姉がいる場合、すべての方について回答してください。)  
(あてはまる番号すべて)

中学生が61.5%、高校生世代が38.5%となっている。

#### 小学生調査 n=13

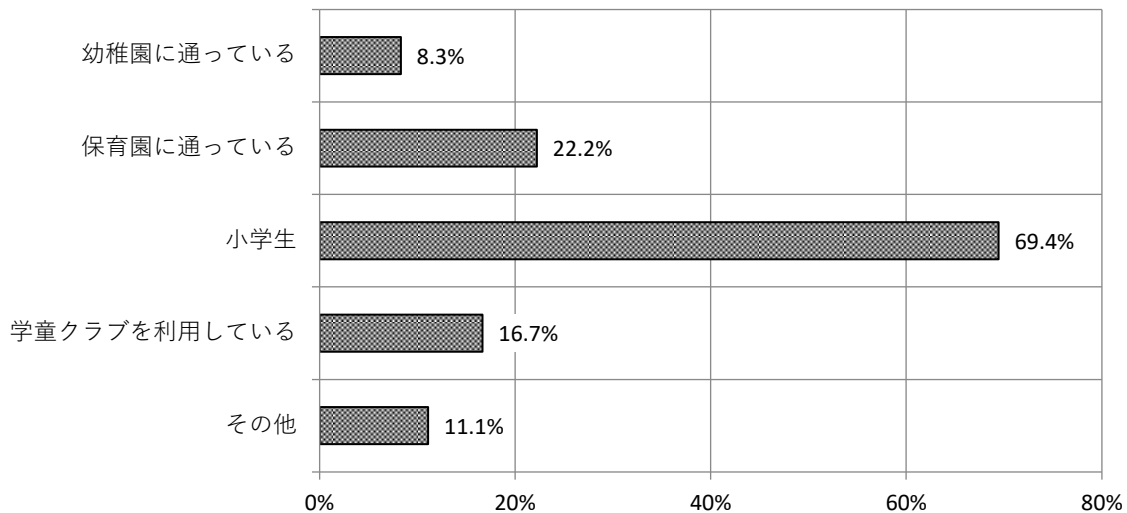


**(問8で「弟」を選択した回答者)**

問8-③ あなたの弟についてあてはまるものをすべて選んでください。  
 (複数の弟がいる場合、すべての方について回答してください。)  
 (あてはまる番号すべて)

「幼稚園に通っている」が8.3%、「保育園に通っている」が22.2%、「小学生」が69.4%、「学童クラブを利用している」が16.7%となっている。

小学生調査 n=36

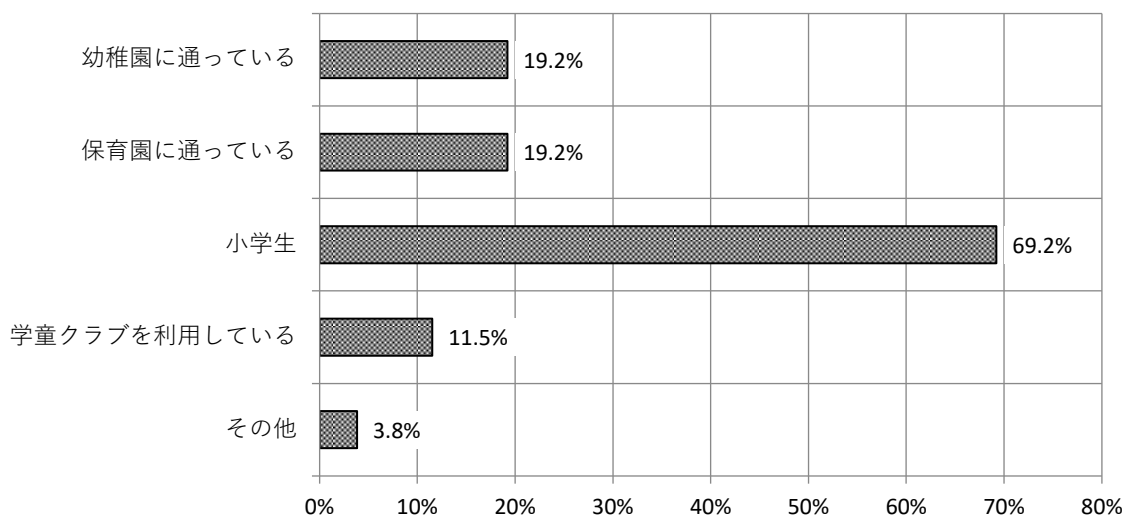


**(問8で「妹」を選択した回答者)**

問8-④ あなたの妹についてあてはまるものをすべて選んでください。  
 (複数の妹がいる場合、すべての方について回答してください。)  
 (あてはまる番号すべて)

「幼稚園に通っている」、「保育園に通っている」がともに19.2%、「小学生」が69.2%、「学童クラブを利用している」が11.5%となっている。

小学生調査 n=26



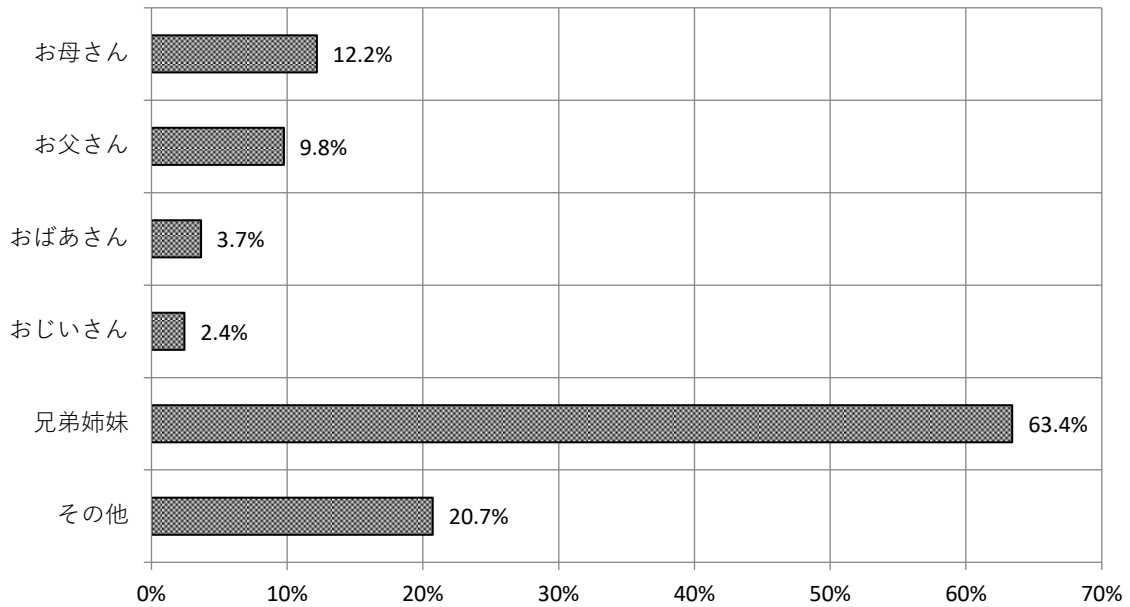
## 第2章 調査結果 1 小学生調査

(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問9. あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべて)

「兄弟姉妹」が63.4%で最も多く、「その他」が20.7%、「お母さん」が12.2%、「お父さん」が9.8%、「おばあさん」が3.7%、「おじいさん」が2.4%となっている。

小学生調査 n=82



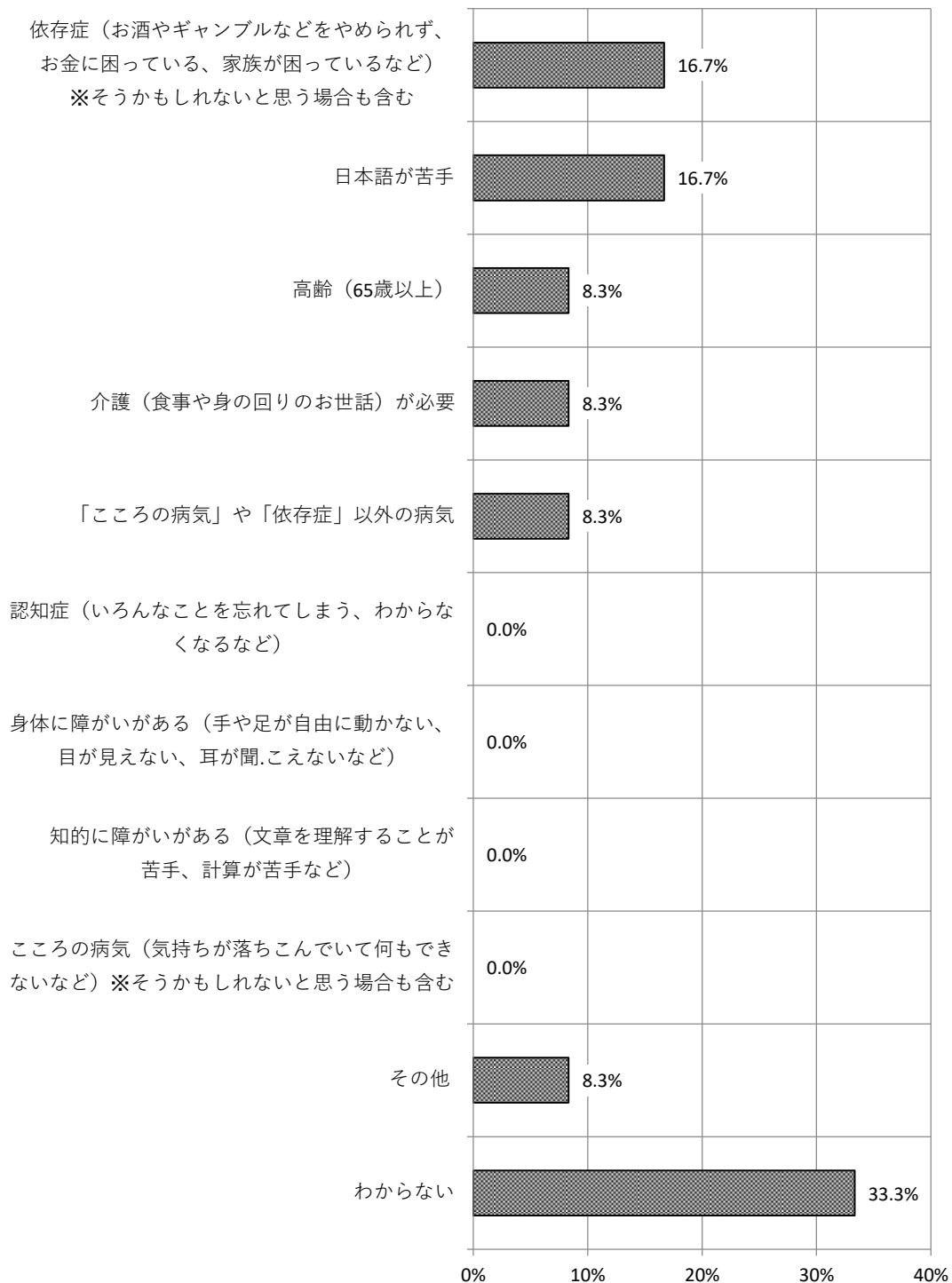
問 10. あなたがお世話している人の状況について教えてください。

(問9で「お母さん」「お父さん」を選択した回答者)

問 10-① お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。  
(あてはまる番号すべて)

「わからない」が 33.3%で最も多く、次いで「依存症」、「日本語が苦手」が共に 16.7%、「高齢（65歳以上）」、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「「こころの病気」や「依存症」以外の病気」、「その他」がそれぞれ 8.3%となっている。

小学生調査 n=12



## 第2章 調査結果 1 小学生調査

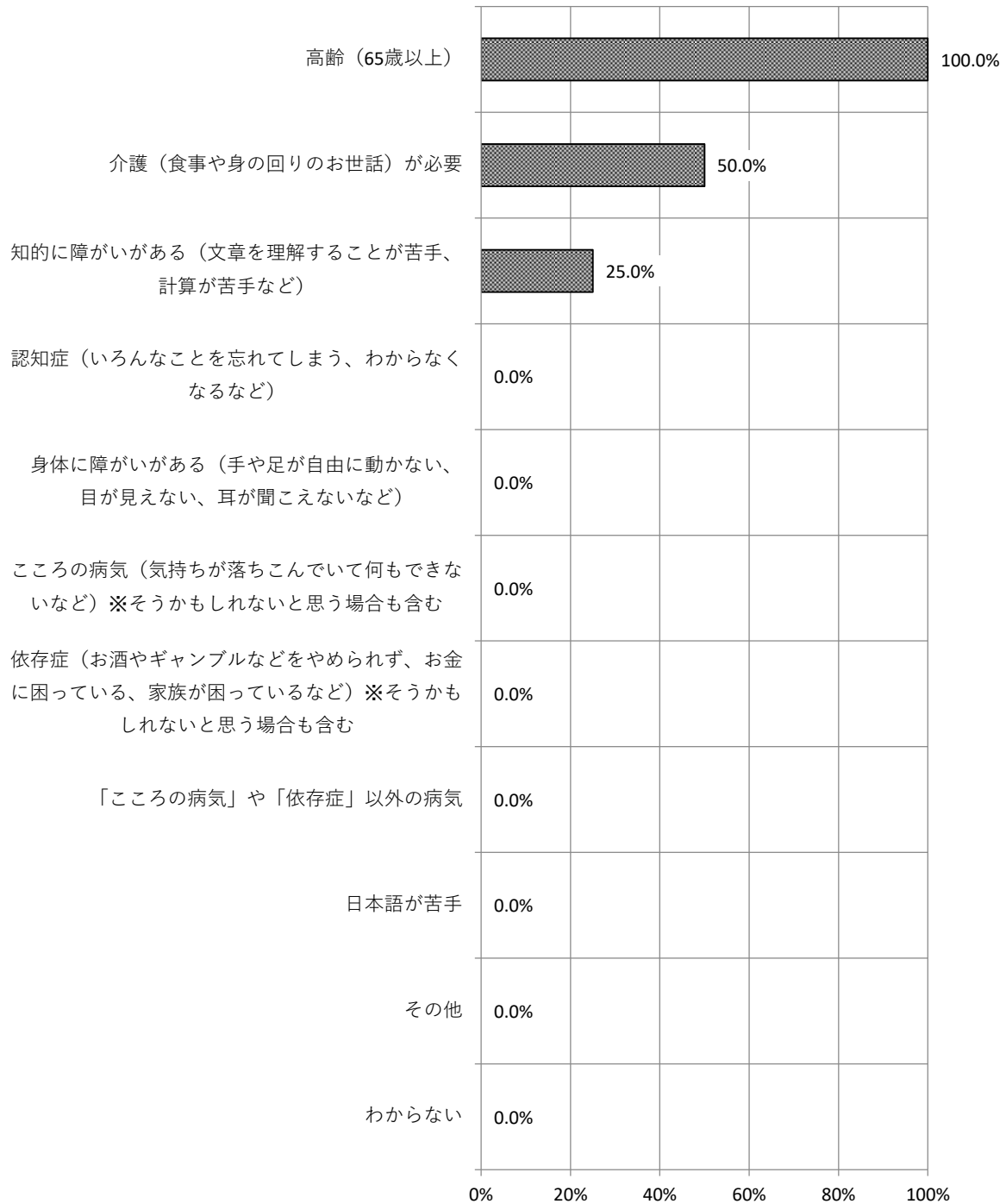
### (問9で「おばあさん」「おじいさん」を選択した回答者)

問10-② おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「高齢(65歳以上)」が100.0%で最も多く、次いで「介護(食事や身の回りのお世話が必要)」50.0%、「知的に障がいがある(文章を理解することが苦手、計算が苦手など)」25.0%となっている。

#### 小学生調査 n=4



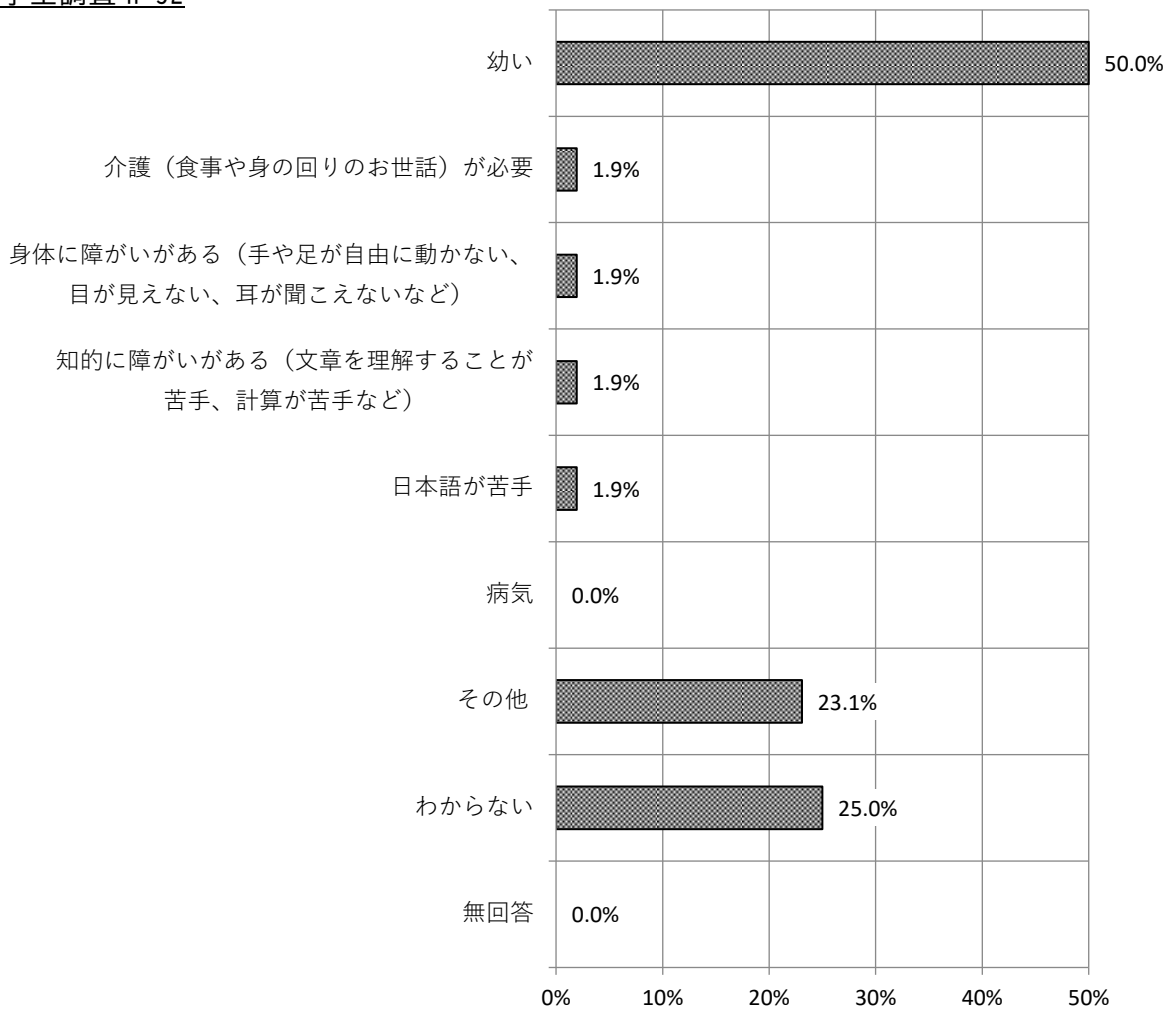
## (問9で「兄弟姉妹」を選択した回答者)

問10-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「若い」が50.0%で最も多く、「わからない」が25.0%、「その他」が23.1%となっている。

## 小学生調査 n=52



## 第2章 調査結果 1 小学生調査

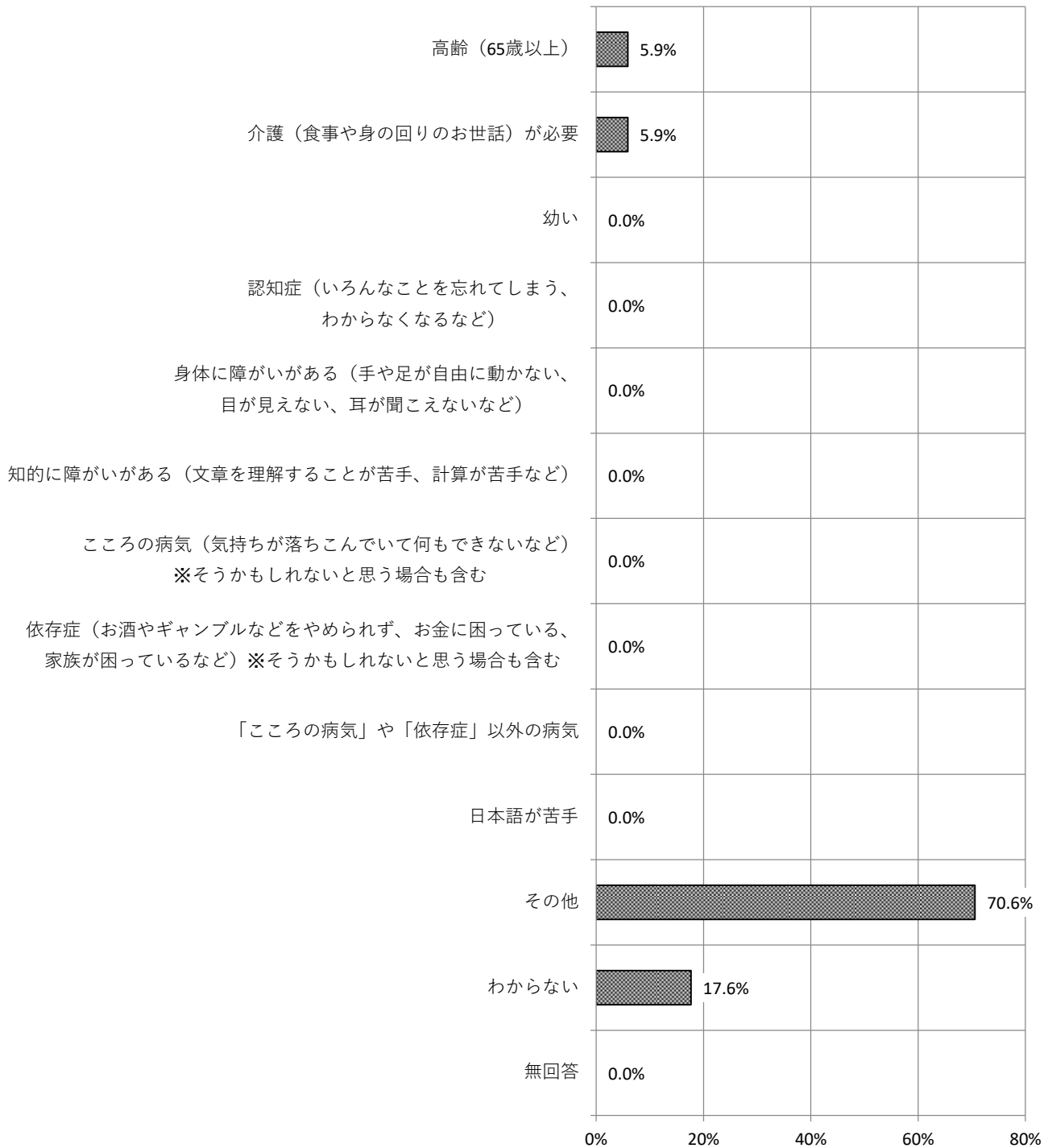
### (問9で「その他」を選択した回答者)

問10-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「その他」が70.6%で最も多く、次いで「わからない」17.6%、「高齢(65歳以上)」、「介護(食事や身の回りのお世話)が必要」5.9%となっている。

#### 小学生調査 n=17

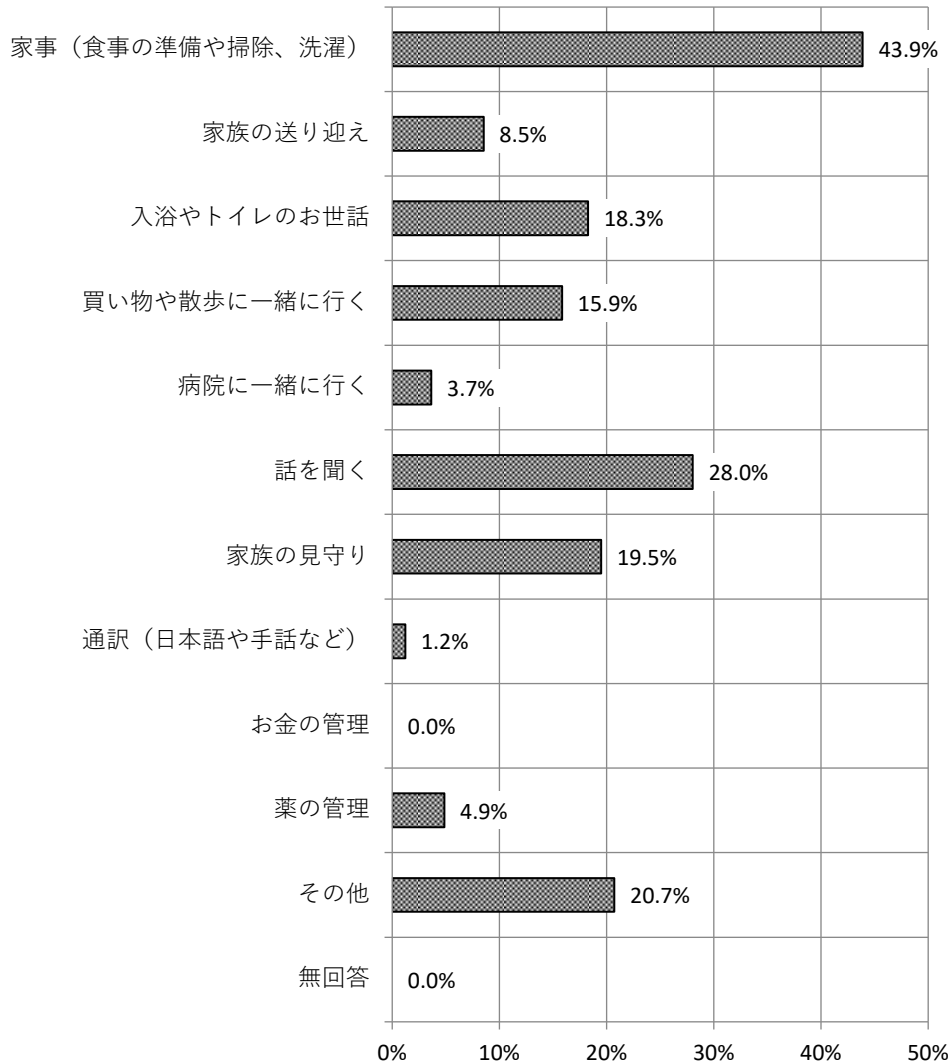


## (問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 11. あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべて)

「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が43.9%で最も多く、次いで「話を聞く」28.0%、「その他」20.7%、「家族の見守り」19.5%となっている。

## 小学生調査 n=82



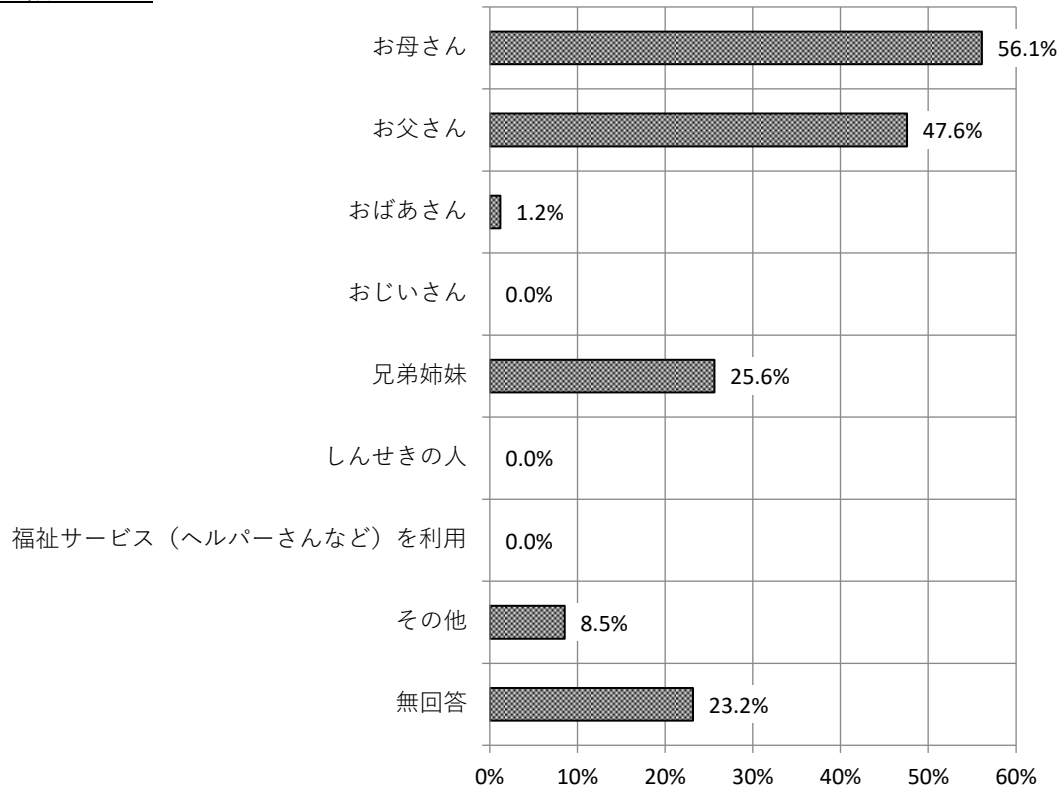
## 第2章 調査結果 1 小学生調査

(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問12. あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべて)

「お母さん」が56.1%で最も多く、次いで「お父さん」47.6%、「兄弟姉妹」25.6%となっている。

小学生調査 n=82

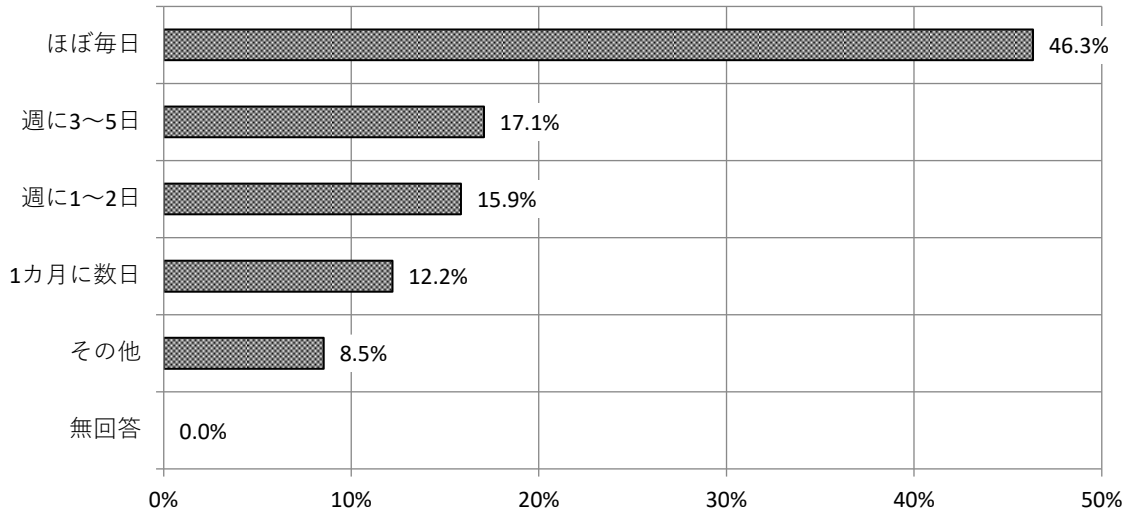


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 13. あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つ)

「ほぼ毎日」が 46.3%で最も多く、「週に3～5日」が 17.1%、「週に1～2日」が 15.9%、「1カ月に数日」が 12.2%、「その他」が 8.5%となっている。

小学生調査 n=82

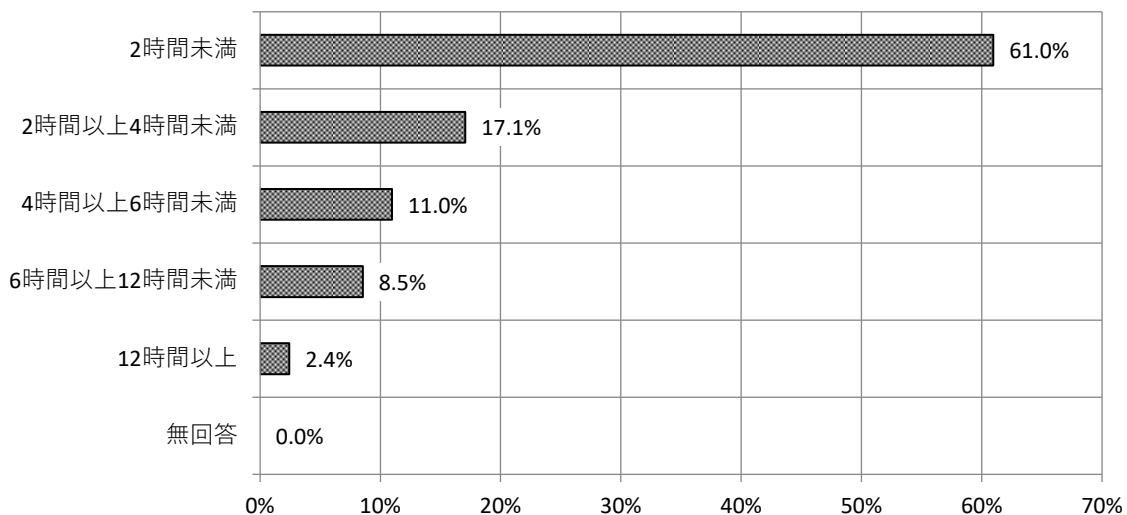


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 14. あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1カ月でいちばん長かった日の時間を教えてください)(時間を記入)

「2時間未満」が 61.0%で最も多く、「2時間以上4時間未満」が 17.1%、「4時間以上6時間未満」が 11.0%、「6時間以上12時間未満」が 8.5%、「12時間以上」が 2.4%となっている。

小学生調査 n=82



## 第2章 調査結果 1 小学生調査

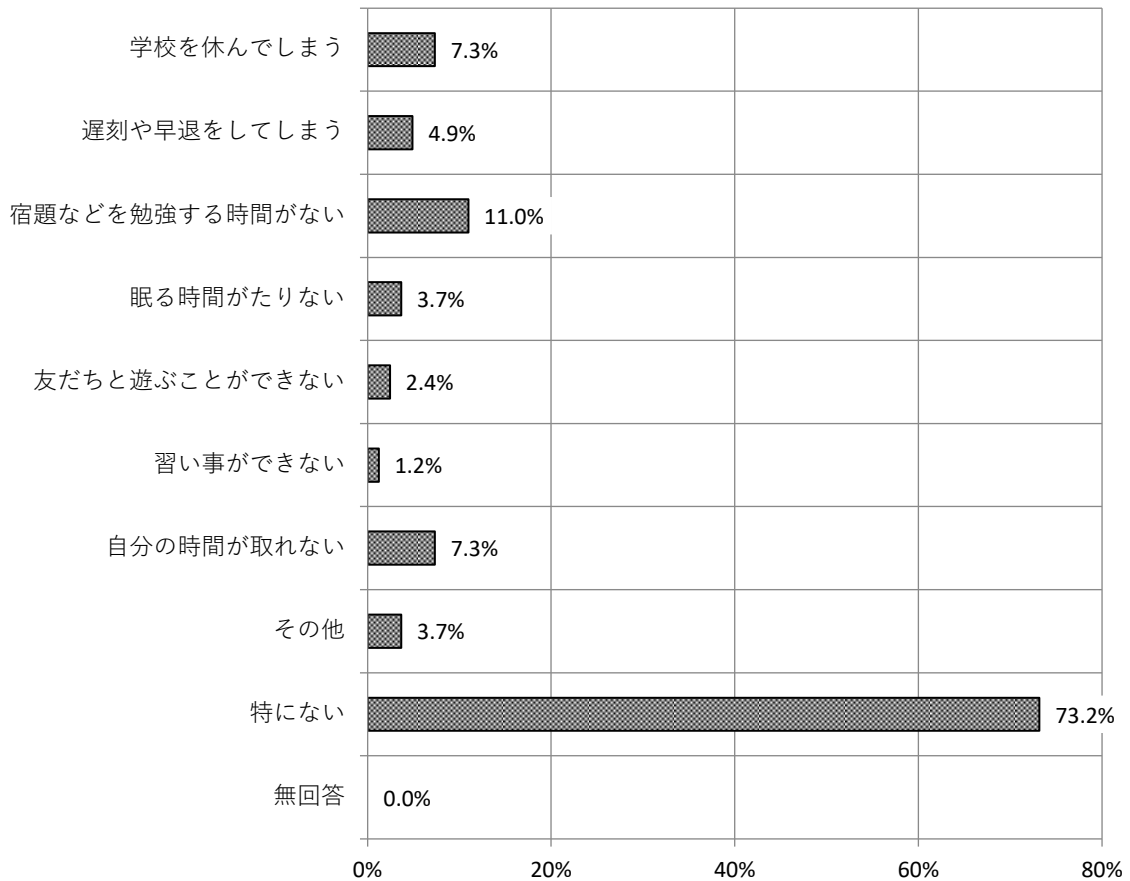
(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問15. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべて)

「宿題などを勉強する時間がない」が11.0%で最も多く、次いで「学校を休んでしまう」、「自分の時間が取れない」7.3%、「遅刻や早退をしてしまう」4.9%、「眠る時間がたりない」3.7%となっている。「特にない」は73.2%となっている。

### 小学生調査 n=82

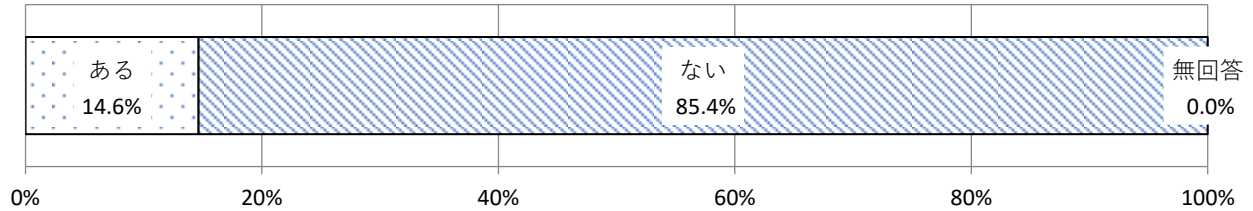


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 16. あなたはお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つ)

「ある」が14.6%、「ない」が85.4%となっている。

小学生調査 n=82



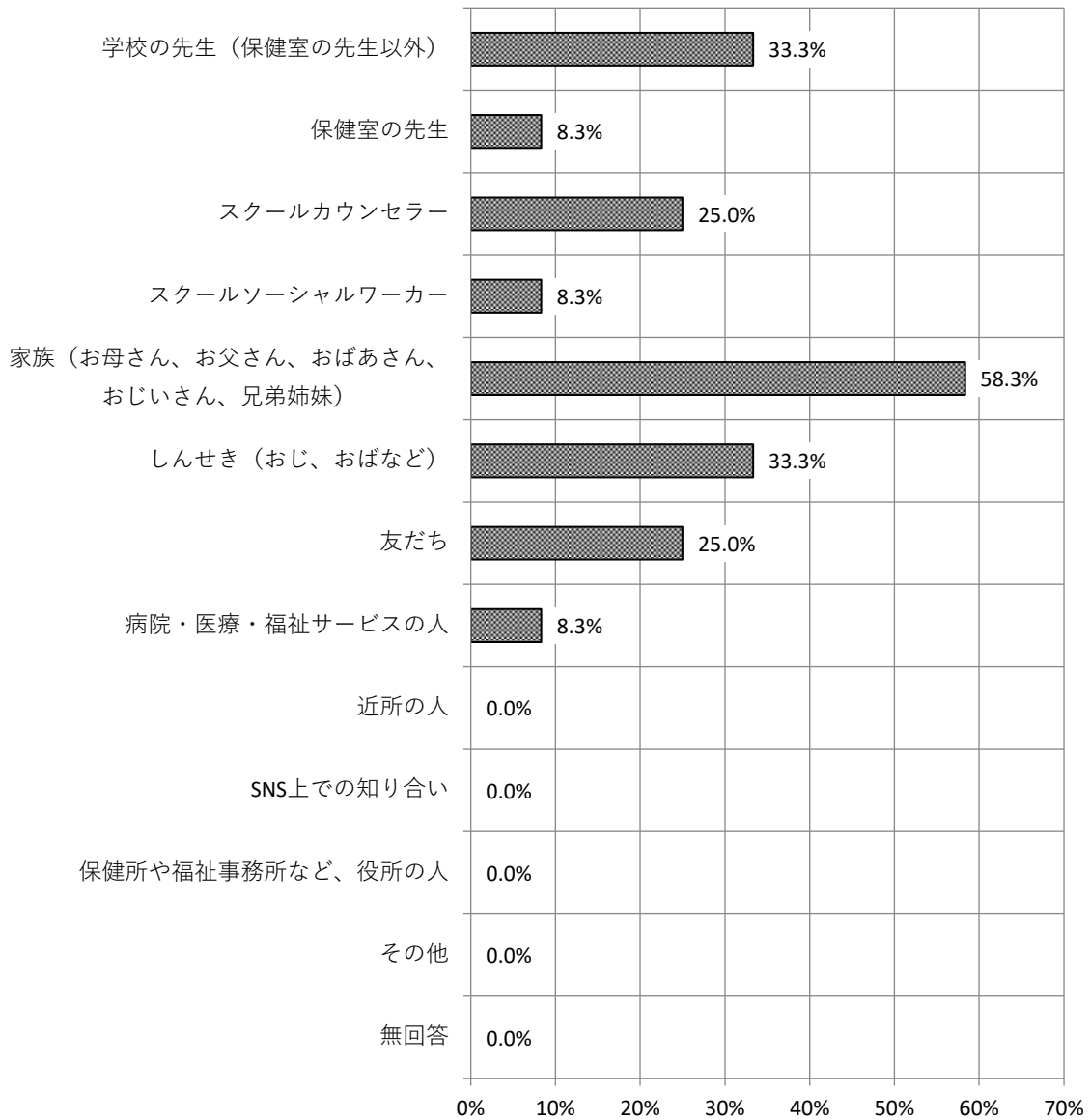
## 第2章 調査結果 1 小学生調査

### (問16で「ある」を選択した回答者)

問16-① 相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべて)

「家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹)」が58.3%で最も多く、次いで「学校の先生(保健室の先生以外)」、「しんせき(おじ、おばなど)」33.3%、「スクールカウンセラー」、「友だち」25.0%となっている。

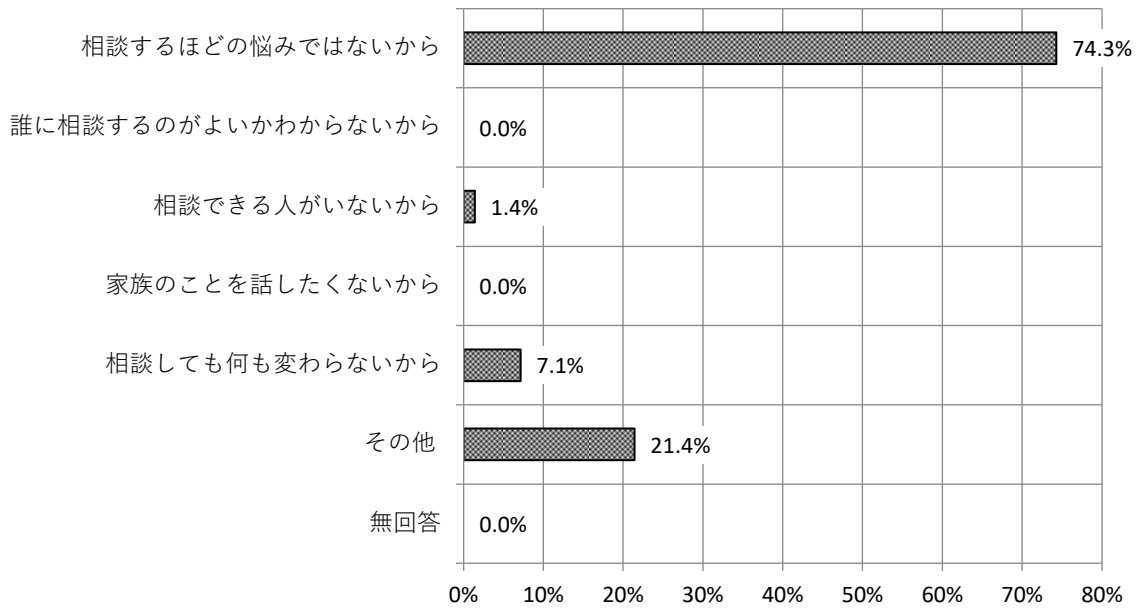
#### 小学生調査 n=12



**(問16で「ない」を選択した回答者)**

問16-② 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべて)

「相談するほどの悩みではないから」が74.3%で最も多く、次いで「その他」21.4%、「相談しても何も変わらないから」7.1%、「相談できる人がいないから」1.4%となっている。

小学生調査 n=70

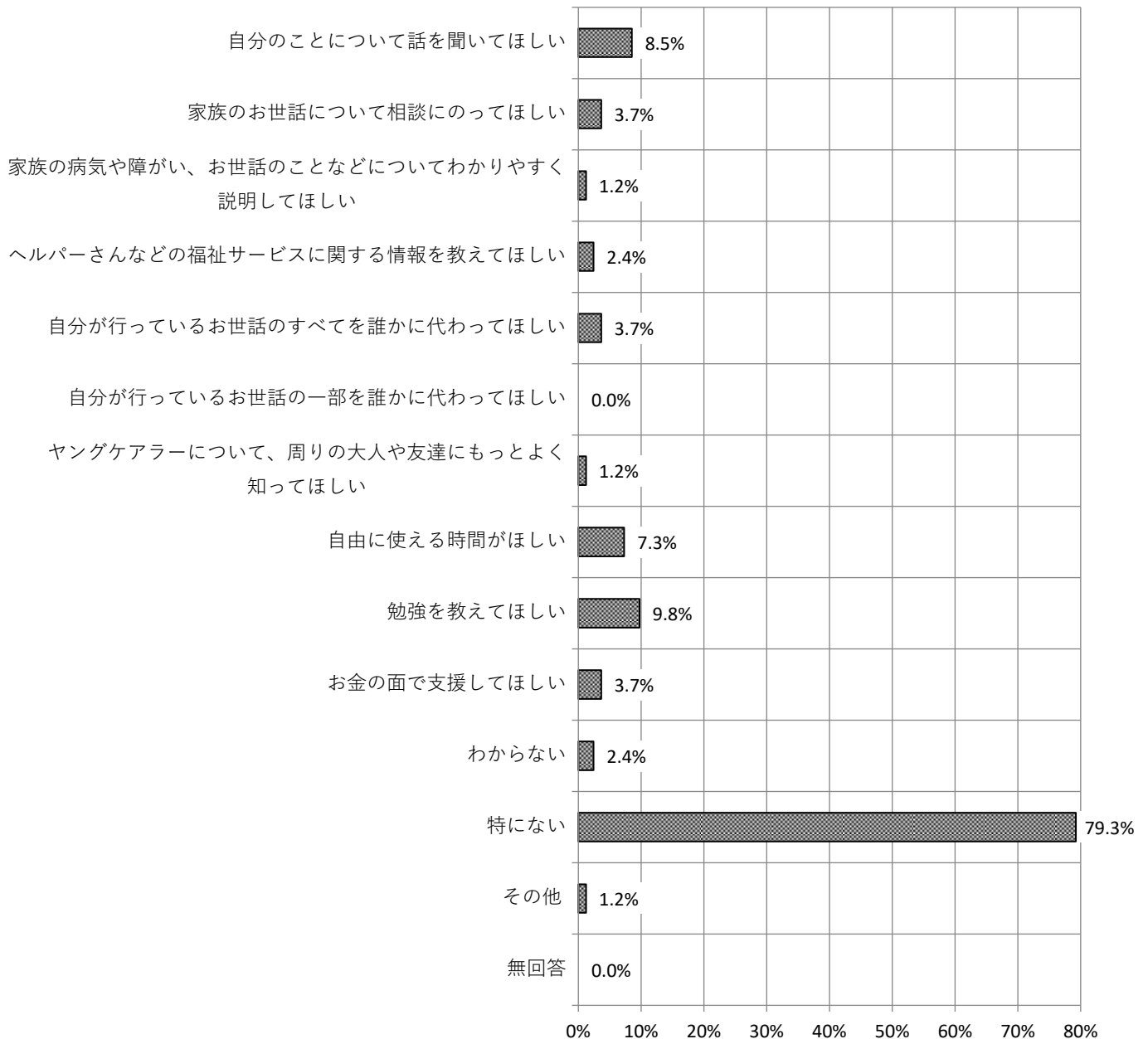
## 第2章 調査結果 1 小学生調査

(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 17. 学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいなと思うサポートは何ですか。(あてはまる番号すべて)

「勉強を教えてほしい」が 9.8%で最も多く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」8.5%、「自由に使える時間がほしい」7.3%となっている。

### 小学生調査 n=82



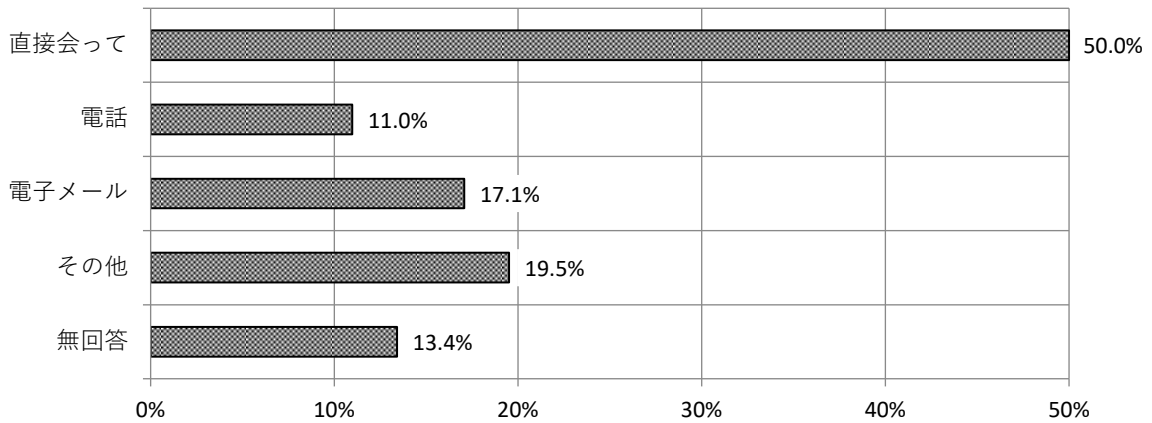
(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 18. あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。

(あてはまる番号すべて)

「直接会って」が 50.0%で最も多く、次いで「その他」19.5%、「電子メール」17.1%、「電話」11.0%となっている。

小学生調査 n=82



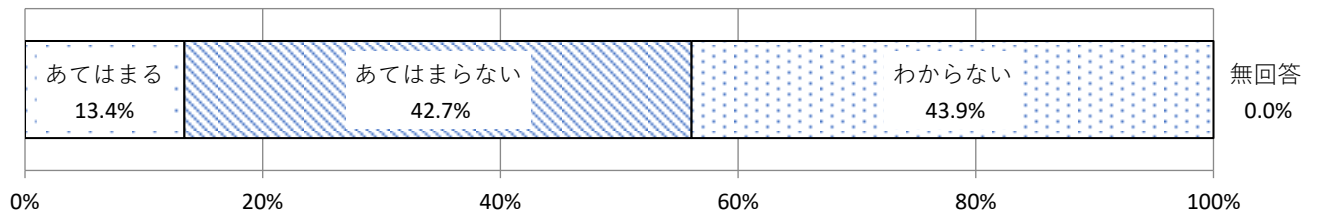
(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 19. あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。

(あてはまる番号1つ)

「あてはまる」が 13.4%、「あてはまらない」が 42.7%、「わからない」が 43.9%となっている。

小学生調査 n=82



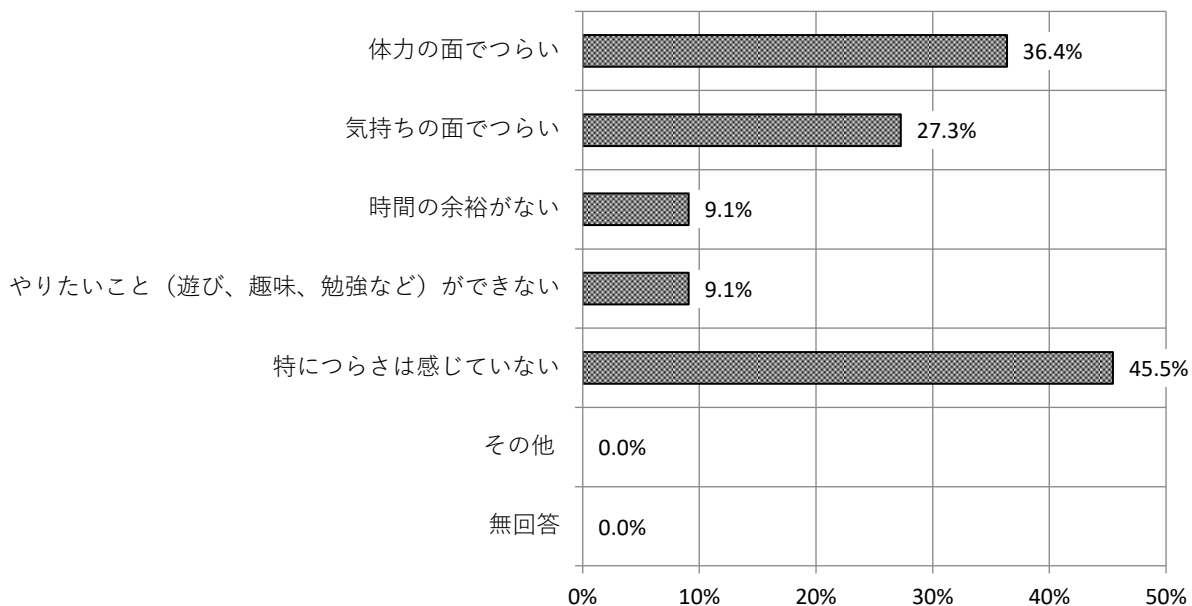
**(問 19で「あてはまる」を選択した回答者)**

問 19-① あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。

(あてはまる番号すべて)

「体力の面でつらい」が 36.4%で最も多く、「気持ちの面でつらい」が 27.3%、「時間の余裕がない」、「やりたいこと（遊び、趣味、勉強など）ができない」が 9.1%となっている。「特につらさは感じていない」は 45.5%となっている。

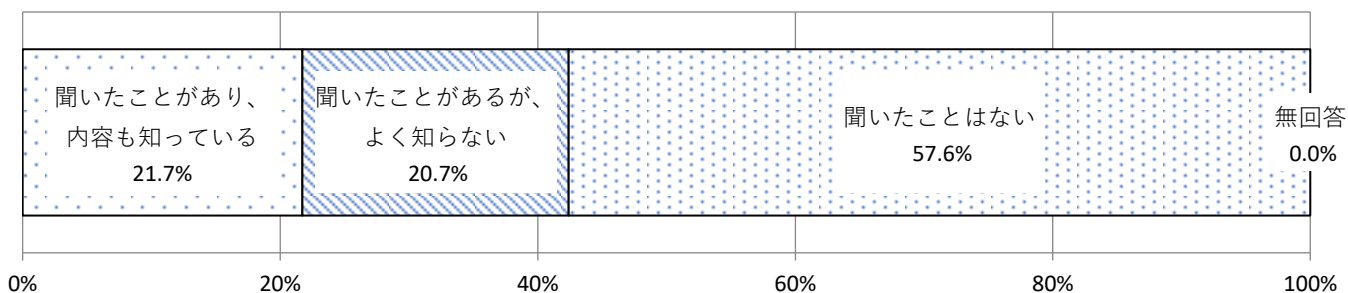
小学生調査 n=11



問 20. 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありますか。(あてはまる番号1つ)

「聞いたことがあります、内容も知っている」が 21.7%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が 20.7%、「聞いたことはない」が 57.6%となっている。

小学生調査 n=783



問 21. ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることがあれば自由に書いてください。(自由記述)

自由意見の記述があったのは、回収数 783 票中 102 票でした(「無し」等を除く)。

記述内容を以下の 10 カテゴリーに分類しました。なお、分類は問 7 での回答者の選択により、判断が異なる場合があります。

カテゴリー名	問 7 世話の対象 「いる」		問 7 世話の対象 「いない」		全体	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. ヤングケアラーの認知	1	7.7%	24	27.0%	25	24.5%
2. 共感・同情	2	15.4%	9	10.1%	11	10.8%
3. 支援・助けたい	1	7.7%	14	15.7%	15	14.7%
4. 問題意識・制度への提言	1	7.7%	10	11.2%	11	10.8%
5. ヤングケアラーの困難の理解	1	7.7%	12	13.5%	13	12.7%
6. 称賛・肯定的評価	1	7.7%	5	5.6%	6	5.9%
7. 自身・身近な体験	1	7.7%	6	6.7%	7	6.9%
8. 相談・サポート体制	1	7.7%	2	2.2%	3	2.9%
9. 自己開示・援助希求	2	15.4%	1	1.1%	3	2.9%
10. その他	2	15.4%	6	6.7%	8	7.8%
合計	13	100.0%	89	100.0%	102	100.0%

ここでは、自由意見の一部を紹介します。なお、原文を基本としつつ、一部編集・抜粋しています。

#### 【問 7 で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者の自由意見】

##### 1. ヤングケアラーの認知

1	ヤングケアラーを通じ色々なことがわかった。
---	-----------------------

##### 2. 共感・同情

1	子供のお世話をするのは大人の責任だと思い、ヤングケアラーに当てはまる子はかわいそうだった。
2	ヤングケアラーの人がかわいそうだと思う。

##### 3. 支援・助けたい

1	ヤングケアラーの人たちにお金の支援や手伝いをしてあげたりすると楽になると思う。
---	---

#### 4. 問題意識・制度への提言

1	子供はきちんと育てられる権利があると思うのでなくなったほうがいいと思う。
---	--------------------------------------

#### 5. ヤングケアラーの困難の理解

1	誰かのお世話をして、助けることは良いと思うが、相手にできることは相手がやった方が良く、自分の時間を取ることも大事だから、もう少しヤングケアラーのことを知らないとなんかみんな動かないと思う。
---	--

#### 6. 称賛・肯定的評価

1	子育てを頑張っている親にはありがたいものだった。
---	--------------------------

#### 7. 自身・身近な体験

1	今は困ったことはないけど将来困ったことがあれば調べて頼ってもいいと思いました。
---	---

#### 8. 相談・サポート体制

1	いろんなことが相談できていいなと思った。
---	----------------------

#### 9. 自己開示・援助希求

1	自分の今の状況を素直に答えやすく良かった。困っていることは、友達との距離や少し苦手な人とどう関わったら良いか。それがわからない。
2	障害がある人とか病気のある人のこととか色々あるのがヤングケアラーなんだと知りました。私は毎日妹のお迎えや、勉強を教えたりしているのでこれからも続けたいと思います。

#### 10. その他

1	やったことが無いから分かんない。
2	ヤングケアラーてなに。

## 【問7で、お世話をしている人が「いない」を選択した回答者の自由意見】

## 1. ヤングケアラーの認知

1	このようなものがあっていいなと思いました。
2	ヤングケアラーのことは、聞いたことがあまりないからアンケートで少しでも知れたからよかったです。
3	そんな大変なことをやっている人がいるのだと初めて聞きました。
4	ヤングケアラーのことを少ししか知らないから、もう少し知りたいです。
5	初めて知った。
6	ヤングケアラーがどんな言葉かわかった。
7	ヤングケアラーのアンケートの内容を見てたくさんの方がいるということがわかりました。
8	そもそもどんなものか知りたい。
9	ヤングケアラーという言葉は初めて知りそういうのもあるんだなと思いました。
10	自分は普通に暮らしているけど、それが当たり前じゃなくて毎日お手伝いが当たり前になっていることを知ってびっくりしました。
11	そういうひとがいることをはじめてしった。
12	意外と身近にいないと思っていたけど、あなたの身近にいるんだよ、というポスターを見てびっくりした。
13	ヤングケアラーのことは聞く程度で、あまり知らなかったから、知れてよかったです。
14	ヤングケアラーの事はあまり知りませんでした。このアンケートをしてこういう事をしている子もいるんだなと思えるようになりました。
15	自分と同じくらいの年齢の人が困っているのに驚いた。
16	ヤングケアラーについてあまり知らない。
17	ヤングケアラーの人もいるんだなと思いました。
18	私にとっては親が家事をすることが普通だったので、ヤングケアラーのことを聞き、「そんな家庭があるんだ」とおもいました。また、身近にそういう人がいたら、助けてあげたり、寄り添ってあげたいです。
19	大人になって、体の悪い人のお世話をするかもしれないからしれてよかったです。
20	こんな言葉もあるんだな～と思いました。
21	ヤングケラーというものがあると言うところが知れてよかったです。
22	初めてヤングケアラーという言葉を知ってその意味などを知ったけれど深刻なことだと思った。
23	普通は、親がやらないと行けないことを子がやる、任せっきりにするそして友達と遊べなくなるそれがヤングケアラーってわかった。そういう人がいたら

	助けたり手伝ってあげたり大丈夫？と聞いてあげても良いか知りたい。
24	私は、ヤングケアラーではないし、聞いたことがなかった。だけど、そんなことをしている人がいると思うと、すごいと思うと同時に少しかわいそうという気持ちになった。

## 2. 共感・同情

1	かわいそうだと思う。
2	親のために自分の人生を犠牲にするのはかわいそうだと思う。
3	学校とかに行けないのは可哀想だと思う。
4	家族のために自分の行動などが制限されるのが可哀想と思った。
5	家族のために自分が制限されるのが可哀想と思った。
6	感想でその子供が可哀想と思った。
7	かわいそうな気がする。
8	そういう方達は頑張っているけど、学校にいけないだとか、部活、その他諸々できなくなってしまう人が可哀想だと思いました。

## 3. 支援・助けたい

1	ヤングケアラーが周りにもわからないから、もしいたとするならば、出来る限り手伝ってあげたいと思いました。
2	私はないけど、こういうことをすれば困っている人がとても助かると思った。
3	親が仕事や急用で家には不在で、自分が家族の世話をしなければならぬ。私なら別に構わないけれど、友達と遊びたかったり、もっと勉強したいのに…って思っている人がいるなら仕方がないけど「差別」だと思ってしまいます。ヤングケアラーの人がいるならできるだけ寄り添ってあげたいです。
4	世界にはそんな頑張っている人がいることを知ってその人を応援していこうと思う。
5	ヤングケアラーをやくだてたい。
6	そういう人たちがいるのは知ってたけどその人たちをヤングアラーと呼ぶのを知らなかった。その人たちは人の倍頑張っているのに悲しい思いをする方がおおいのはかわいそうだし、助けてあげたいって思った。
7	ヤングケアラーの人に、寄付などで支援をしてあげたりしたいと思う。
8	ヤングケアラーの人たちを助けてあげたいです。
9	私は今ヤングケアラーではないからあまりその人の大変さについてはわからないからそういう人の心の中をよく知ってみんなで支え合っていけるようにしたい。
10	もっと支援をしたい。

11	もし自分のクラスにいるんだっただけならできることをやってあげたい。
12	ヤングケアラーの人はいても気づかないことが多いと教えられたことがあったのでもし周りの人が困っていたら気づいて自分ができることをしてあげたいです。
13	いろいろ大変なことをしている子どもの支援を自分でもしていけると良いなと思いました。
14	私は、困ったことがあまりないのでもしそのようなことが近くであったらボランティアなど自分ができることを少しでもしたいし、困っている人を少しでも助けるようにしたいです。ボランティア活動はどうでしょうか？

#### 4. 問題意識・制度への提言

1	ヤングケアラーのように子供の行動を制限することがあってしまっただけなら日本国憲法にも定められている教育を受けさせる義務に反していることになってしまい子どもの成長を妨げてしまうかもしれないので、その場合は、そのようなヤングケアラーになるようなことはなるべくなくした方がいいと思う。
2	もし、家族の世話をしている遊ばなかったり、勉強についていけなかったりするのなら、市などの方で徹底的に助けてあげるべきだと思うし自分もそうしようと思います。
3	ヤングケアラーの人のために国が何か行動しているのかどうか気になる。
4	大人は、子供の自由な権利を奪っている気もするし、大人は大人で困っていると思うから、ヤングケアラーをなくすことは難しいと思います。
5	ヤングケアラーがいる時点で大人はもっとちゃんとしないといけないのではと思いました。僕はヤングケアラーでは無いけれど、もしも自分がそうになってしまったら、どのようなことをすればいいかわからないので、それをしている人はとても大変なんだなと思いました。
6	ヤングケアラーの人がなるべく減り、必要な支援が受けられるようになって欲しいと思いました。
7	子供が自由に遊んだりできず、大人のためにお世話（手助け）をするのは、可哀想だと思います。そんな人が世の中からいなくなるといいです。子供が自由に生きていくためには大人が必要だと思います。
8	お手伝いとかを呼べないのかなあ。
9	そんな子供は、いてはならない。
10	ヤングケアラーの人が不自由なく暮らせるように協力する機関が充実していればいいと思う。

## 5. ヤングケアラーの困難の理解

1	家族のことを思いやる、手伝うのはいいことだと思うけれど、それはやりすぎだし、自分の時間も作って欲しいし、健康に過ごしてほしい。
2	そんな状況の人がもしかしたら私の近くにいるのかもしれないと思うと、とてもかわいそうだと思った。好きでやっているわけではないのに、学校生活もやりづらくなるのは大変だと思った。
3	ヤングケアラーをしている人は、大変なんだなと思いました。
4	家族のことも学校のことも考えないといけないので大変だと思った。
5	ヤングケアラーの人はそうだと気づいていないこともあるような気がする。
6	本来子供がすることではないけど、色々事情があるから、ダメだとか違うとか他人が言えることじゃないなと思いました。
7	ヤングケアラーは、家族をお世話することは悪いことではないと思うけどそれで自分がやることができなかつたりすることもあると思うから、ヤングケアラーは自分のことも考えてやるのが大切なのではないかと思いました。
8	何もないように見えて本当に苦しいんだなと思った。
9	自分がお世話するのは大変なんだなあと思った！
10	ヤングケアラーの人は大変だということがわかりました。
11	ヤングケアラーというのは、とってもすごいものなんだなと思いました。障害のあるご老人方をお世話をするというのは、本当に大変で困難だとも思いました。自分がお世話をするとしたら、大変すぎて、倒れてしまうかもしれません。足が動かない方は車椅子を用意したり、精神障害の方は落ち着かせたりなどをして、ヤングケアラーの方々はそのようなストレスも抱え込んでいるのだと考えました。
12	こどもが大人のやるような家事をしていて大変だと思った

## 6. 称賛・肯定的評価

1	いいことをしている。
2	不自由な親や、祖父母などを普段の立場とは逆になって子供が助けてあげるのはとても良い事だと思った。私も、祖父母などが歳をとって大変になってきたら頑張っておおうと思った。
3	私にはできないことを私と同じくらいの歳の人ができているのはすごいなと思いました。
4	家庭の人をお世話するなど、大変な人を、助けているので、いいなと思いました。
5	ヤングケアラーの人は、すごいと思った！

## 7. 自身・身近な体験

1	家でなるべくお手伝いや家事などをやった方がお母さんも困らないと思いました。だからこれからはなるべくお母さんやお父さんが困らない程度にお手伝いしたいと思いました。
2	最近お母さんが家事が辛そうで、遊びに行こうか迷うことがある。
3	母がヤングケアラーだったので話をよく聞いているし、どれだけ大変かもよくわかっているので頑張ってもらいたい。
4	弟が3人いてお父さんとお母さんが大変そうだから少し助けたいと思った。
5	私はヤングケアラーは、どこかで聞いたことがあるんですけど障害を持つ人のお世話は初めて知りました。じいじのお母さんのお世話は、していません。今は、元気にはしていますが、少し認知症になってしまって施設にいます。たまに会いに行っているんですけど、いつも笑顔で、他の施設にいる方とも遊んだことがありますとても楽しいです。
6	隣の席の子がいつも家事などをしている気がしていて、少しだけ気になる。

## 8. 相談・サポート体制

1	体が不自由な人は、たくさんいて、それを家などで介護しなければいけない人もたくさんいることは、聞いたことはあります。しかし、それで悩んでいる人もたくさんいることも聞いています。しかし、それを他の人に相談するのは、介護されている人に悪いな、などと考えてしまって、相談する勇気がなくなってしまうと思います。でも、ヤングケアラーのことではないんですが、他のことで話しにくい時に、相談室で相談できる優しい先生がいました。それで、楽しく話せて、心もスッキリしました。ヤングケアラーについて相談したい人は、やっぱり僕のように勇気が出ない人もいるから、相談室は大事なんだと思います。あと、自分はヤングケアラーではないですが、少しでも、ヤングケアラーで困っている人を無くしたいなと思います。
2	相談のようなことができて良いと思った。

## 9. 自己開示・援助希求

1	その他の事であんま分かってくれるかは、分かんないけど、なんか前から涙がすぐ出たり身体が限界な気がしてゆっくり休みたいけど休めない。あと、相談の事だけどあまり直接は相談したくない。
---	---

## 10. その他

1	わからん。
2	ヤングだからこわそう。
3	とても大変な病気。

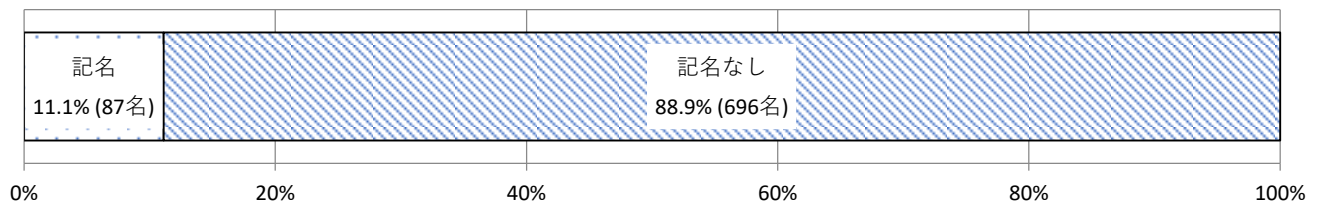
## 第2章 調査結果 1 小学生調査

4	お世話っていう言葉、人に使うの好きじゃない。
5	あんまない。
6	何それ。

★ 最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」人のみ、こちらにお名前を書いてください。

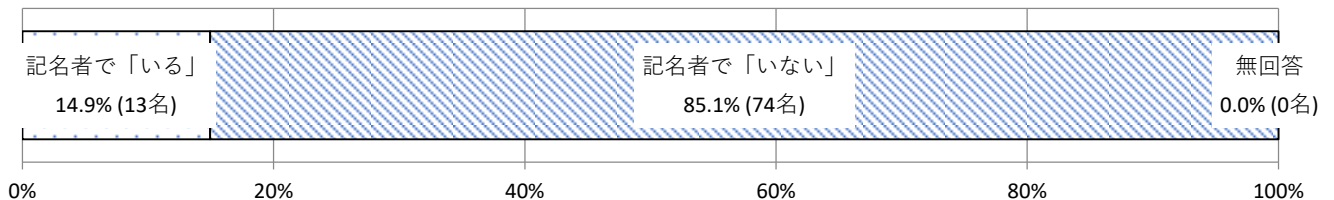
ヤングケアラーについて悩み、相談や支援を希望する子どもが任意で記名できる設問を設けたところ、記名した回答者は 87 名（11.1%）となっている。

### 小学生調査 n=783

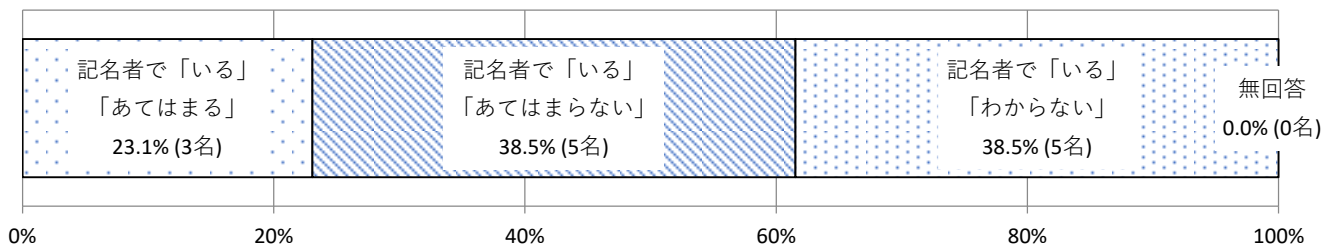


そのうち、世話をしている家族が「いる」を選択した回答者は 13 名（14.9%）で、自身がヤングケアラーに「あてはまる」を選択した回答者は、3 名（23.1%）であった。

### 小学生調査 n=87



### 小学生調査 n=13



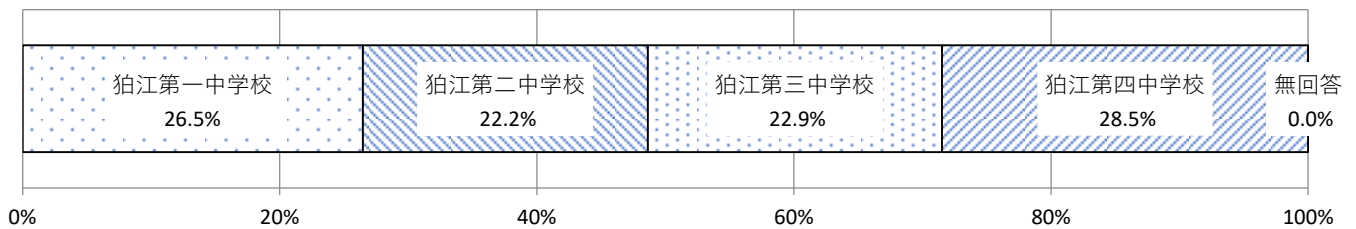
## 2 中学生調査

### 1 基本情報

問1. あなたの学校を教えてください。(答えは1つ)

「狛江第一中学校」が 26.5%、「狛江第二中学校」が 22.2%、「狛江第三中学校」が 22.9%、「狛江第四中学校」が 28.5%となっている。

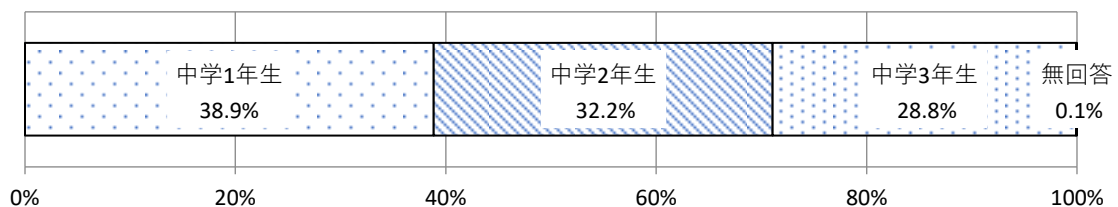
中学生調査 n=888



問2. あなたの学年を教えてください。(答えは1つ)

「中学1年生」が 38.9%、「中学2年生」が 32.2%、「中学3年生」が 28.8%となっている。

中学生調査 n=888



問3. 学級名 (省略)

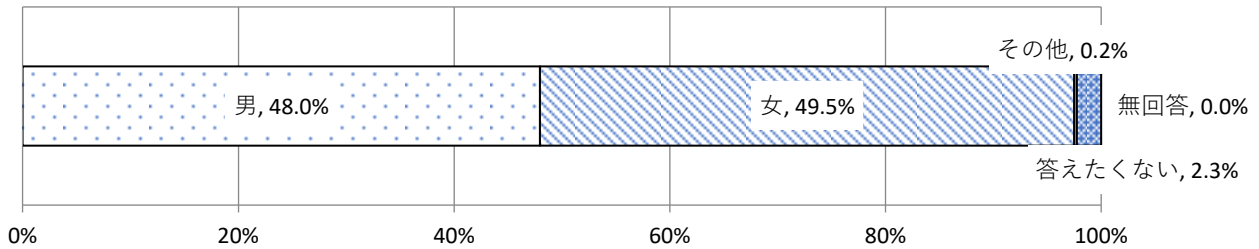
問4. 出席番号 (省略)

## 第2章 調査結果 2 中学生調査

問5. あなたの性別を教えてください。(答えは1つ)

「男」が48.0%、「女」が49.5%、「その他」が0.2%、「答えたくない」が2.3%となっている。

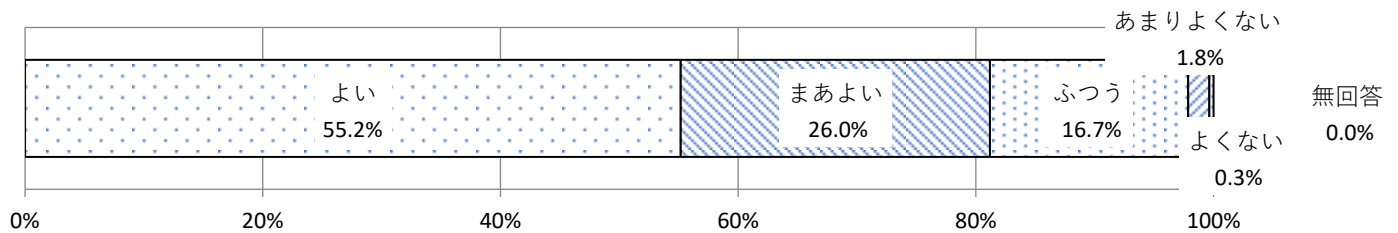
中学生調査 n=888



問6. あなたの健康状態について教えてください。(答えは1つ)

「よい」が55.2%、「まあよい」が26.0%、「ふつう」が16.7%、「あまりよくない」が1.8%、「よくない」が0.3%となっている。

中学生調査 n=888



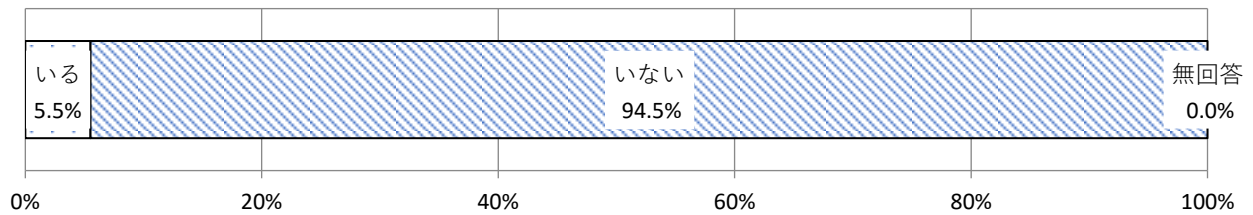
## 2 家庭や家族のことについて

問7. 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。

(ここでいう「お世話」とは、本来大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(答えは1つ)

「いる」が5.5%、「いない」が94.5%となっている。

中学生調査 n=888

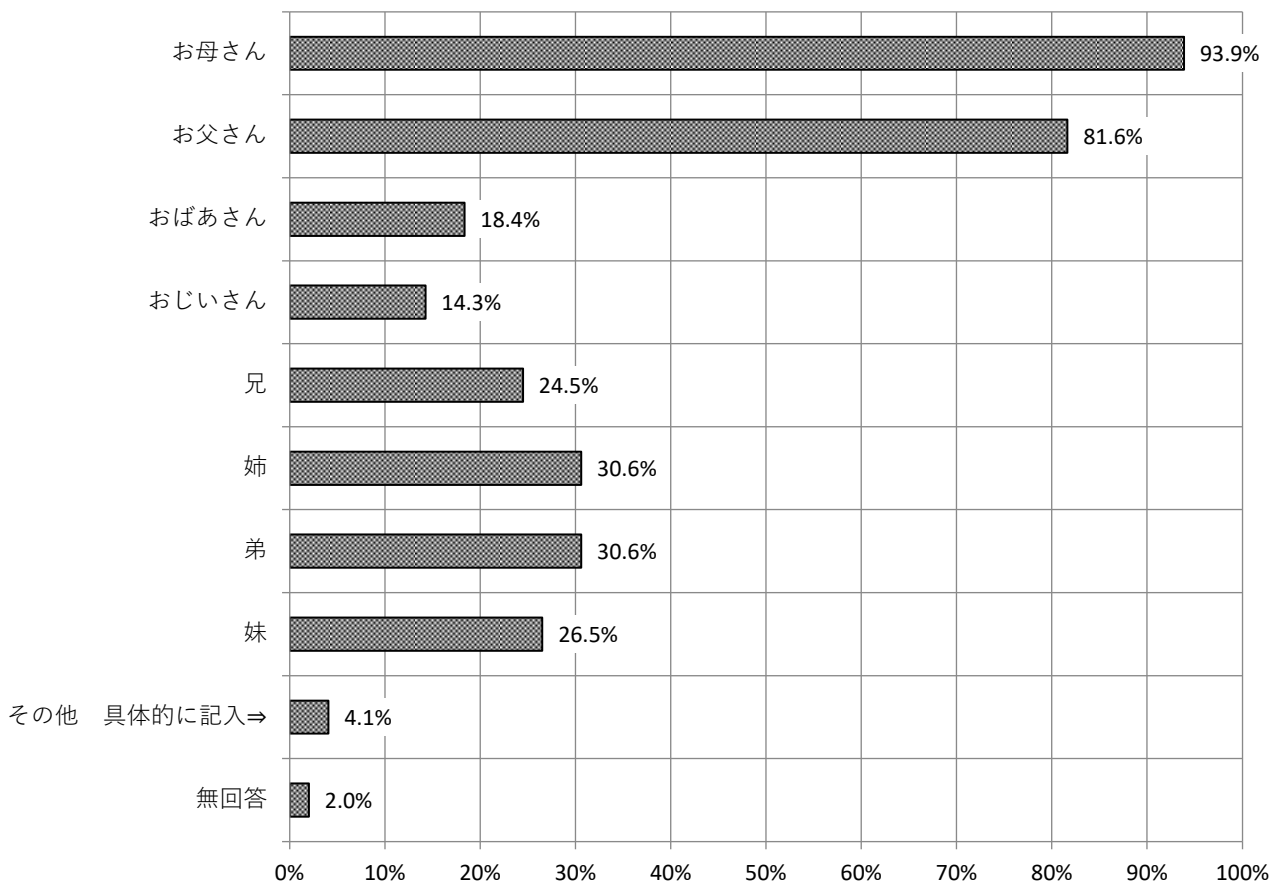


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問8. あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべて)

「お母さん」が93.9%で最も多く、次いで「お父さん」81.6%、「姉」、「弟」が30.6%となっている。

中学生調査 n=49

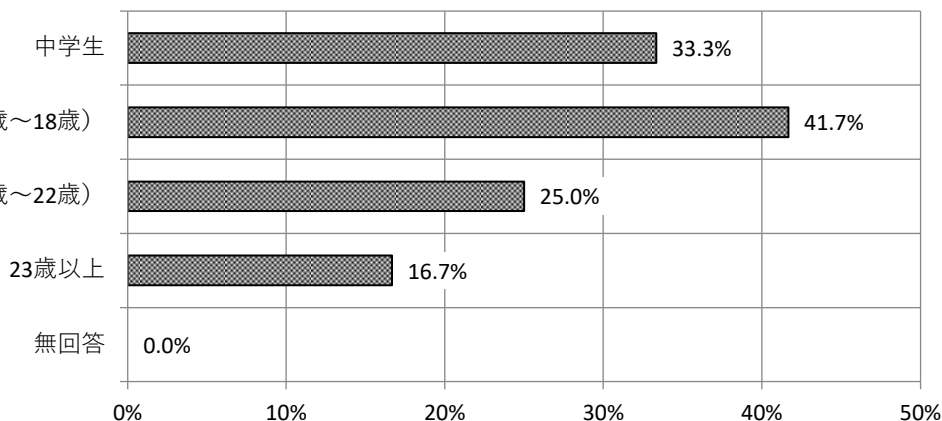


**問8で「兄」を選択した回答者**

問8-① あなたの兄についてあてはまるものをすべて選んでください。  
(複数の兄がいる場合、すべての方について回答してください。)  
(あてはまる番号すべて)

「高校生世代(16歳~18歳)」が41.7%で最も多く、「中学生」が33.3%、「大学生世代(19歳~22歳)」が25.0%、「23歳以上」が16.7%となっている。

中学生調査 n=12

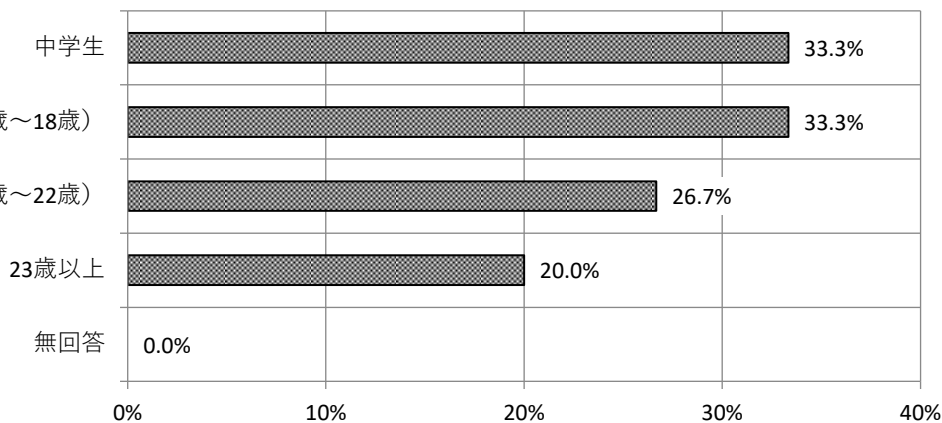


**問8で「姉」を選択した回答者**

問8-② あなたの姉についてあてはまるものをすべて選んでください。  
(複数の姉がいる場合、すべての方について回答してください。)  
(あてはまる番号すべて)

「中学生」、「高校生世代(16歳~18歳)」が33.3%で最も多く、「大学生世代(19歳~22歳)」が26.7%、「23歳以上」が20.0%となっている。

中学生調査 n=15

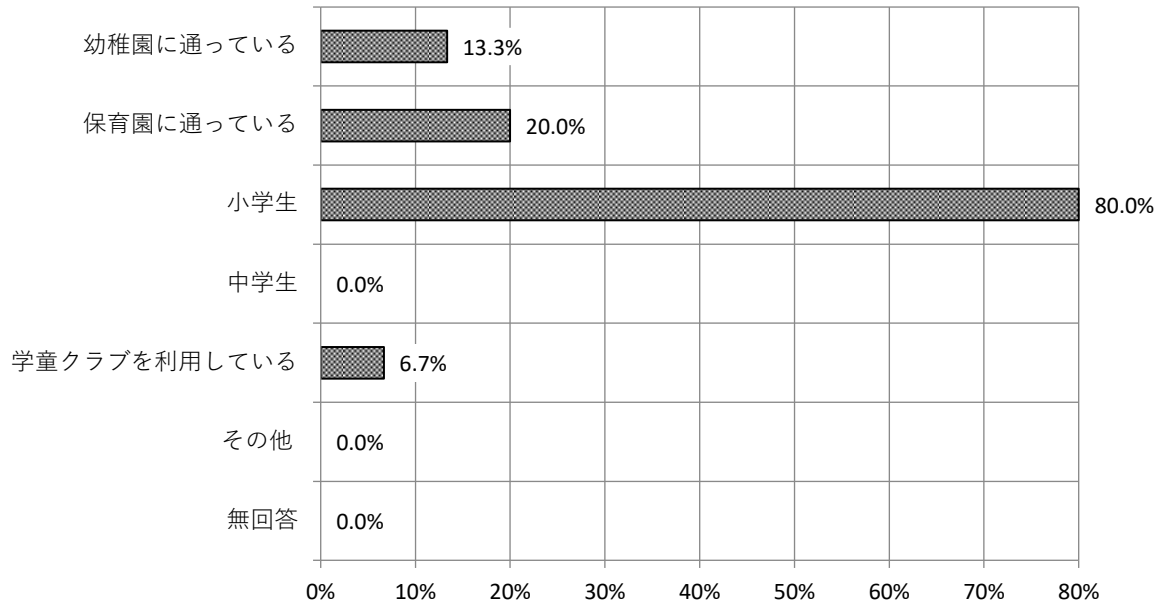


**問8で「弟」を選択した回答者**

問8-③ あなたの弟についてあてはまるものをすべて選んでください。  
 (複数の弟がいる場合、すべての方について回答してください。)  
 (あてはまる番号すべて)

「小学生」が80.0%で最も多く、「保育園に通っている」が20.0%、「幼稚園に通っている」が13.3%、「学童クラブを利用している」が6.7%となっている。

中学生調査 n=15



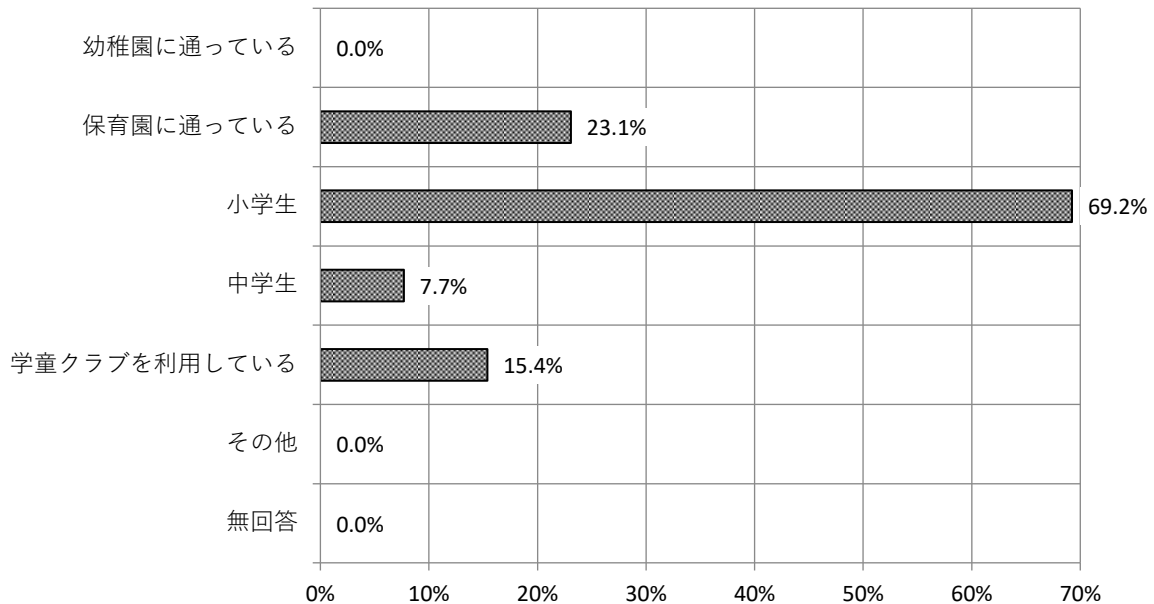
## 第2章 調査結果 2 中学生調査

### 問8で「妹」を選択した回答者

- 問8-④ あなたの妹についてあてはまるものをすべて選んでください。  
(複数の妹がいる場合、すべての方について回答してください。)  
(あてはまる番号すべて)

「小学生」が69.2%で最も多く、「保育園に通っている」が23.1%、「学童クラブを利用している」が15.4%、「中学生」が7.7%となっている。

#### 中学生調査 n=13

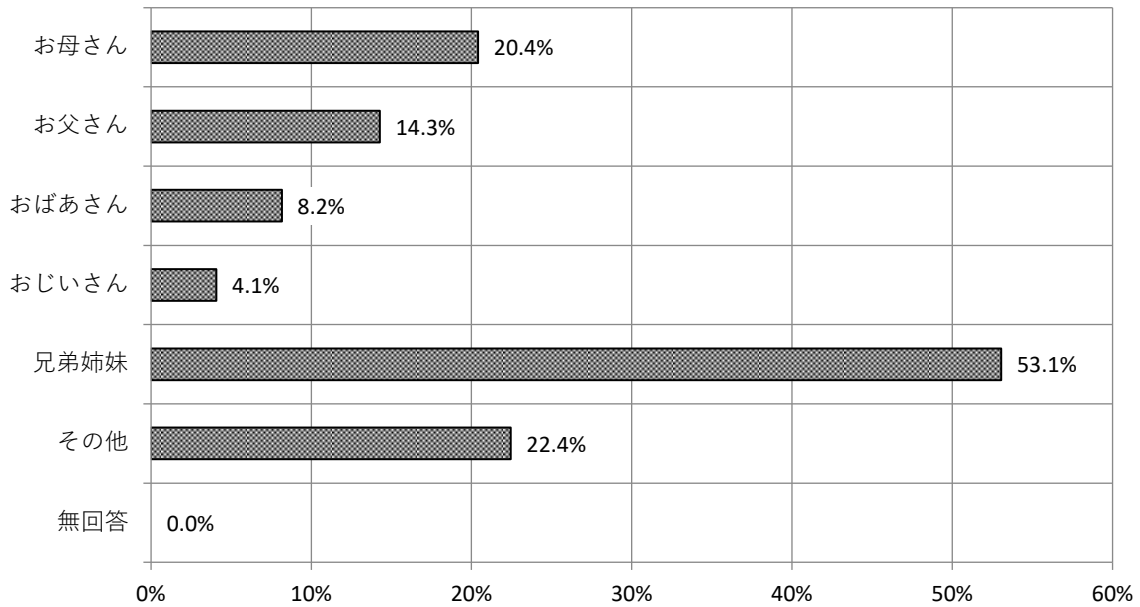


**(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)**

問9. あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべて)

「兄弟姉妹」が53.1%で最も多く、「その他」が22.4%、「お母さん」が20.4%、「お父さん」が14.3%、「おばあさん」が8.2%、「おじいさん」が4.1%となっている。

中学生調査 n=49



## 第2章 調査結果 2 中学生調査

### 問 10. あなたがお世話している人の状況について教えてください。

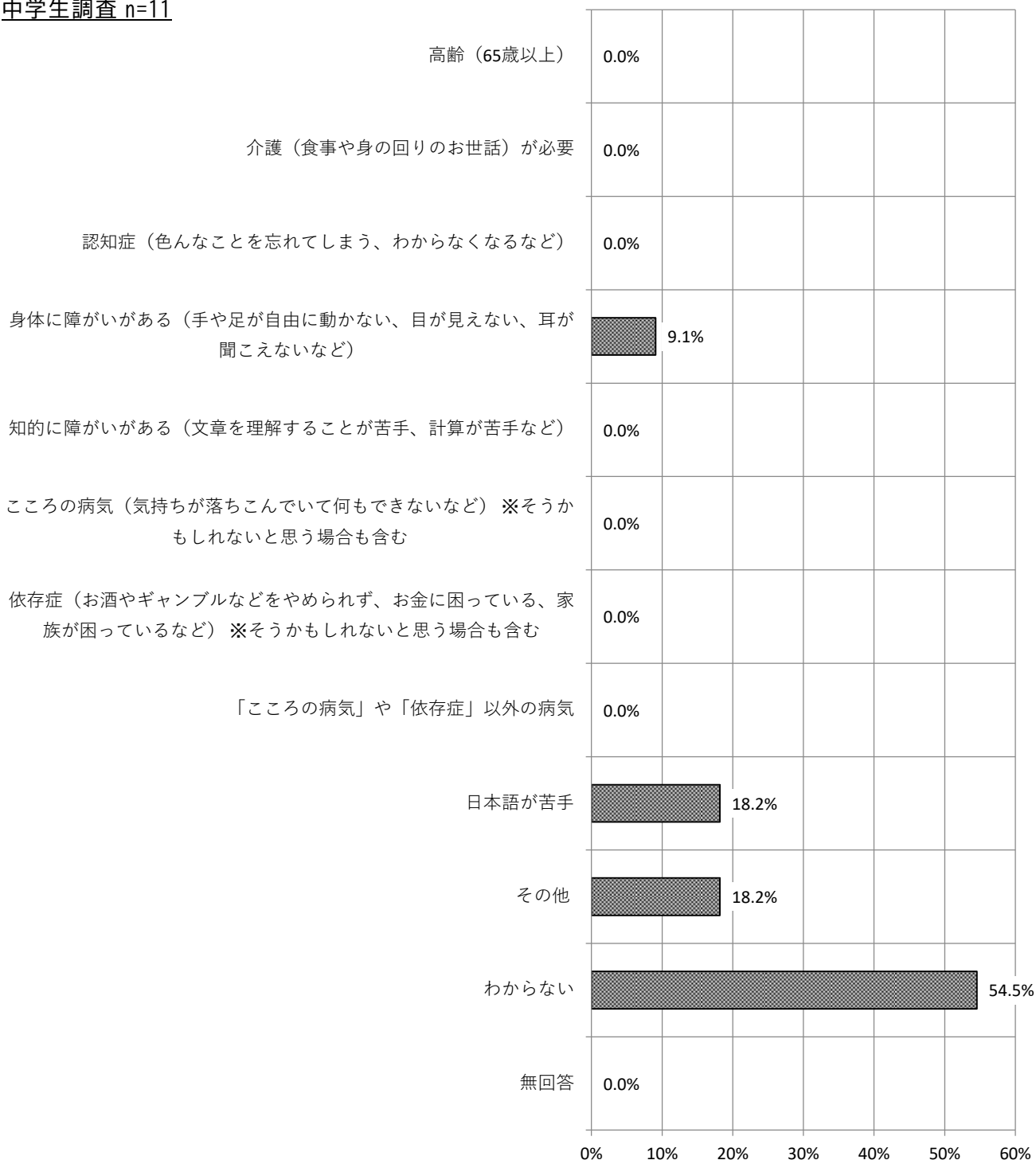
(問9で「お母さん」「お父さん」を選択した回答者)

問 10-① お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「わからない」が54.5%で最も多く、「日本語が苦手」、「その他」が18.2%、「身体に障がいがある(手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど)」が9.1%となっている。

#### 中学生調査 n=11



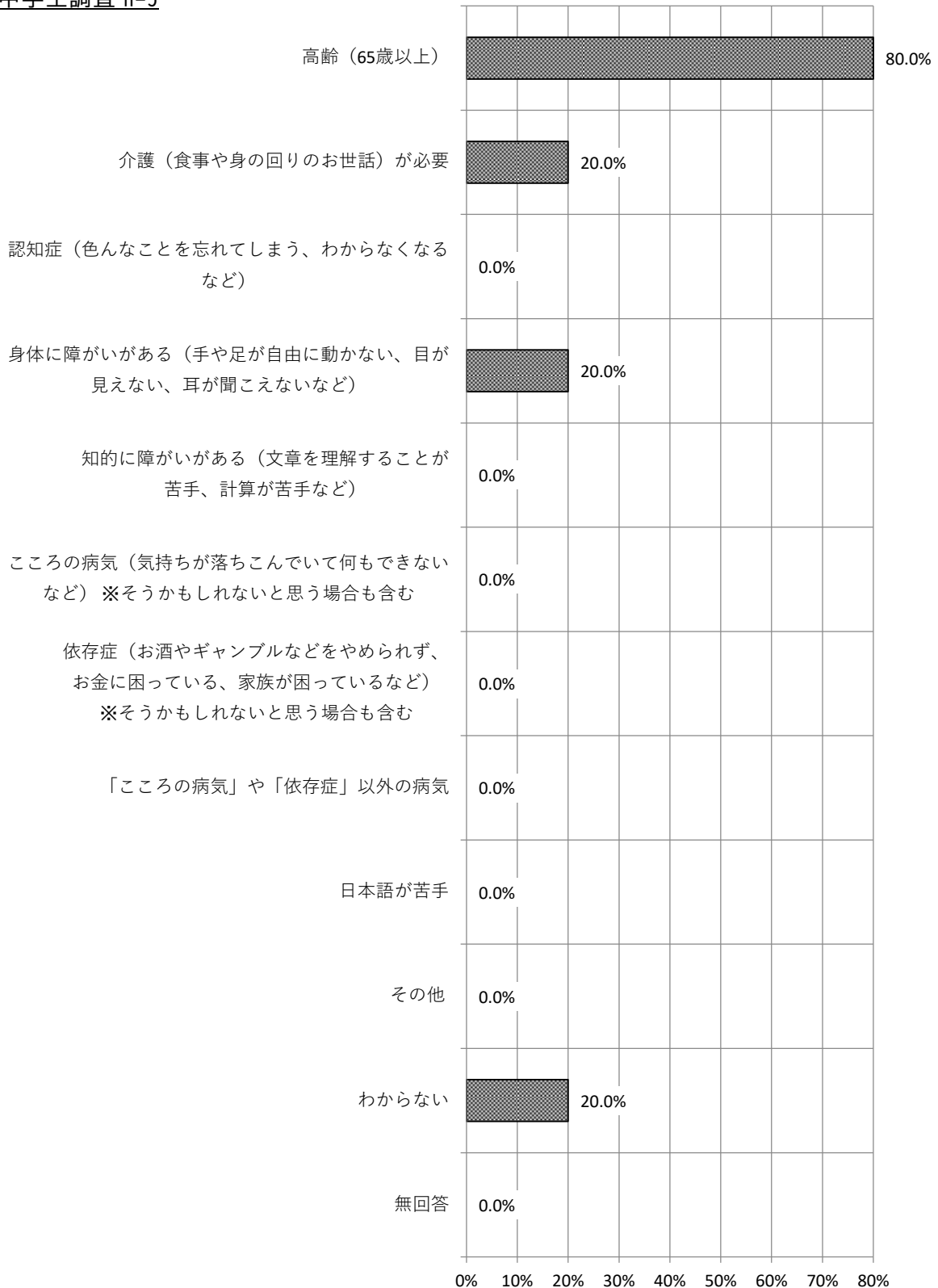
(問9で「おばあさん」「おじいさん」を選択した回答者)

問10-② おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「高齢（65歳以上）」が80.0%で最も多く、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「身体に障がいがある（手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど）」、「わからない」が20.0%となっている。

中学生調査 n=5



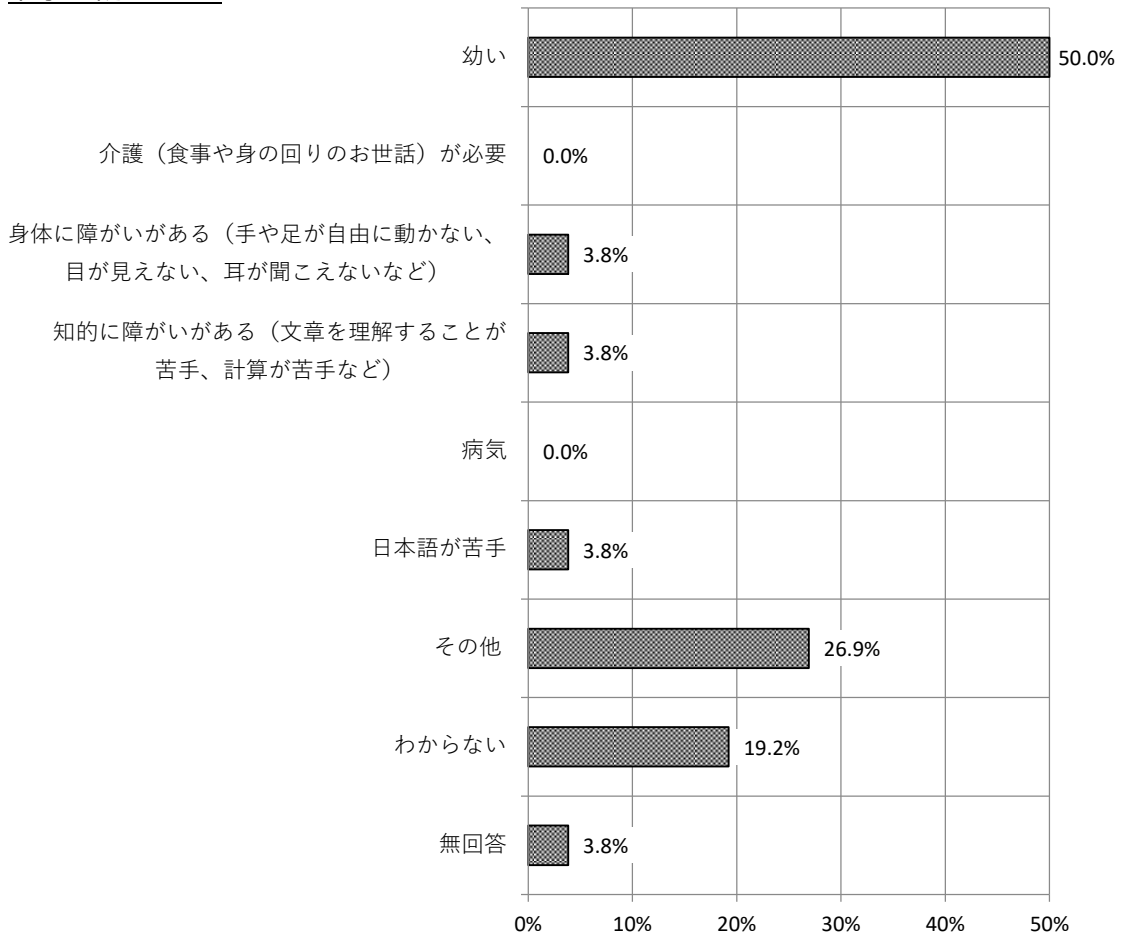
(問9で「兄弟姉妹」を選択した回答者)

問10-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「若い」が50.0%で最も多く、次いで「その他」26.9%、「わからない」19.2%となっている。

中学生調査 n=26



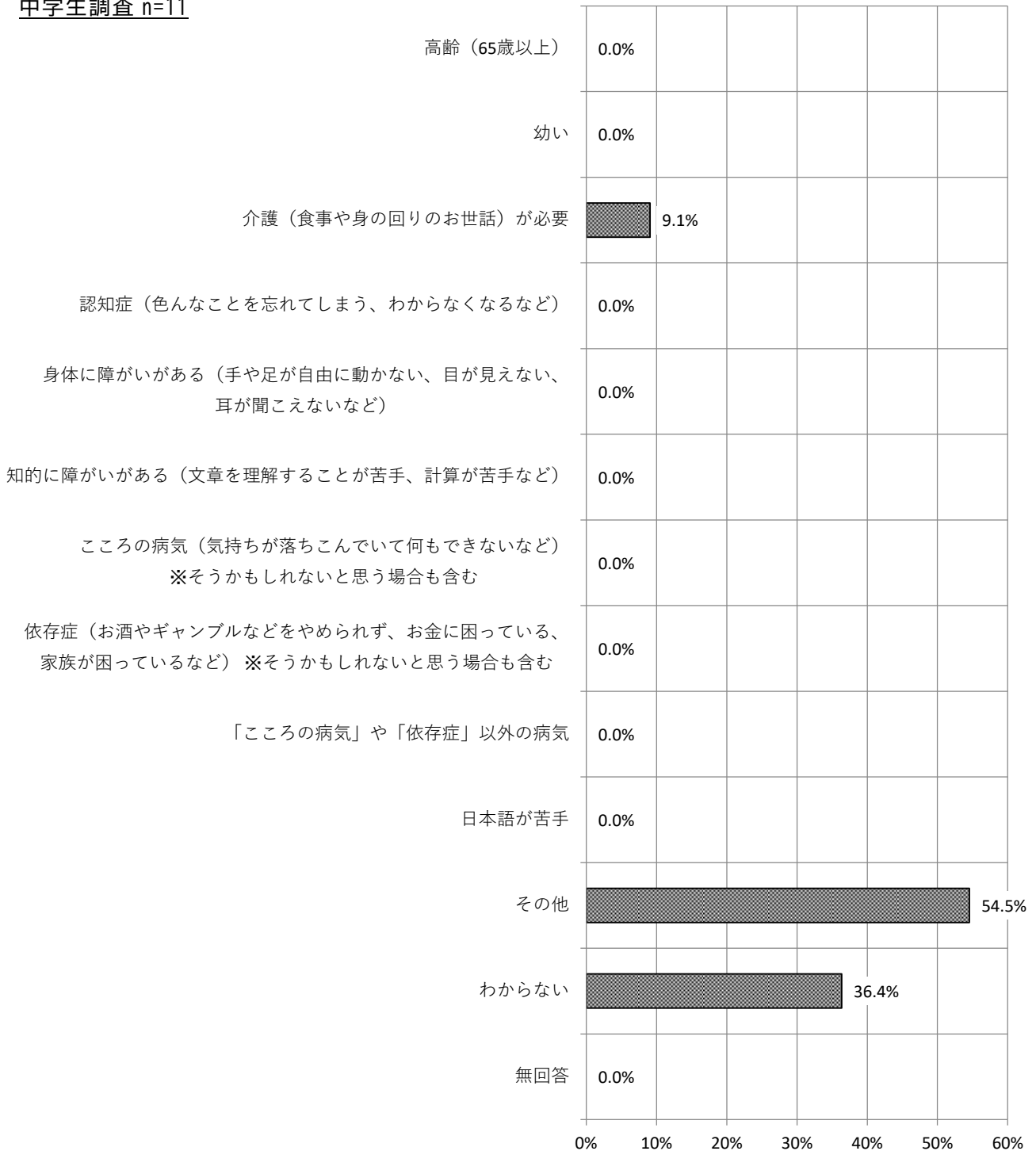
**(問9で「その他」を選択した回答者)**

問10-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「その他」が54.5%で最も多く、「わからない」が36.4%、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」が9.1%となっている。

中学生調査 n=11



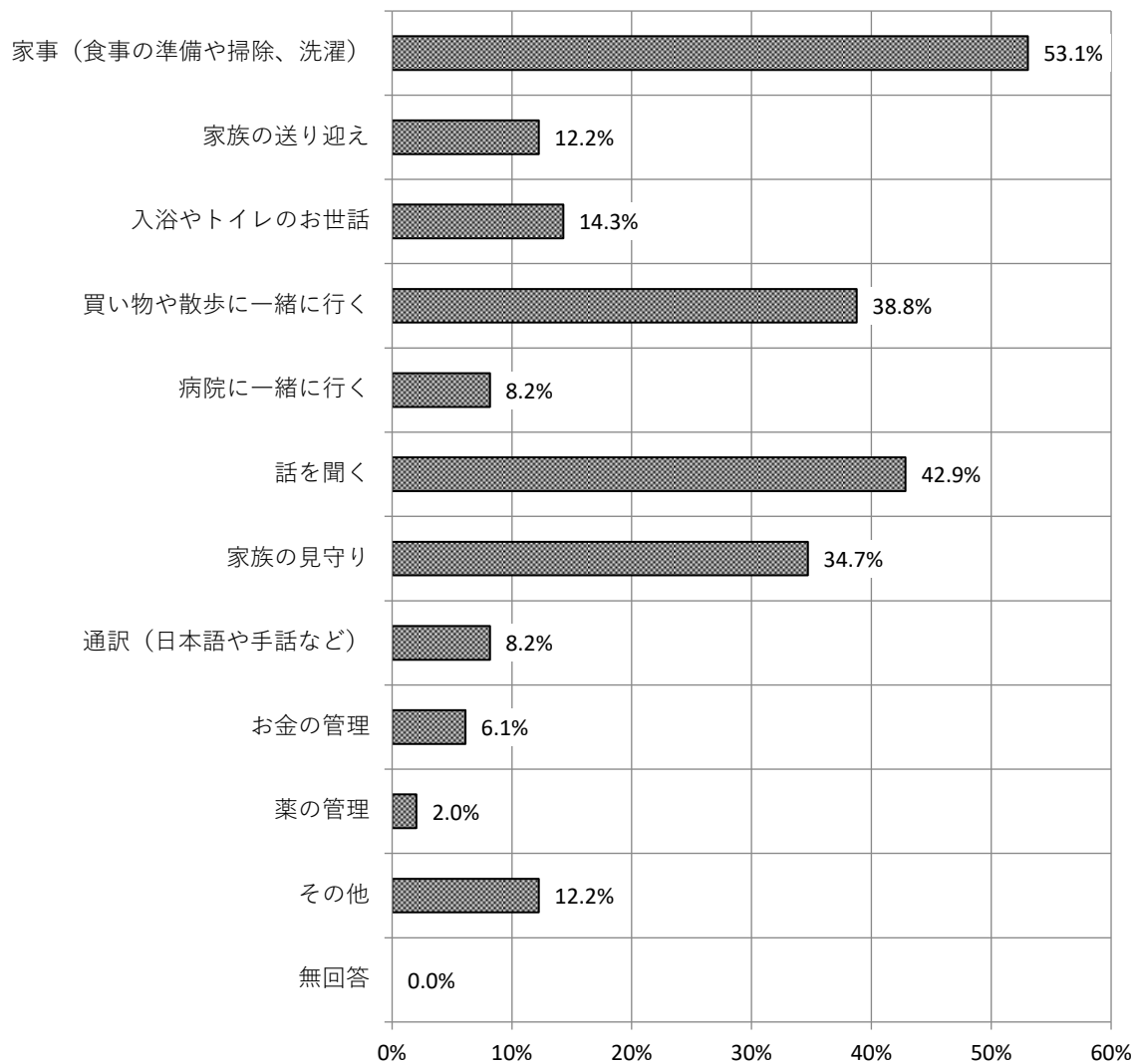
## 第2章 調査結果 2 中学生調査

(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問11. あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべて)

「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が53.1%で最も多く、次いで「話を聞く」42.9%、「買い物や散歩と一緒にいく」38.8%、「家族の見守り」34.7%、「入浴やトイレのお世話」14.3%となっている。

### 中学生調査 n=49

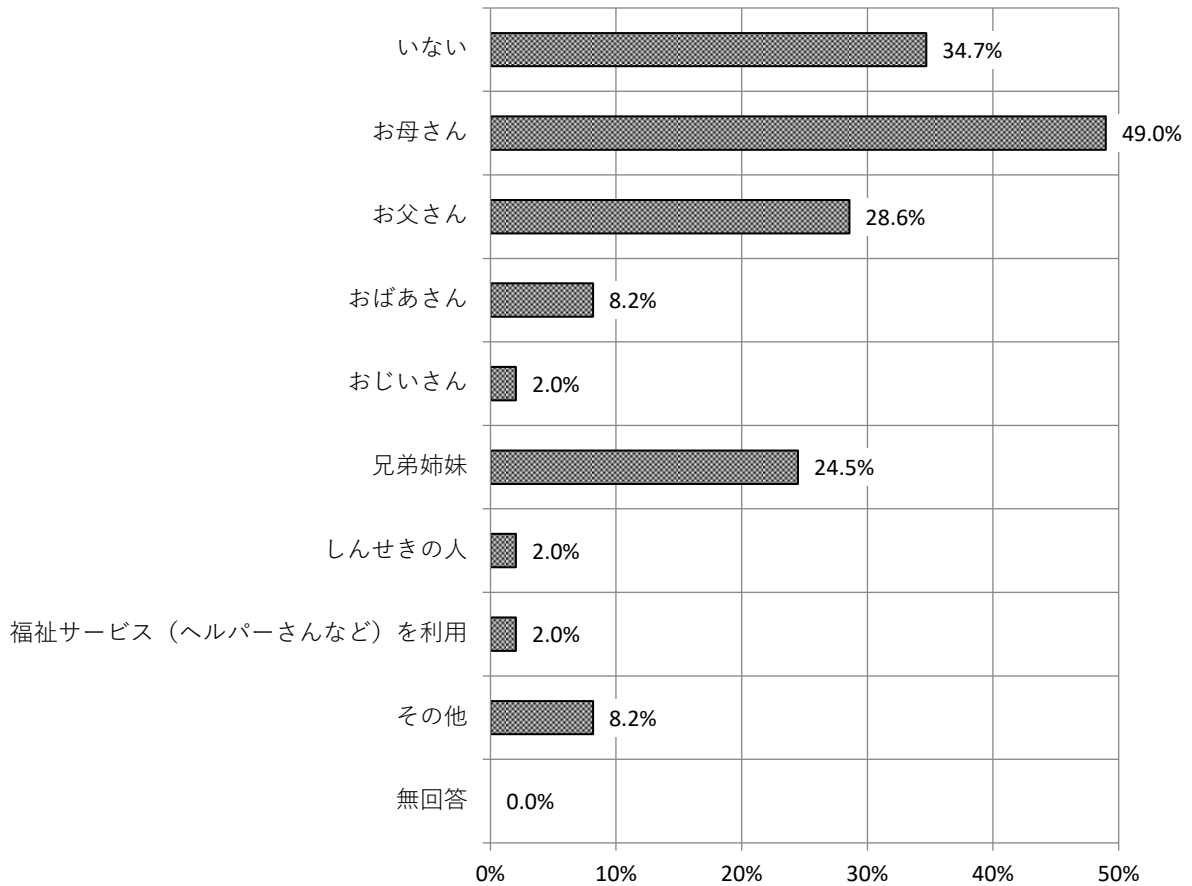


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問12. あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべて)

「お母さん」が49.0%で最も多く、次いで「いない」34.7%、「お父さん」28.6%、「兄弟姉妹」24.5%となっている。

中学生調査 n=49

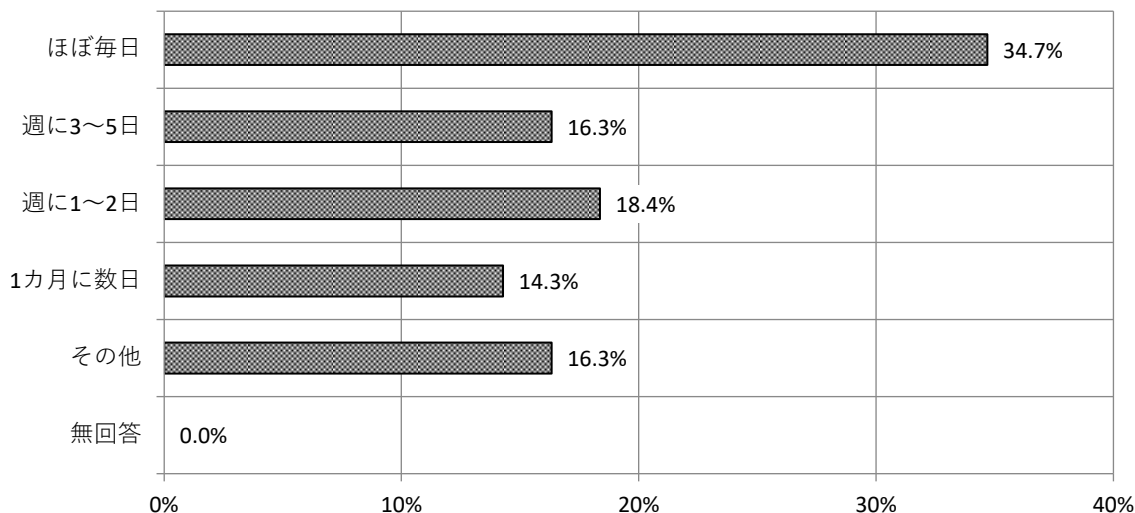


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 13. あなたはどのくらいお世話をしていますか。(答えは1つ)

「ほぼ毎日」が34.7%で最も多く、「週に1～2日」が18.4%、「週に3～5日」、「その他」が16.3%、「1カ月に数日」が14.3%となっている。

中学生調査 n=49

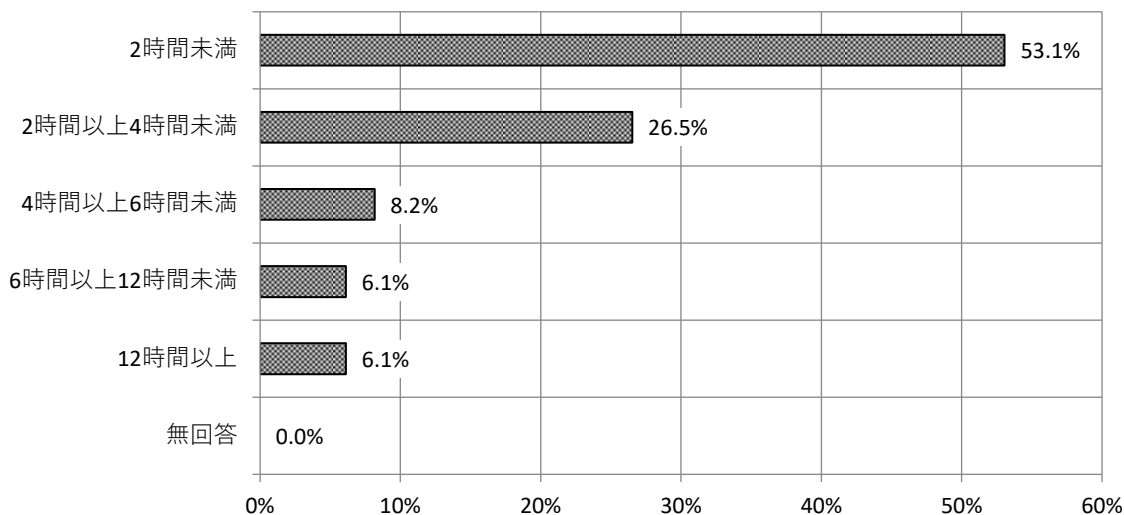


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 14. あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1カ月でいちばん長かった日の時間を教えてください)(時間を記入)

「2時間未満」が53.1%で最も多く、「2時間以上4時間未満」が26.5%、「4時間以上6時間未満」が8.2%、「6時間以上12時間未満」、「12時間以上」が6.1%となっている。

中学生調査 n=49

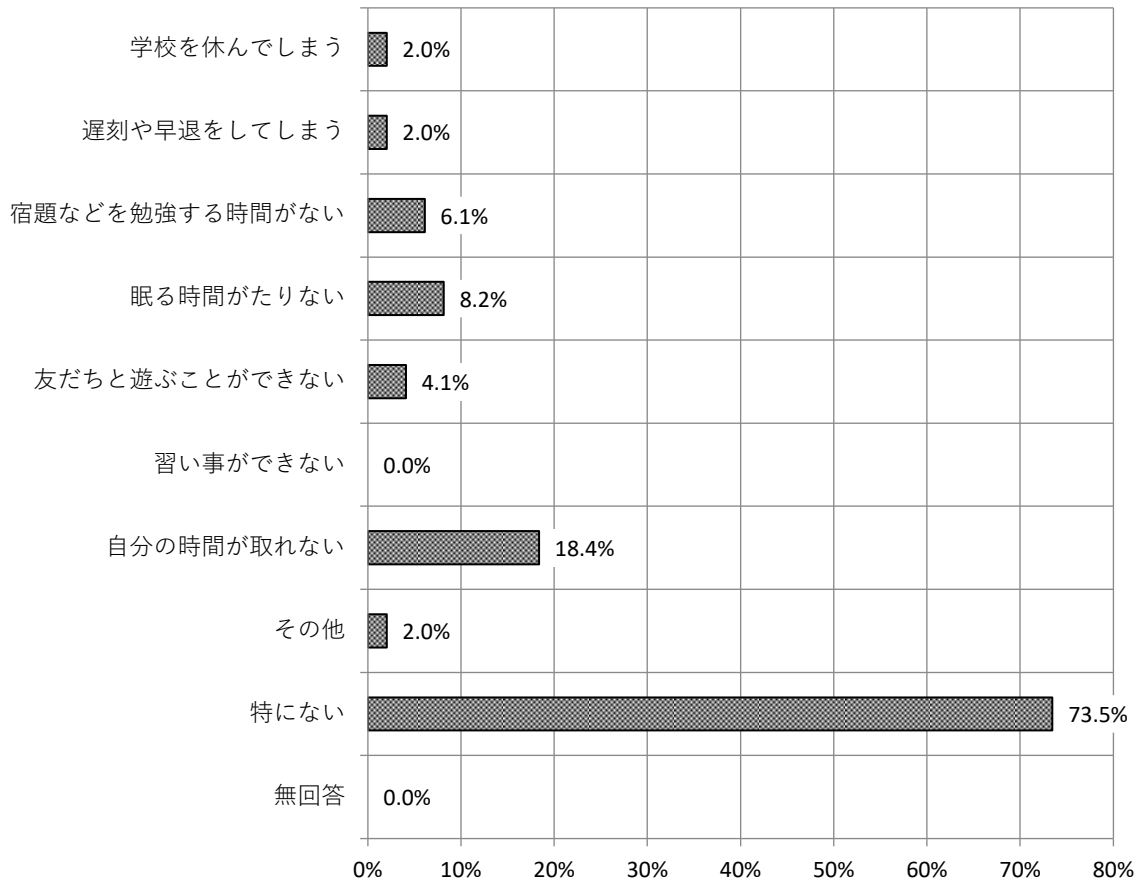


**(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)**

問15. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべて)

「自分の時間が取れない」が18.4%で最も多く、次いで「眠る時間がたりない」8.2%、「宿題などを勉強する時間がない」6.1%、「友達と遊ぶことができない」4.1%となっている。「特にない」は73.5%となっている。

**中学生調査 n=49**

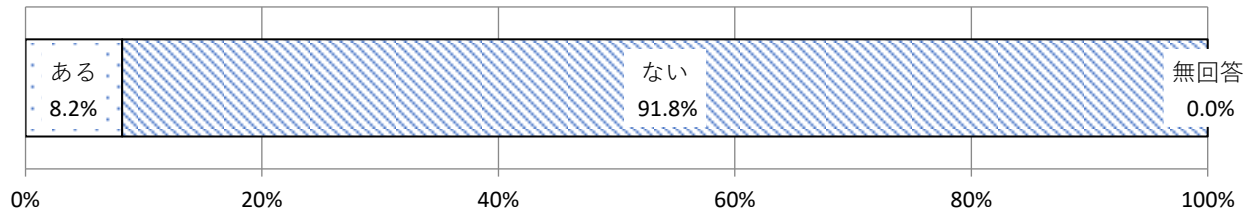
## 第2章 調査結果 2 中学生調査

(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問16. あなたはお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(答えは1つ)

「ある」が8.2%、「ない」が91.8%となっている。

中学生調査 n=49

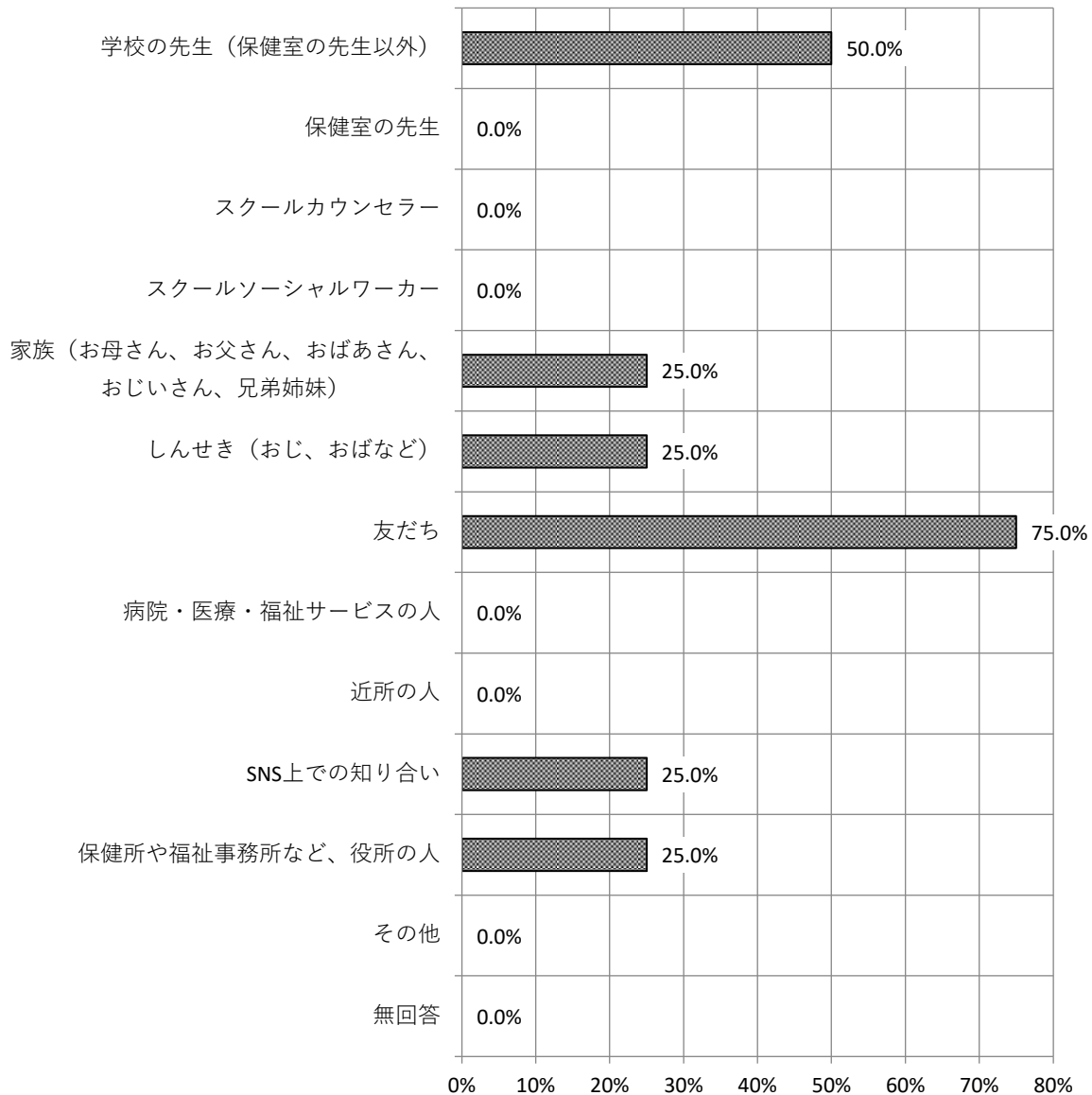


**(問 16 で「ある」を選択した回答者)**

問 16-① 相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべて)

「友だち」が 75.0%で最も多く、「学校の先生(保健室の先生以外)」が 50.0%、「家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹)」、「しんせき(おじ、おばなど)」、「SNS 上での知り合い」、「保健所や福祉事務所など、役所の人」が 25.0%となっている。

中学生調査 n=4



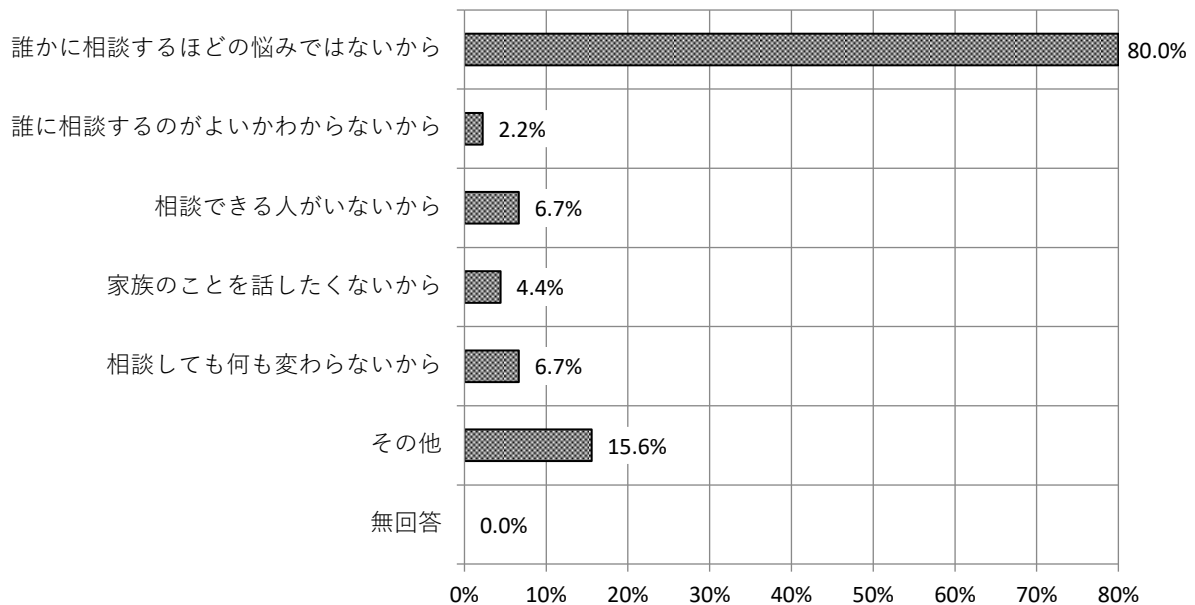
## 第2章 調査結果 2 中学生調査

### (問 16 で「ない」を選択した回答者)

問 16-② 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべて)

「誰かに相談するほどの悩みではないから」が 80.0%で最も多く、次いで「その他」15.6%、「相談できる人がいないから」、「相談しても何も変わらないから」6.7%となっている。

#### 中学生調査 n=45

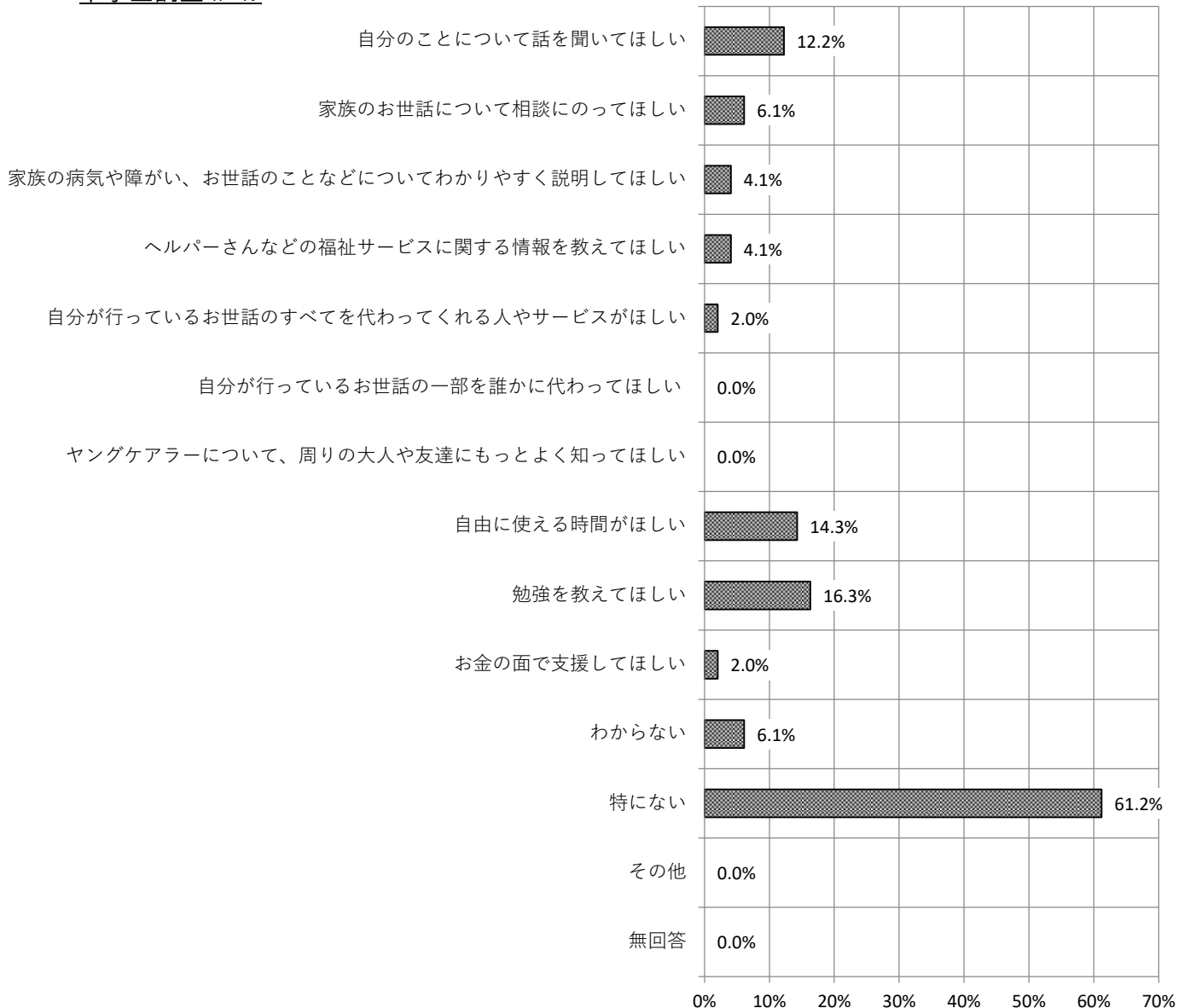


(問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 17. 学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであつたらいいなと思うサポートは何ですか。(あてはまる番号すべて)

「勉強を教えてほしい」が 16.3%で最も多く、次いで「自由に使える時間がほしい」14.3%、「自分のことについて話を聞いてほしい」12.2%となっている。「特にない」は 61.2%となっている。

中学生調査 n=49



## 第2章 調査結果 2 中学生調査

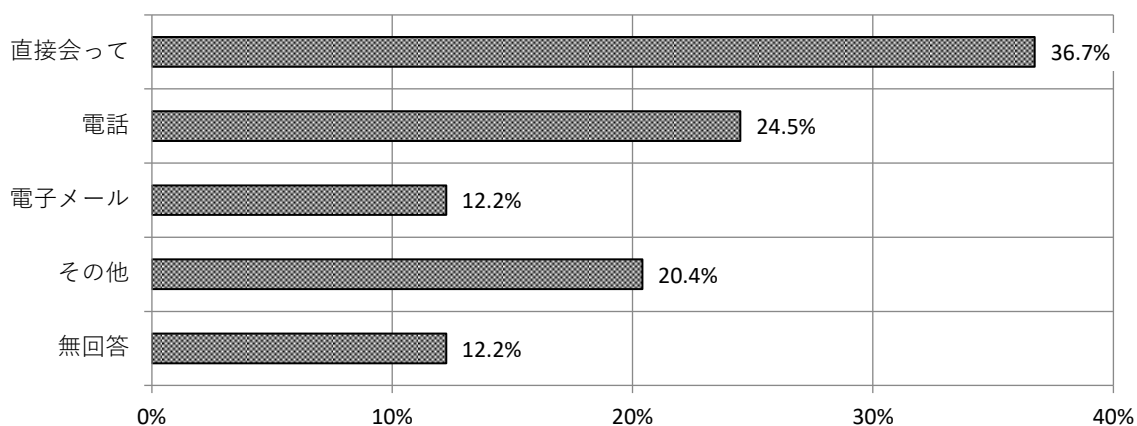
### (問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 18. あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。

(あてはまる番号すべて)

「直接会って」が 36.7%で最も多く、「電話」が 24.5%、「その他」が 20.4%、「電子メール」が 12.2%となっている。

中学生調査 n=49

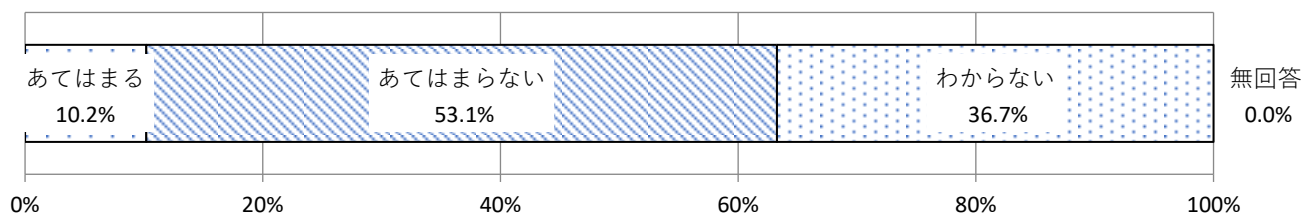


### (問7で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 19. あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(答えは1つ)

「あてはまる」が 10.2%、「あてはまらない」が 53.1%、「わからない」が 36.7%となっている。

中学生調査 n=49



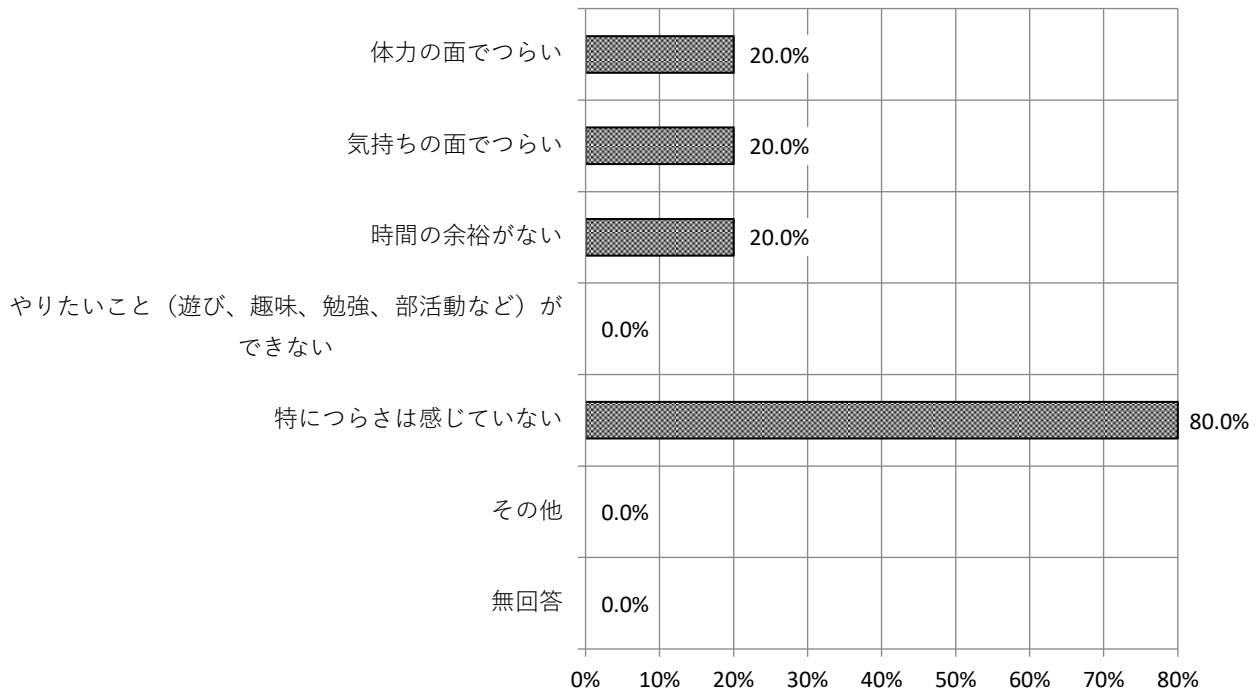
**(問 19 で「あてはまる」を選択した回答者)**

問 19-① あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。

(あてはまる番号すべて)

「体力の面でつらい」、「気持ちの面でつらい」、「時間の余裕がない」が 20.0%となっている。「特につらさを感じていない」は 80.0%となっている。

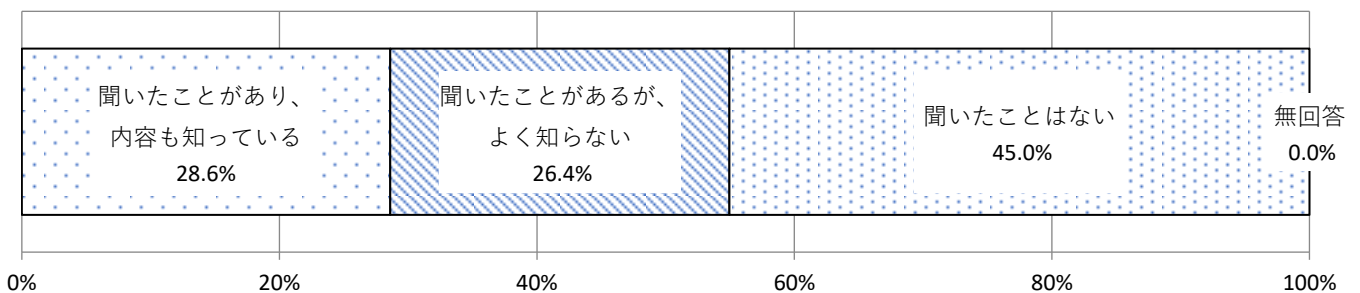
中学生調査 n=5



問 20. 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありましたか。(答えは1つ)

「聞いたことがあり、内容も知っている」が 28.6%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が 26.4%、「聞いたことはない」が 45.0%となっている。

中学生調査 n=888



## 第2章 調査結果 2 中学生調査

問 21. ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることがあれば自由に書いてください。(自由記述)

自由意見の記述があったのは、回収数 888 票中 106 票でした(「無し」等を除く)。

記述内容を以下の 10 カテゴリーに分類しました。なお、分類は問 7 での回答者の選択により、判断が異なる場合があります。

カテゴリー名	問 7 世話の対象 「いる」		問 7 世話の対象 「いない」		全体	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. ヤングケアラーの認知	2	22.2%	14	14.4%	16	15.1%
2. 共感・同情	1	11.1%	11	11.3%	12	11.3%
3. 支援・助きたい	2	22.2%	16	16.5%	18	17.0%
4. 問題意識・制度への提言	0	0.0%	20	20.6%	20	18.9%
5. ヤングケアラーの困難の理解	0	0.0%	12	12.4%	12	11.3%
6. 称賛・肯定的評価	1	11.1%	4	4.1%	6	5.7%
7. 自身・身近な体験	0	0.0%	7	7.2%	7	6.6%
8. 相談・サポート体制	1	11.1%	4	4.1%	5	4.7%
9. 自己開示・援助希求	2	22.2%	1	1.0%	3	2.8%
10. その他	0	0.0%	8	8.2%	7	6.6%
合計	9	100.0%	97	100.0%	106	100.0%

ここでは、自由記述の一部を紹介します。なお、原文を基本としつつ、一部編集・抜粋しています。

### 【問 7 で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者の自由意見】

#### 1. ヤングケアラーの認知

1	「ヤングケアラー」がなんなのかを自分は全く知らない。
2	ヤングケアラーの意味を初めて知りました。

#### 2. 共感・同情

1	ヤングケアラーが大変な物だなあと考えた。
---	----------------------

#### 3. 支援・助きたい

1	困っている人がいればサポートしたい。
2	ひとりでもこまっているこどもがいなくなれば良いとおもう。

## 6. 称賛・肯定的評価

1	将来に役立つからいいなと思った。
---	------------------

## 8. 相談・サポート体制

1	すごく役に立ちました。
---	-------------

## 9. 自己開示・援助希求

1	私には姉がいるのですが、たまに話が通じなくて困っています。
2	自由時間が欲しい。

## 【問7で、お世話をしている人が「いない」を選択した回答者の自由意見】

## 1. ヤングケアラーの認知

1	ヤングケアラーとは本来大人がすべき家事などをしている子供のことを言うとは知らなかったし知れてよかった。
2	ヤングケアラーについて知らなかったけど、初めて知った。
3	ヤングケアラーのことをよく知ることができた。
4	ヤングケアラーということを初めて知りました。
5	世の中にはそういう子供もいるんだなと思った。
6	今日でヤングケアラーのことについて知れてよかった
7	ヤングケアラーのことを初めて知った。
8	ヤングケアラーについて聞いた事ありませんでしたが、今回のアンケートを通してかなり知ることが出来ました。
9	ヤングケアラーについて知っていたがよく知らなかったので知れて良かったです。
10	ヤングケアラーという言葉の意味も知らないから教えて欲しい。
11	家事の手伝いと、ヤングケアラーの違いがわかりません。自分から手伝い、家事をやっている人と、大人ができないからやっている人で、やっている量が変わらなかったらそれはどうなるのですか。
12	ヤングケアラーにはいろんな種類があるんだなと思った。
13	世の中には家族を支えるために頑張っている子供たちがいることを知った。
14	大変なことをやってる人がいることを知れた。

## 2. 共感・同情

1	子供がお世話をするのは大変だと思った。
2	大変そうだよなあ。
3	ヤングケアラーの人達は家族の面倒を見ていて大変、辛いと思わないのだろうか…(心配)。
4	困っている事はないけれどヤングケアラーを实际してる若者もいる訳だし大変そうなのは感じる。
5	大変だなと思いました。
6	大変な人がいるんだなと思った。
7	かわいそうだなと思いました。
8	小さいのに、お世話をしていて大変だと思います。

## 3. 支援・助けたい

1	ヤングケアラーの、負担が少しでも少なくなると思います。
2	そういう苦勞している人たちが幸せに暮らせる世の中になってほしい。
3	このアンケートでヤングケアラーについて少し知ることができた。自分はヤングケアラーではないけれど、ヤングケアラーの大変さを自分に置き換えてみることでよくわかったので、周りにヤングケアラーの人がいたら、できるだけサポート等したい。
4	ヤングケアラーで困っている人がいるなら少しでも助けになってあげたいです。
5	僕はヤングケアラーではないしまだそのような人とも会ったことはないけれど、もしそのような人に会ったら優しく相手のストレスにならないように接したい。
6	ヤングケアラーで苦しんでる人がいるなら、救ってあげたいと思います！
7	私と同じくらいの年齢で、家族を助けないとという使命感から、自分の生活を疎かにしてでも家族を助けようとしている人がいる事を知って、そういう人達とも普通に接して、可能なことは手伝ってあげたいと思った。また、そういった人たちへの適切なサポートをしてほしいと思う。
8	ヤングケアラーのことはマンガで知った。自分の慣れていない介護や世話をすることは簡単ではないと思う。だから、自分も困っている人がいることを自覚して、気にかけて声かけたりして暮らしていきたい。
9	ヤングケアラーは、身近にいる人かもしれないので、もし見つけたら手伝ってあげたいと思います。
10	まだ子供なのに色々な病気を持っている人を介護するのは大変そうに思うので、僕らも何か助けられれば助けてあげたい。
11	自分は違ってもそういった人たちがいることを知ったため、少しでも周りに

	そういった人たちがいたら、協力できるように考えてみたい。
12	ヤングケアラーの人に対してなにかできることはないのかな、と思いました。
13	私は、将来、美容師かスタイリストかひまわり教室の先生になりたいと思っていて、もし、ひまわり教室の先生になれたら、また、なれなくても、ヤングケアラーで困っている人を少しでも、助けてあげられたらいいなと思いました。
14	どこかに遊びにいきたくても行けなかったり、世話をしないといけない子たちがいることを知ってしっかりと周りもサポートできるといいなと思いました。
15	ヤングケアラーの人がいるということは、初めて知りました。親の介護や、障がいのある人を介護するなんて大変だし、それも踏まえて学校に行かないといけないし、受験もあるかもしれないのにやっていることは、すごいことだし、支援した方がいいと思いました。
16	友達で困っている人がいたら助けてあげたいです。

#### 4. 問題意識・制度への提言

1	国がもっと支援をしましょう。以上です。
2	なぜそんな人が出るのかが不思議。
3	ヤングケアラーの支援がもっと手厚くなればいいなと思います。
4	私たちと同じような年齢の子が家族などのお世話をしている、すごいと思った。ヤングケアラーのことを知らない人が多いと思うから、もっとみんなにヤングケアラーのことと、その周りの人ができる支援のやり方を、分かりやすく広めるといいと思った。
5	周りの大人も手伝ってくれれば良いじゃないかと思った。
6	ヤングケアラーの人は忙しくて時間が取れないので、減らしたほうがいいと思った。
7	ヤングケアラーはどうやって解決したら 1 番いいのかあまりわからなくて、難しいなと思った。
8	ヤングケアラーが学校に、人の中にいたとしても気づきにくいです。他の人より多くの負担がかかっていると思います。難しいとは思いますがぜひ学校の方でも支援していただきたいです。
9	このような生きづらさは政治が解決するべきだと思う。
10	ヤングケアラーについてよくわからないから説明する場を作ってほしい。そしたらみんなの理解や気遣いも生まれると思う。
11	ヤングケアラーの人も自分の人生を生きる権利があると思うので狛江市の取り組みはいいと思います。
12	ヤングケアラーに対してどのような取り組みがあるのか気になった。

13	私はヤングケアラーではなかったり、ヤングケアラーの方を実際にこの目で拝見したりしたことがないのであまり具体的なことは言えませんが、若い人や子供が他の人の世話や、働いたりしているということは、そうせざるを得ない状況にいることだと思います。ですが、“そうせざるを得ないから”という理由を放置したままではいけないと思います。ヤングケアラーがいる必要のない社会の仕組みを作って欲しいと思っています。
14	様々な理由でやりたいことができない子供もたくさんいるので、改善するにはどうすれば良いか全員が考えてほしい。
15	ヤングケアラーをサポートする人（会社）の人手不足を改善してほしい。
16	子供が大人の仕事をするのは仕方ないことではあるけど、それを社会がサポートするようになってほしい。
17	ヤングケアラーは、やりたい人がやった方がいい。
18	本人が望んだり、生活や精神的に負担がないならとやかく言うことじゃないと思うし、もし負担や生活に影響があるのなら手助けをするべきだと思う。
19	どういうものなのか伝えた方がいいと思う。
20	本来大人が行う行事、事項を子供がやることには、無理があると思います。例えば、「仕事をしろ」、「金をもってこい」などです。しかし、このことはある意味今の時代の子供にとっては面倒くさいことだけれど、役に立っているとも思います。昔なら、「仕事をしろ」は無理でも、「皿洗いをしろ」や、「お使いに行ってくれ」、「ゴミを出してくれ」などといったことは、できたはずで、むしろ、それが当たり前だったとも思います。しかし、やはり「仕事をしろ」などは良くないと思います。しかも、私は中学生で、ある程度家事について知っているからいいけれど、小学生、特に下級生にとっては、とても辛いことだと思います。その場合、他の大人に相談し、大人がお世話をした方が、家族、自分、どちらもが充実した生活ができると考えられます。

## 5. ヤングケアラーの困難の理解

1	一辺倒に「可哀想」とは思わないようにしてます。
2	自分はヤングケアラーになったことはないが実際になっている人がいることを考えて生きていました。
3	大人になっていないのに育てないといけない人がいる人は、一人で抱えるとよくないと思う。
4	私は、ヤングケアラーではないがヤングケアラーの人もいてその人は、大変なんだろうと自分がもしヤングケアラーだったらと思って考え直せました。
5	ヤングケアラーの人の大変さは想像できないほどだと思います。
6	自分が小さい時から身内を介護したりすることはとても負担がかかることだと思った。

7	世の中には私と同じ歳でも大変な子たちがたくさんいるんだなと実感しました。
8	自らも成長の途中にいるのに大人を世話しなくてはならないことがとても大変だと思うし、世話をしている人が大切な人だったら自分よりも優先してしまいそうだから、自分の成長も妨げてしまいそう。
9	すごく大変な思いをしている人もいることをよく知りました。
10	大変なんだなと思った。自由にのびのびと自分らしく過ごせる今の生活に感謝して生活していきたいと思った。
11	知らないところで頑張っている友達がいるのかなと思った。
12	同じ年齢でも家族の人のために自分の時間を削って手伝いしているということを知った。もしかしたら友達の中にもいるかもしれないから、接し方に気をつける。

## 6. 称賛・肯定的評価

1	若いのに年上を助ける姿勢がかっこいいなと思いました。
2	若いのに自分の健康より相手の健康を大事にしているすごいと思った。
3	やっている人はすごいと思う。
4	そのような状況下で心折れずに頑張っている人はすごいし偉いと思った。

## 7. 自身・身近な体験

1	自分の環境がとても良いということを実感した。
2	私には、98歳の祖母がいる。祖母を一人に任せるのではなく、家族全体として支えることが大切だと思った。ヤングケアラーの人が少しでも少なくなっ て欲しいと思った。
3	これからもっとヤングケアラーをやっていきたいと思います。
4	もし、両親が歳をとったときにどう対応したらどう生活していけば良いのか不安になるときがあります。
5	いつもお母さんがやってくれているようなことを自分もやっていくべきだと思 いました。
6	ぼくもおじいちゃんやおばあちゃんを支えてあげたいと思った。
7	ヤングケアラーは、その家族にとっては必要な人なのかもしれないけれど、そ の人の人生の幅を狭めてしまっていることにもなるのでできればなくせれば いいなと思っています。また、知り合いにヤングケアラーかもしれない人がい て心配です。

## 8. 相談・サポート体制

1	身の回りにそのような人がいる場合はどうすればいいか
2	1人で抱え込まないでもっと周りに相談してほしい。
3	あまり一人で抱え込まないことが大切だと思う。
4	ヤングケアラーのを見つけ方を教えて欲しいです。

## 9. 自己開示・援助希求

1	いつもお母さんが悪い事が多いです。ビール飲みすぎとかテレビ見ることも多いです。私はたまにお世話やっています。
---	--

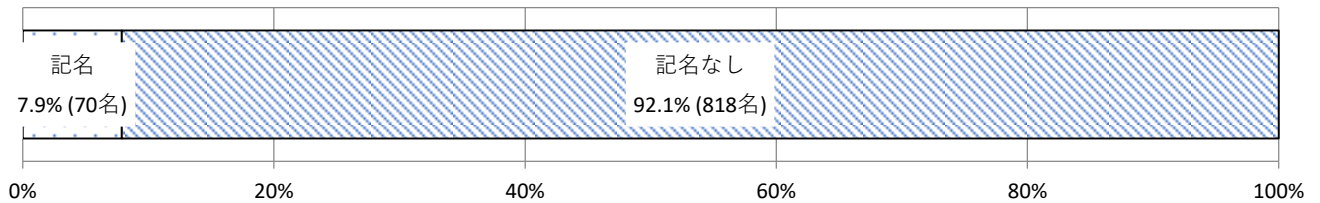
## 10. その他

1	偽善。
2	困っていることはありません。
3	困ってることは特にない。
4	あまり困っていません。
5	わかんない。
6	困ってはいない！
7	とてもいい環境だと思う。
8	知らない。

★ 最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「何かしてほしい」人のみ、こちらにお名前を書いてください。

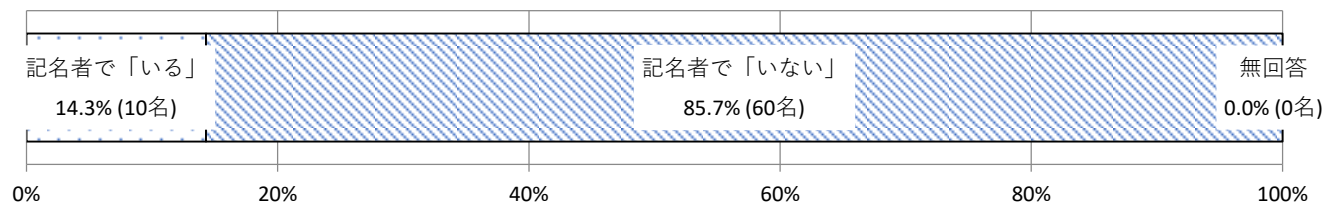
ヤングケアラーについて悩み、相談や支援を希望する子どもが任意で記名できる設問を設けたところ、記名した回答者は70名（7.9%）となっている。

中学生調査 n=888

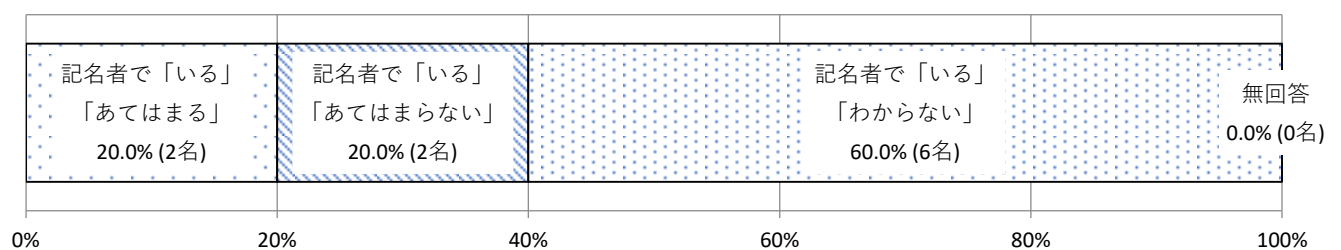


そのうち、世話をしている家族が「いる」を選択した回答者は10名（14.3%）で、自身がヤングケアラーに「あてはまる」を選択した回答者は、2名（20.0%）であった。

中学生調査 n=70



中学生調査 n=10



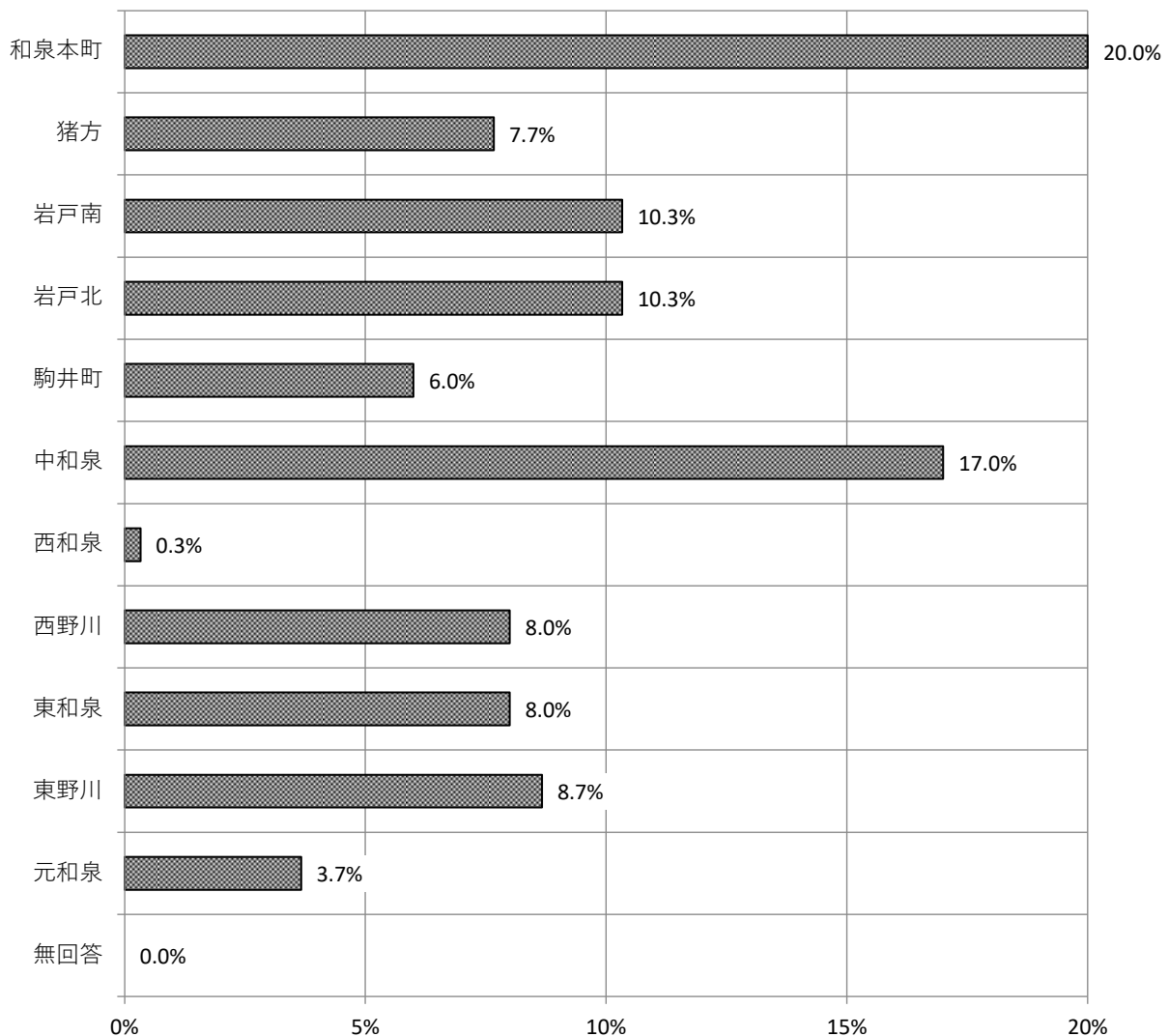
### 3 高校生世代調査

#### 1 基本情報

問1. あなたが住んでいる地区を教えてください。(答えは1つ)

「和泉本町」が20.0%で最も多く、「中和泉」が17.0%、「岩戸南」、「岩戸北」が10.3%、「東野川」が8.7%、「西野川」、「東和泉」が8.0%、「猪方」が7.7%、「駒井町」が6.0%、「元和泉」が3.7%、「西和泉」が0.3%となっている。

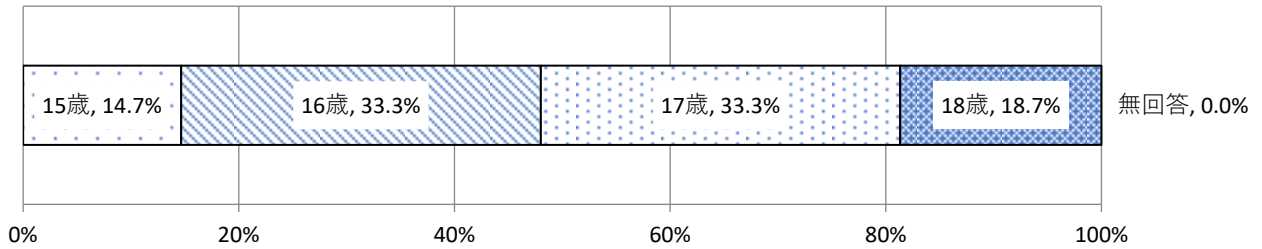
高校生世代調査 n=300



問2. あなたの年齢を教えてください。(答えは1つ)

「15歳」が14.7%、「16歳」、「17歳」が33.3%、「18歳」が18.7%となっている。

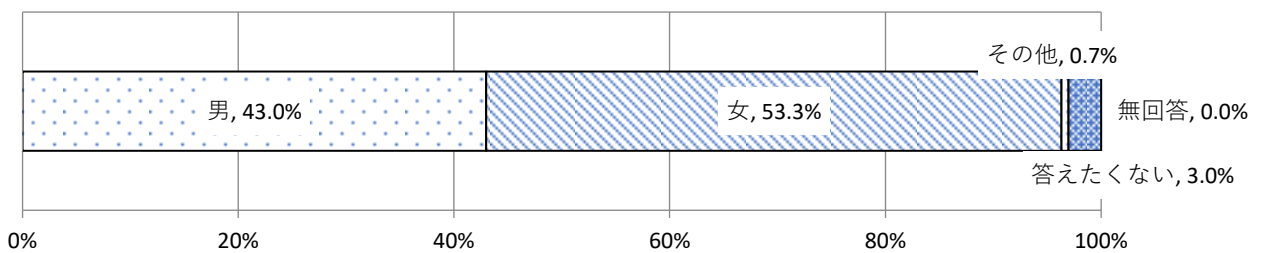
高校生世代調査 n=300



問3. あなたの性別を教えてください。(答えは1つ)

「男」が43.0%、「女」が53.3%、「その他」が0.7%、「答えたくない」が3.0%となっている。

高校生世代調査 n=300

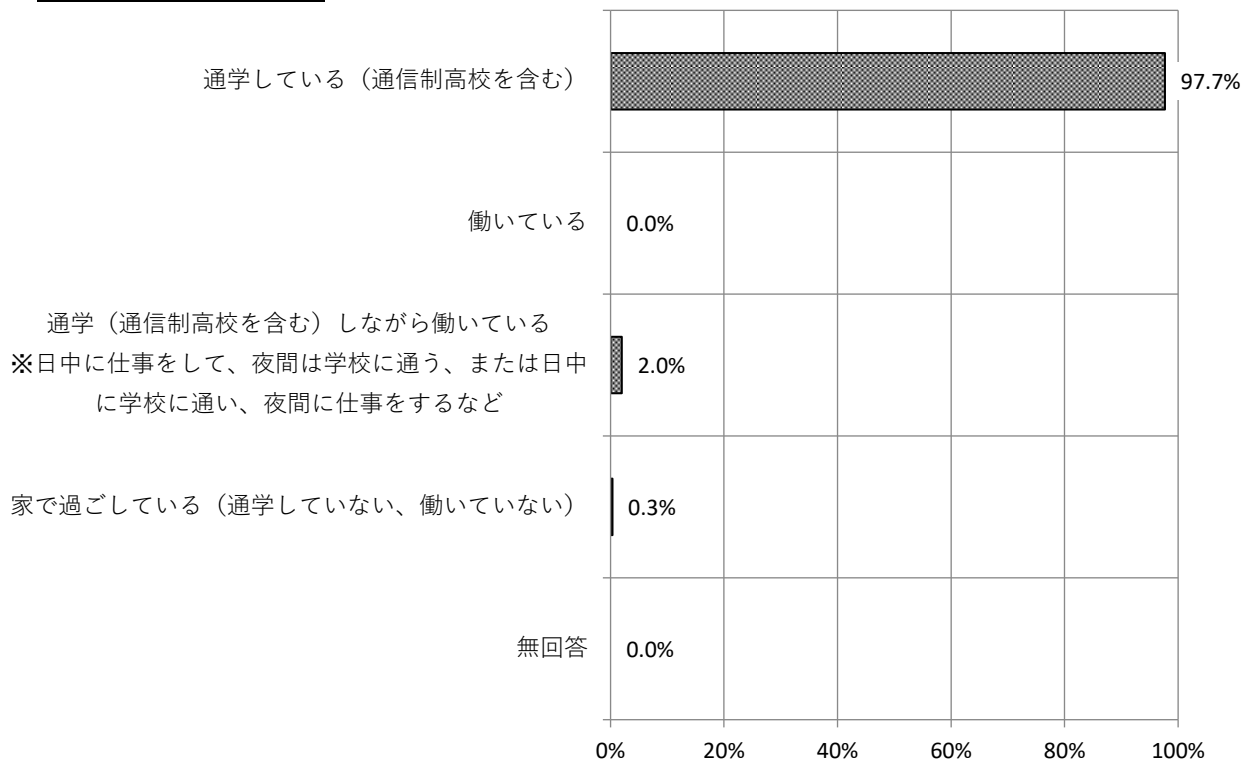


### 第3章 調査結果 3 高校生世代調査

#### 問4. あなたの状況について教えてください。(答えは1つ)

「通学している（通信制高校を含む）」が97.7%で最も多く、「通学（通信性高校を含む）しながら働いている」が2.0%、「家で過ごしている（通学していない、働いていない）」が0.3%となっている。

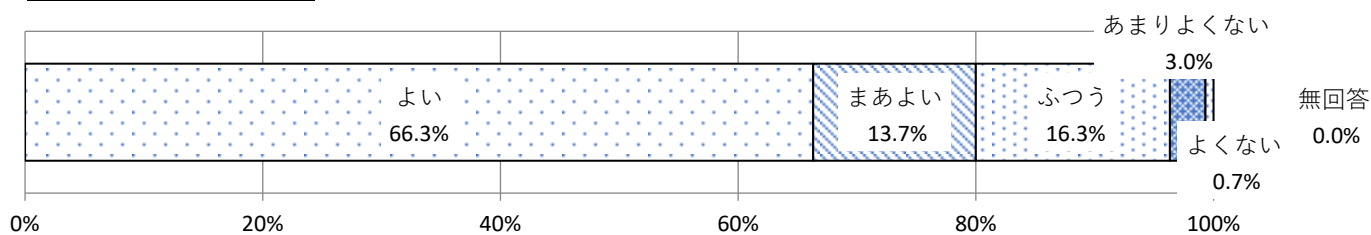
高校生世代調査 n=300



#### 問5. あなたの健康状態について教えてください。(答えは1つ)

「よい」が66.3%、「まあよい」が13.7%、「ふつう」が16.3%、「あまりよくない」が3.0%、「よくない」が0.7%となっている。

高校生世代調査 n=300

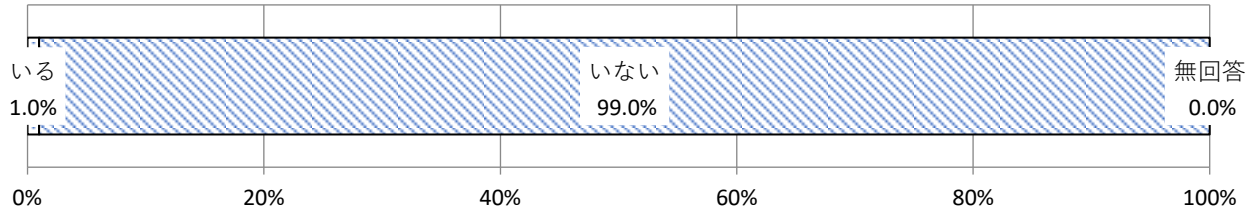


## 2 家庭や家族のことについて

問6. 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とは、本来大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(答えは1つ)

「いる」が1.0%、「いない」が99.0%となっている。

高校生世代調査 n=300

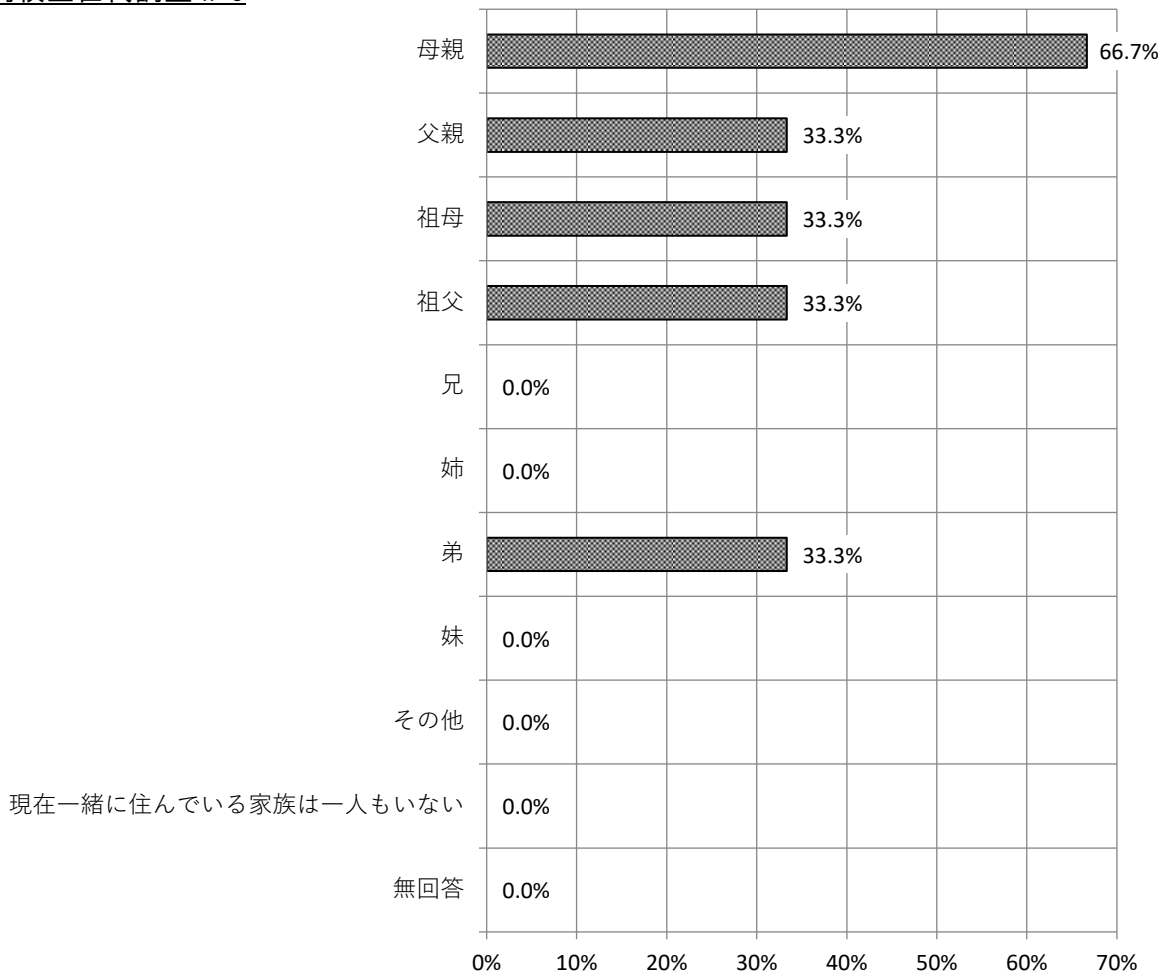


(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問7. 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべて)

「母親」が66.7%で最も多く、「父親」、「祖母」、「祖父」、「弟」が33.3%となっている。

高校生世代調査 n=3



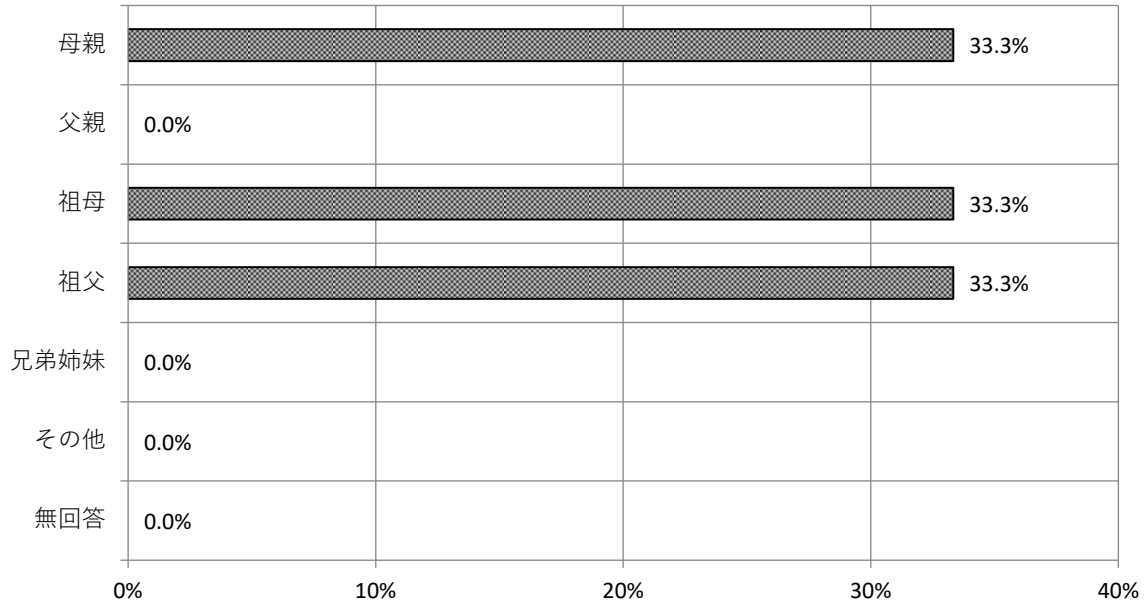
### 第3章 調査結果 3 高校生世代調査

(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問8. あなたは誰のお世話をしていますか。(あてはまる番号すべて)

「母親」、「祖母」、「祖父」が33.3%となっている。

高校生世代調査 n=3



問9. あなたがお世話している人の状況について教えてください。

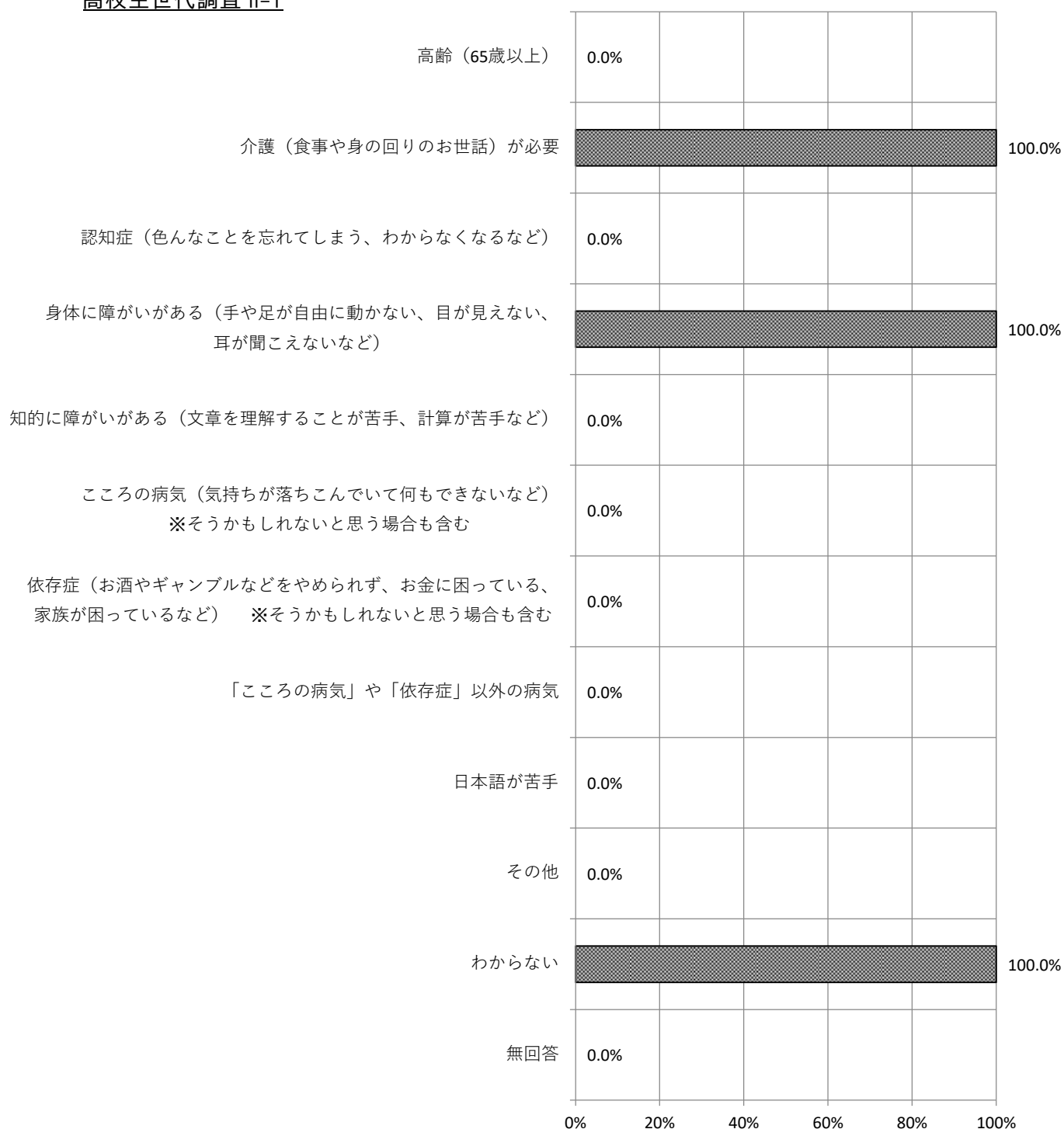
(問8で「母親」「父親」を選択した回答者)

問9-① 母親や父親のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「身体に障がいがある（手や足が自由に動かない、目が見えない、耳が聞こえないなど）」、「わからない」が100.0%となっている。

高校生世代調査 n=1



### 第3章 調査結果 3 高校生世代調査

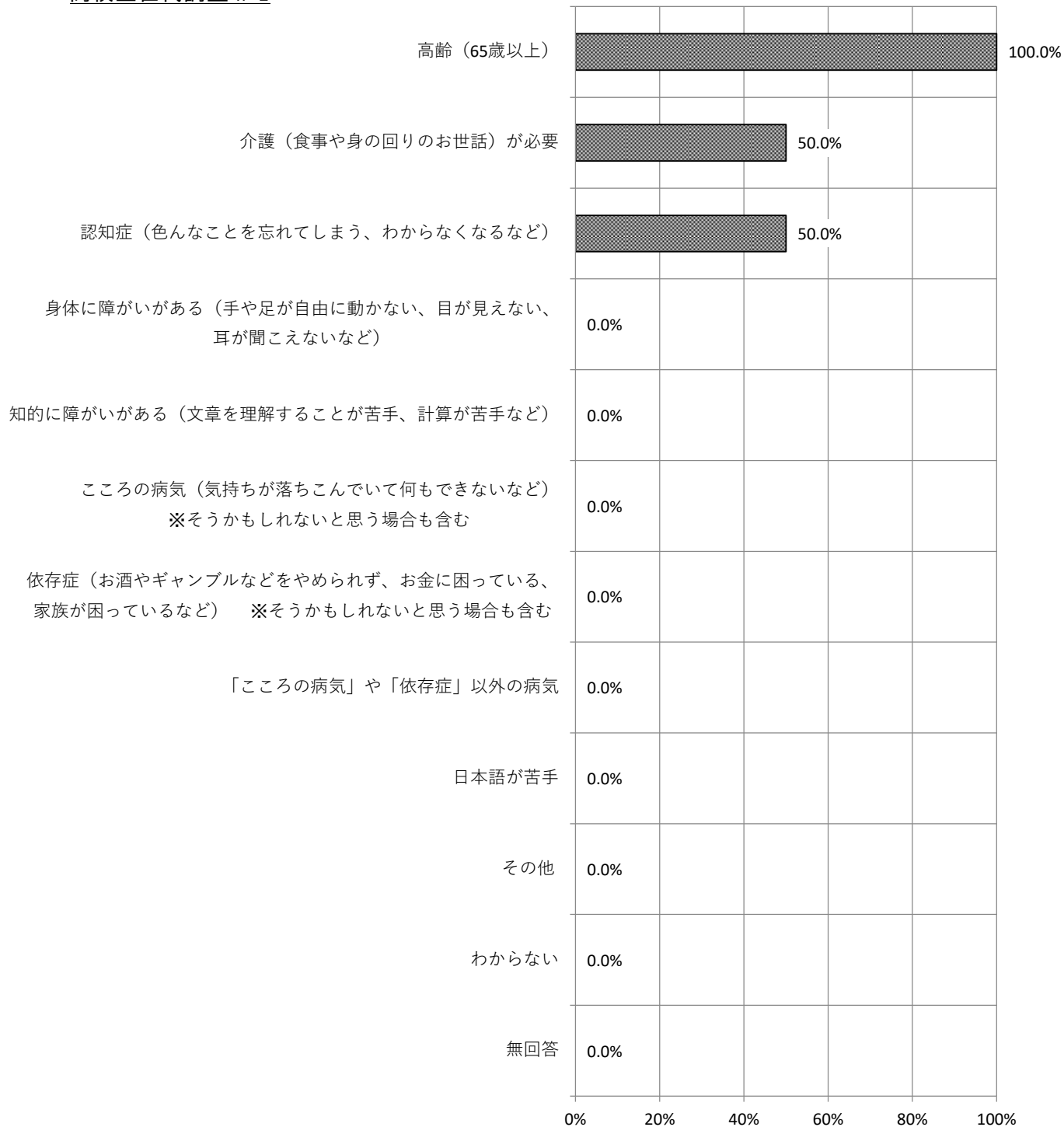
#### (問8で「祖母」「祖父」を選択した回答者)

問9-② 祖母や祖父のお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべて)

「高齢（65歳以上）」が100.0%、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「認知症（色んなことを忘れてしまう、わからなくなるなど）」が50.0%となっている。

#### 高校生世代調査 n=2

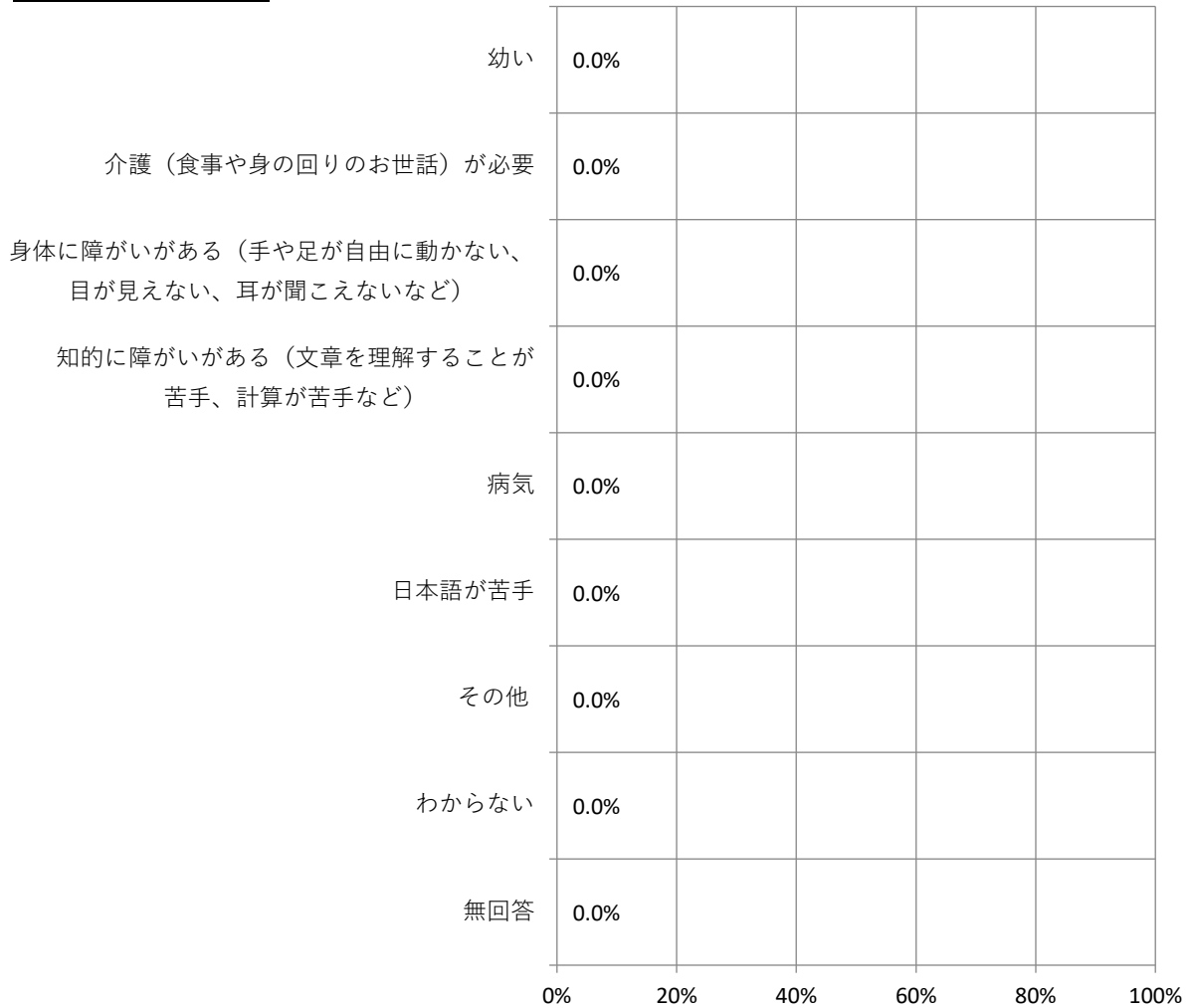


(問8で「兄弟姉妹」を選択した回答者)

問9-③ 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

★問8で「兄弟姉妹」を選択した回答者はいませんでした。

高校生世代調査 n=0



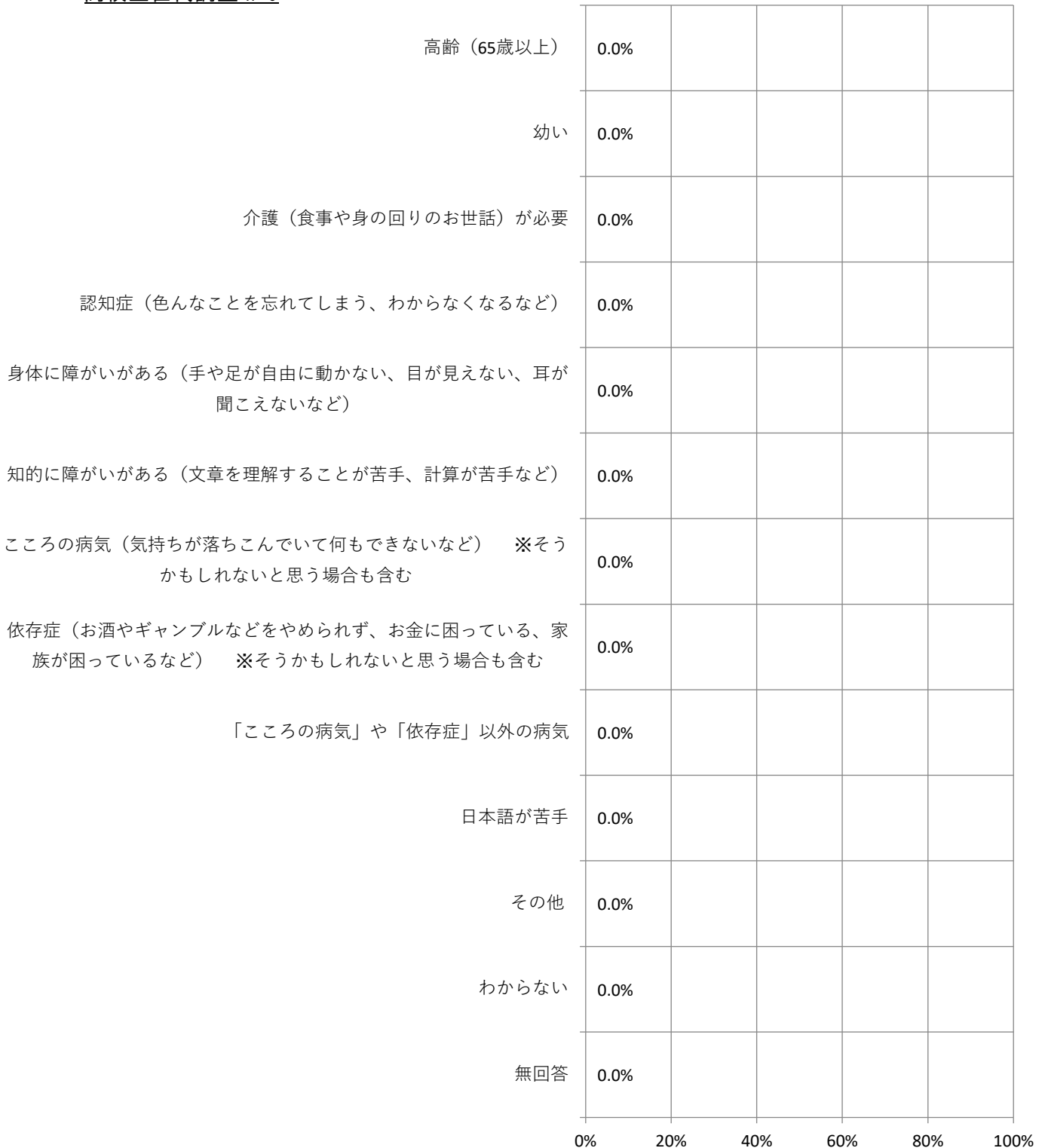
第3章 調査結果 3 高校生世代調査

(問8で「その他」を選択した回答者)

問9-④ その他の人のお世話をしているのはどのような理由ですか。

★問8で「その他」を選択した回答者はいませんでした。

高校生世代調査 n=0

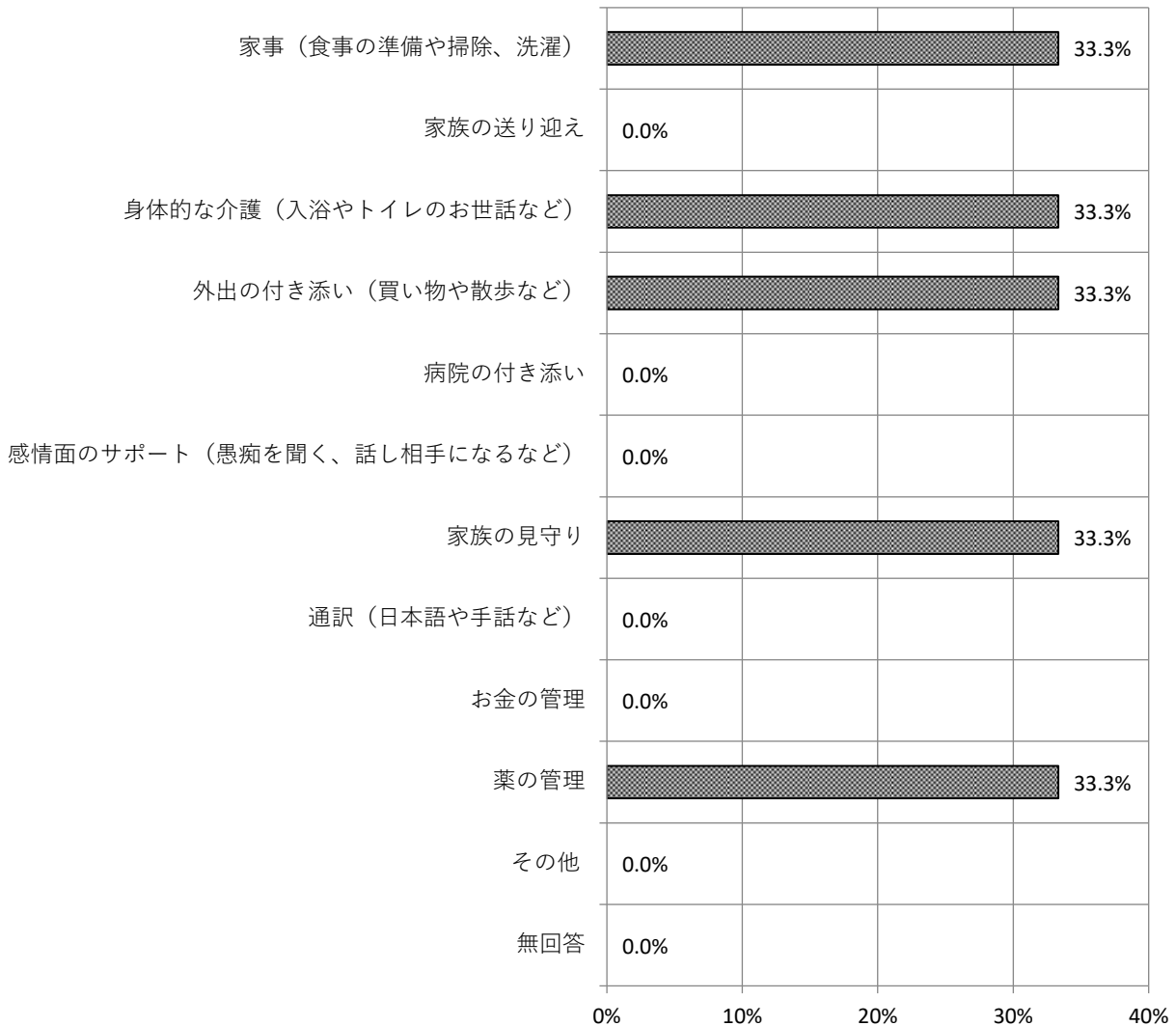


(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問10. あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべて)

「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）」、「外出の付き添い（買い物や散歩など）」、「家族の見守り」、「薬の管理」が 33.3%となっている。

高校生世代調査 n=3



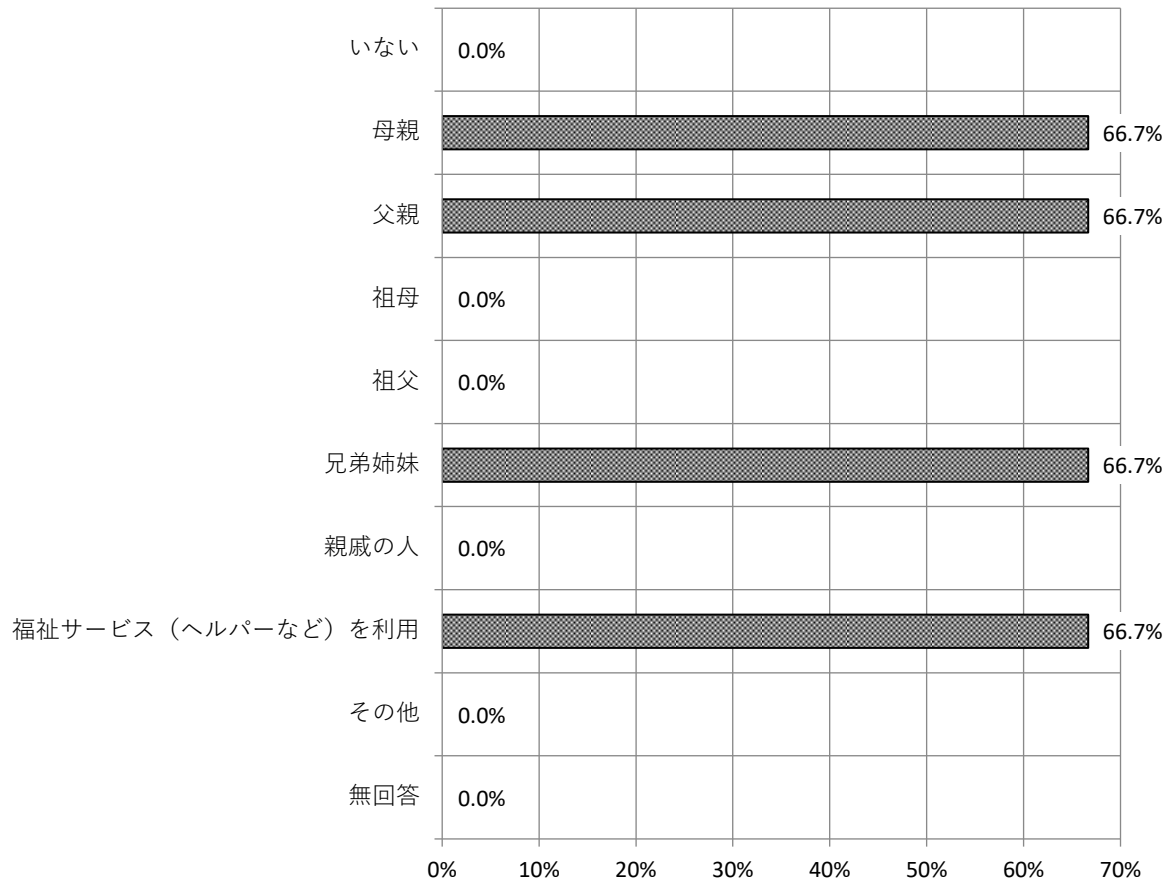
### 第3章 調査結果 3 高校生世代調査

(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問11. あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべて)

「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」、「福祉サービス（ヘルパーなど）を利用」が66.7%となっている。

高校生世代調査 n=3

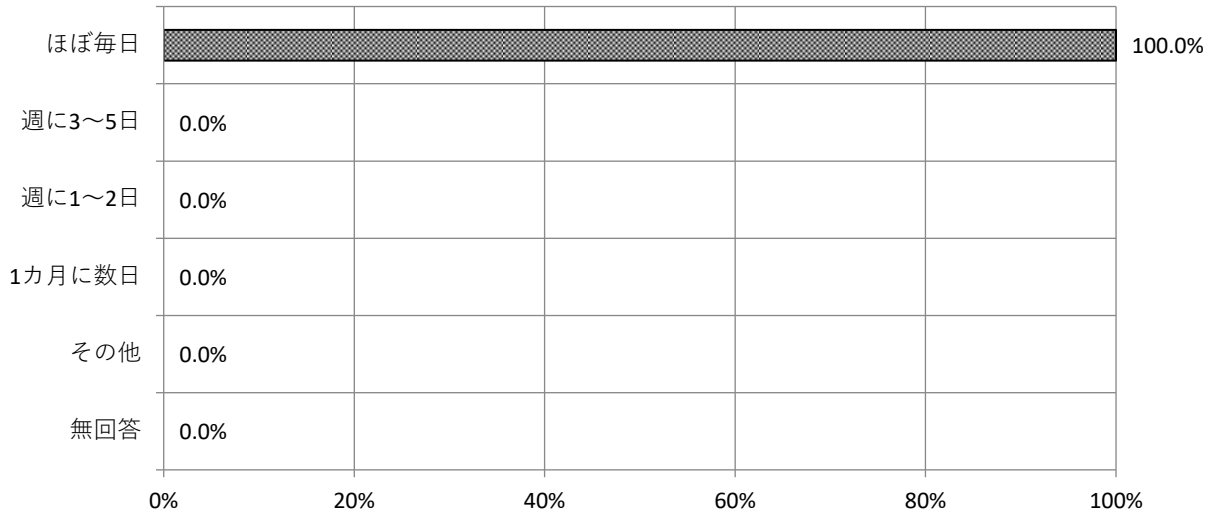


**(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)**

問 12. あなたはどのくらいお世話をしていますか。(答えは1つ)

「ほぼ毎日」が100.0%となっている。

高校生世代調査 n=3

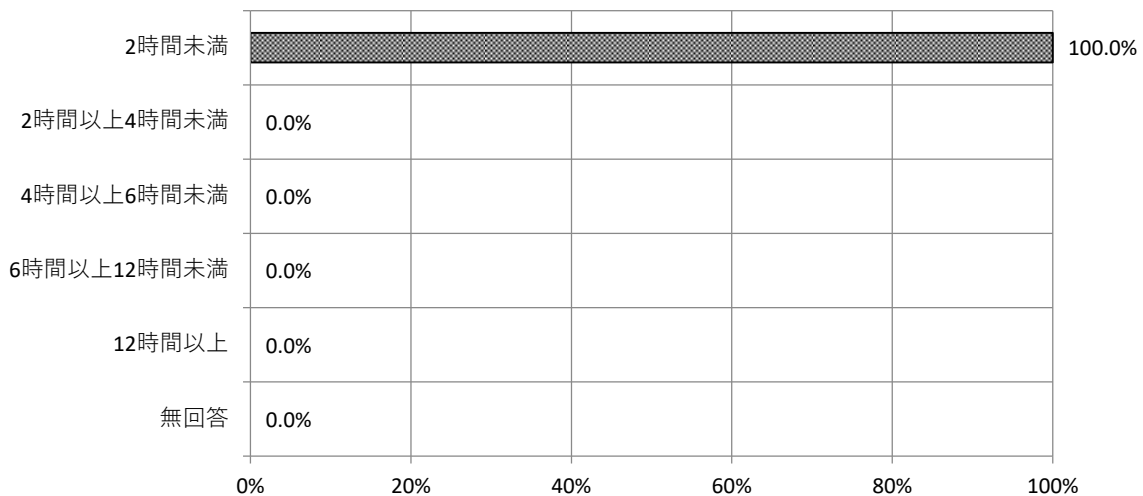


**(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)**

問 13. あなたは1日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1カ月でいちばん長かった日の時間を教えてください)(時間を記入)

「2時間未満」が100.0%となっている。

高校生世代調査 n=3



### 第3章 調査結果 3 高校生世代調査

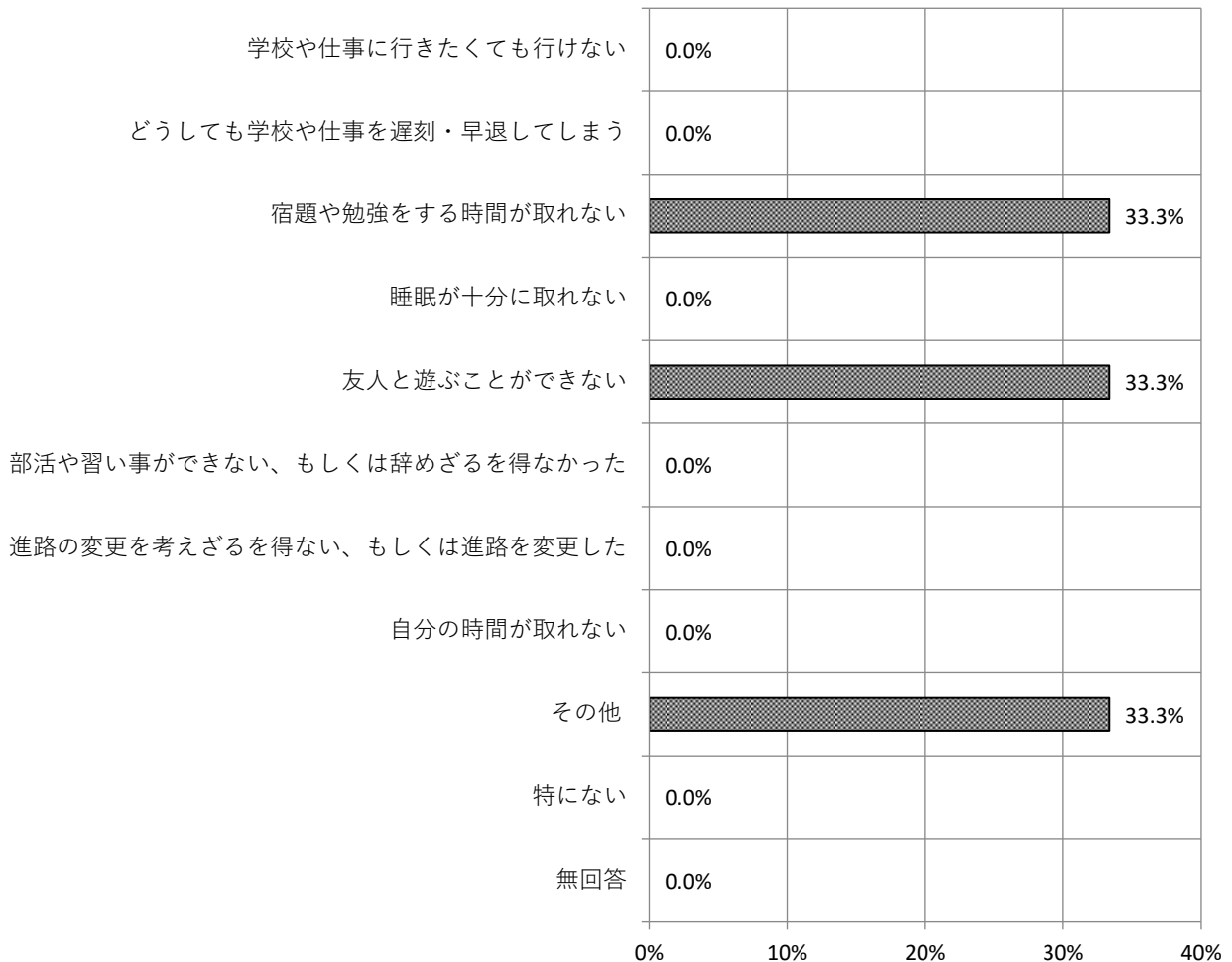
(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問14. お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべて)

「宿題や勉強をする時間が取れない」、「友人と遊ぶことができない」、「その他」が33.3%となっている。

#### 高校生世代調査 n=3

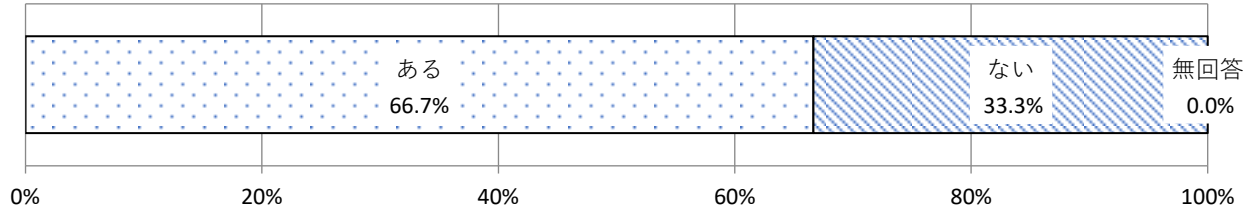


(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 15. あなたはお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(答えは1つ)

「ある」が 66.7%、「ない」が 33.3%となっている。

高校生世代調査 n=3



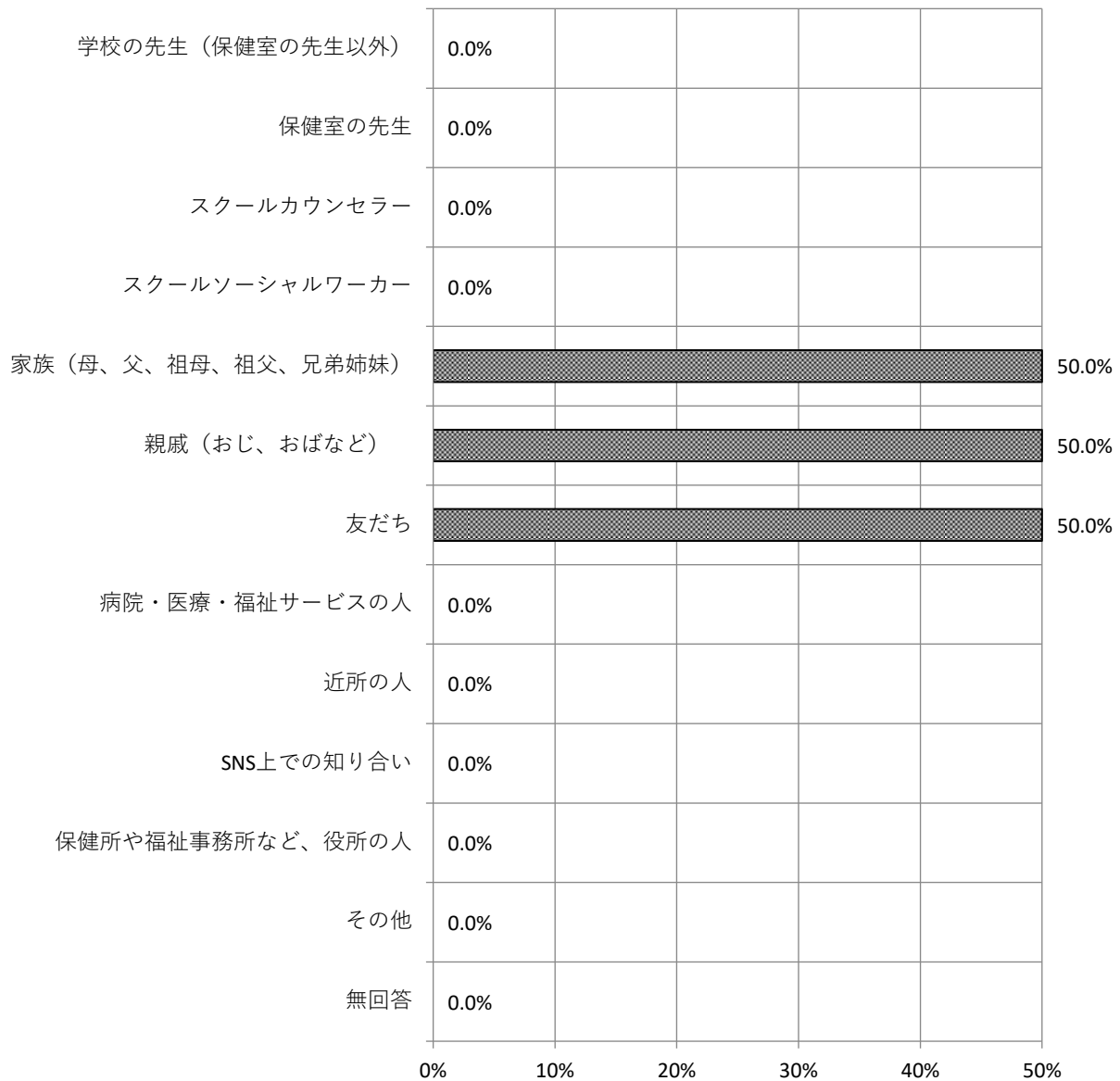
### 第3章 調査結果 3 高校生世代調査

#### (問 15 で「ある」を選択した回答者)

問 15-① 相談した相手は誰ですか。(あてはまる番号すべて)

「家族（母、父、祖母、祖父、兄弟姉妹）」、「親戚（おじ、おばなど）」、「友だち」が 50.0%となっている。

#### 高校生世代調査 n=2

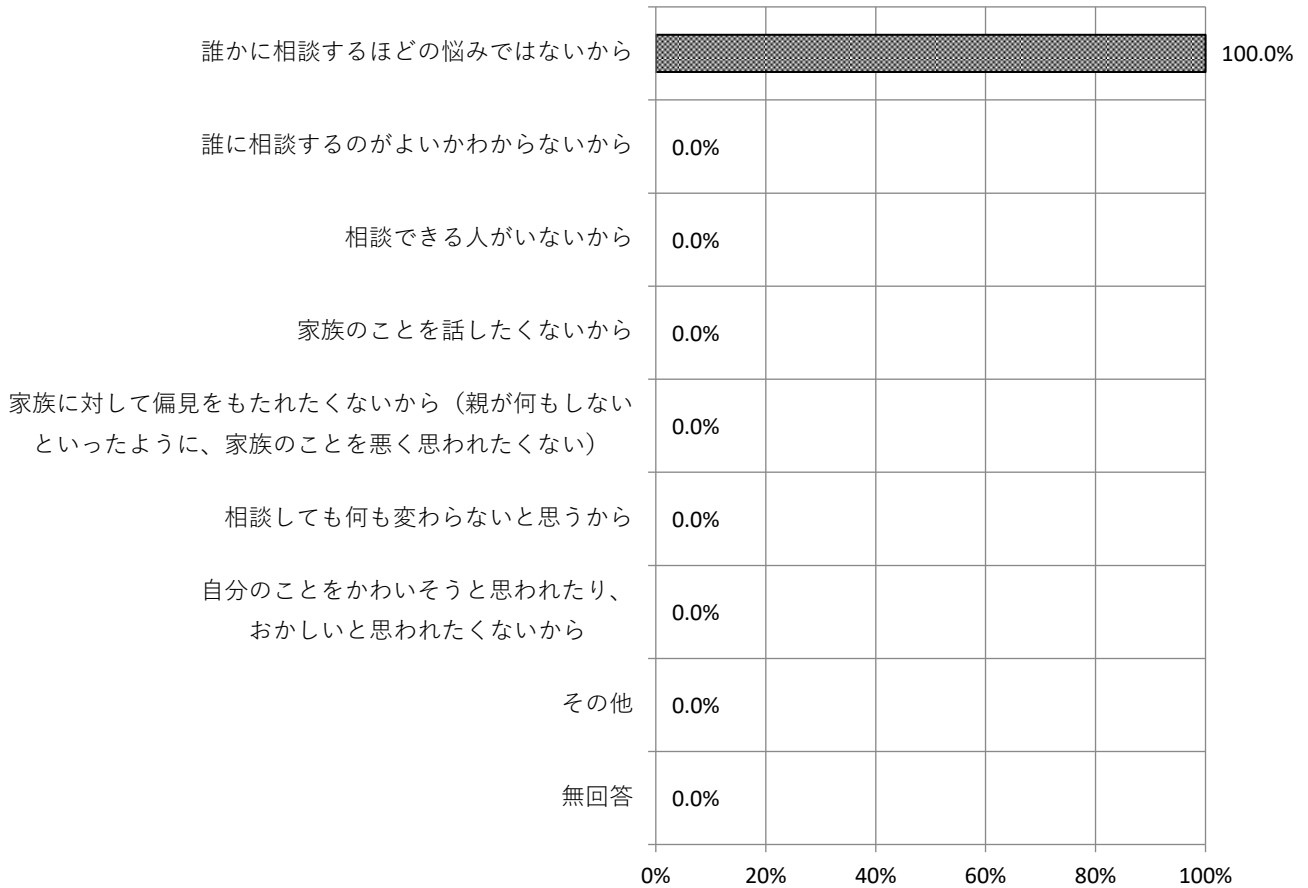


(問 15 で「ない」を選択した回答者)

問 15-② 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべて)

「誰かに相談するほどの悩みではないから」が 100.0%となっている。

高校生世代調査 n=1

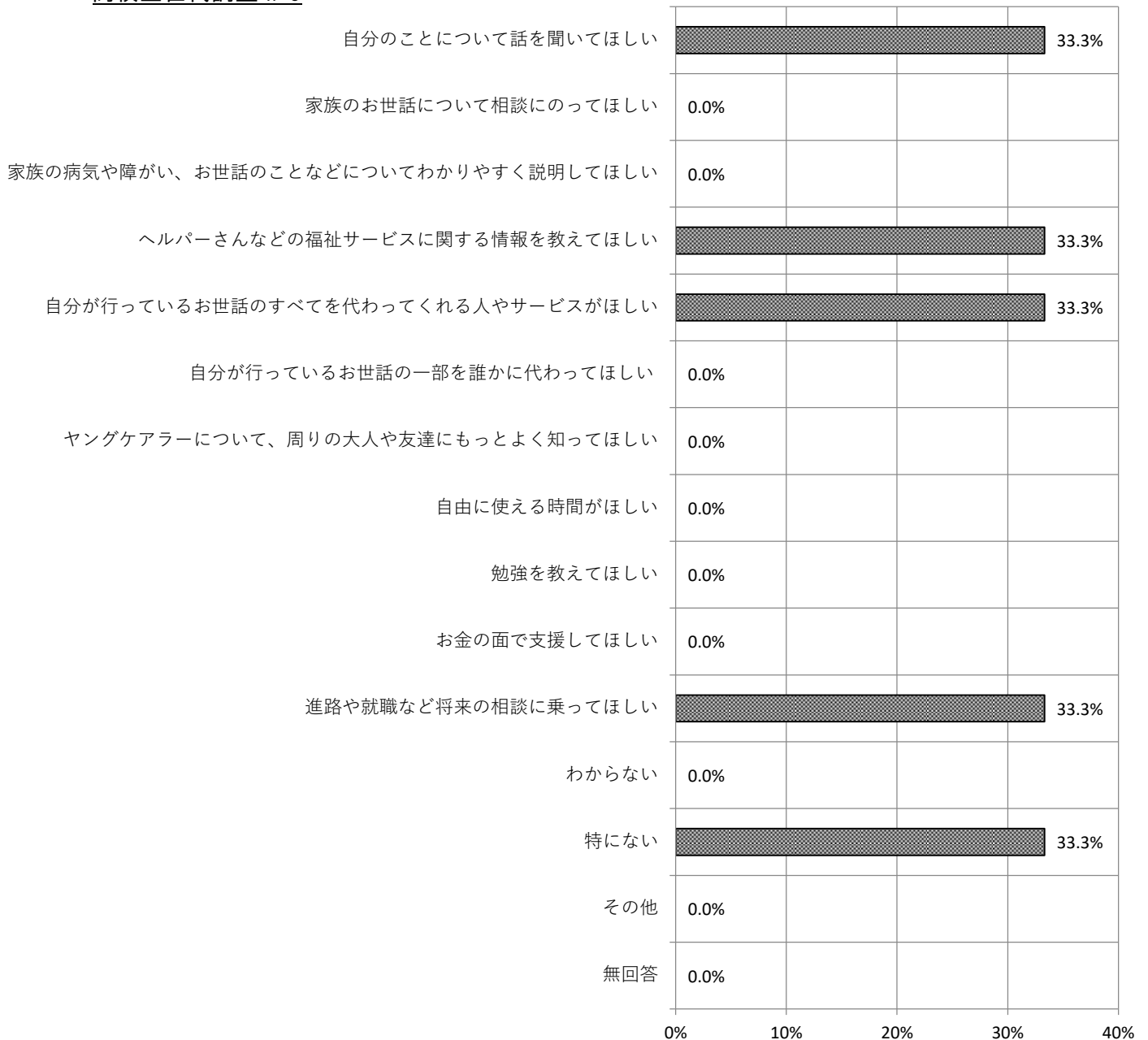


(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 16. 学校や周りの大人にしてもらいたいこと、お世話のことであったらいいなと思うサポートは何ですか。(あてはまる番号すべて)

「自分のことについて話を聞いてほしい」、「ヘルパーさんなどの福祉サービスに関する情報を教えてほしい」、「自分が行っているお世話にすべてを代わってくれる人やサービスがほしい」、「進路や就職など将来の相談に乗ってほしい」が 33.3%となっている。「特にない」は 33.3%となっている。

高校生世代調査 n=3



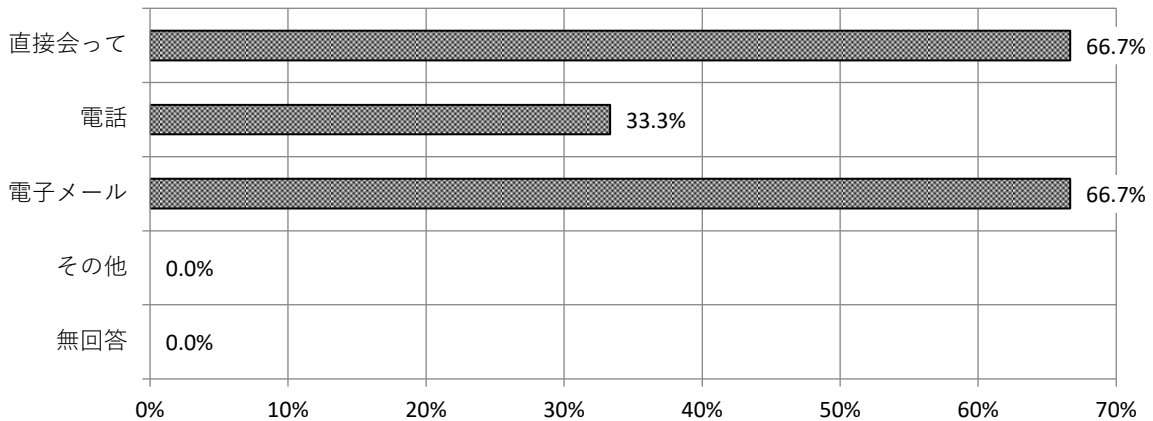
(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 17. あなたはどのような方法で話を聞いたり相談に乗ってほしいですか。

(あてはまる番号すべて)

「直接会って」、「電子メール」が 66.7%、「電話」が 33.3%となっている。

高校生世代調査 n=3

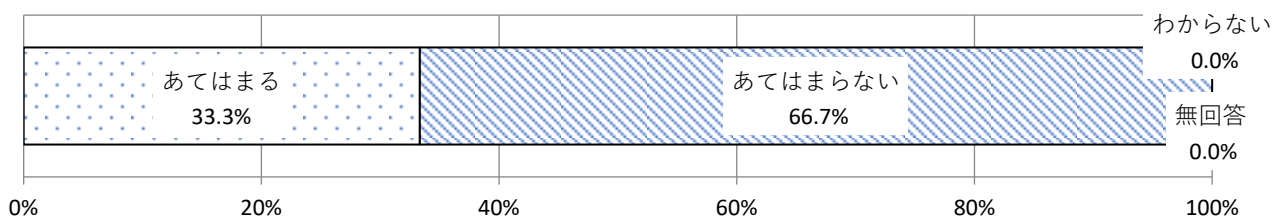


(問6で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者)

問 18. あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思いますか。(答えは1つ)

「あてはまる」が 33.3%、「あてはまらない」が 66.7%となっている。

高校生世代調査 n=3



### 第3章 調査結果 3 高校生世代調査

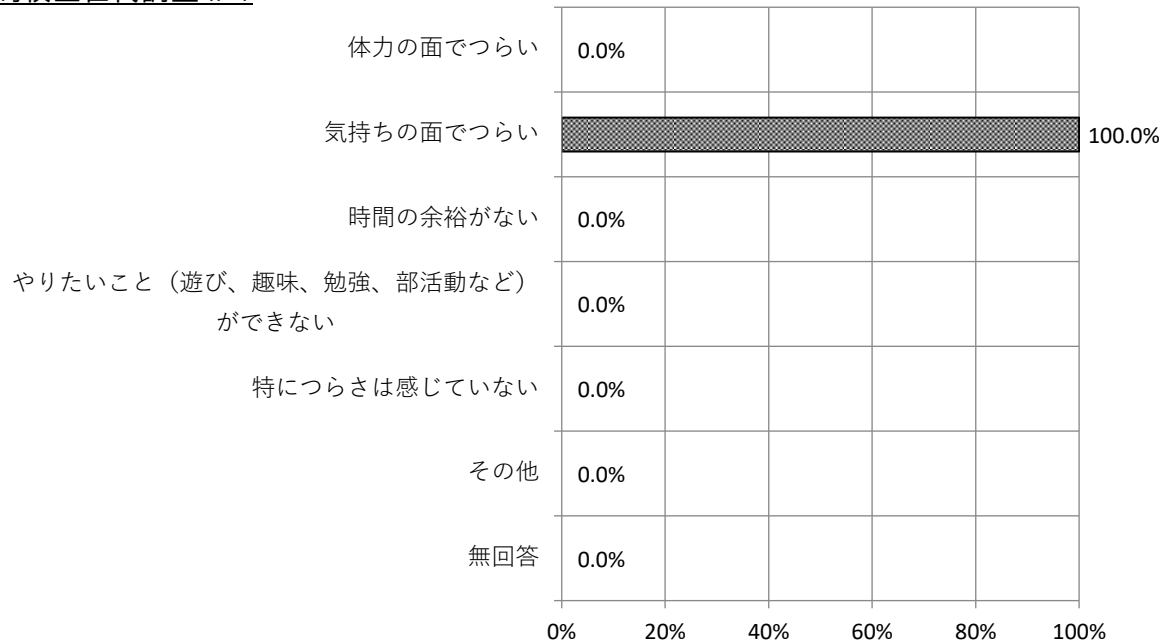
#### (問 18 で「あてはまる」を選択した回答者)

問 18-① あなたは家族のお世話をすることにつらさを感じていますか。

(あてはまる番号すべて)

「気持ちの面でつらい」が 100.0%となっている。

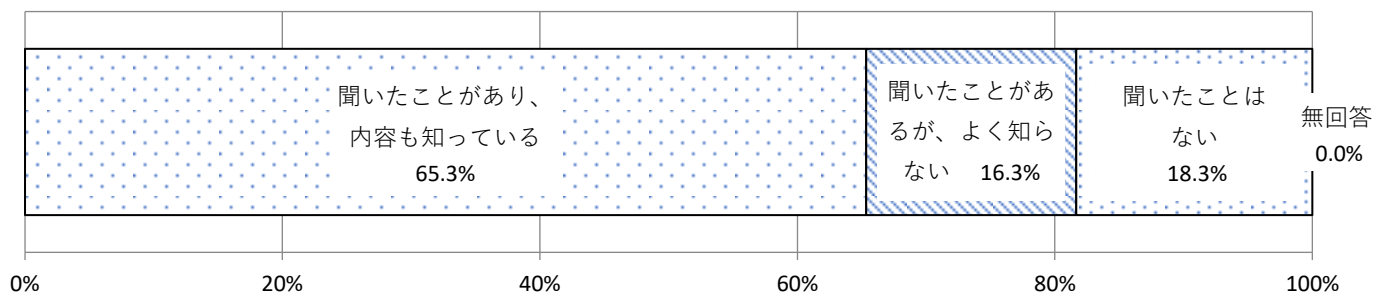
#### 高校生世代調査 n=1



問 19. 「ヤングケアラー」という言葉をこのアンケートをする前に聞いたことがありますか。(答えは1つ)

「聞いたことがあります、内容も知っている」が 65.3%、「聞いたことがあるが、よく知らない」が 16.3%、「聞いたことはない」が 18.3%となっている。

#### 高校生世代調査 n=300



問 20. ヤングケアラーのことで意見や感想、その他困っていることがあれば自由に書いてください。(自由記述)

自由意見の記述があったのは、回収数 300 票中 23 票でした(「無し」等を除く)。

記述内容を以下の 10 カテゴリーに分類しました。なお、分類は問 6 での回答者の選択により、判断が異なる場合があります。

カテゴリー名	問 6 世話の対象 「いる」		問 6 世話の対象 「いない」		全体	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1. ヤングケアラーの認知	0	0.0%	2	8.7%	2	8.7%
2. 共感・同情	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3. 支援・助けたい	0	0.0%	2	8.7%	2	8.7%
4. 問題意識・制度への提言	0	0.0%	12	52.2%	12	52.2%
5. ヤングケアラーの困難の理解	0	0.0%	1	4.3%	1	4.3%
6. 称賛・肯定的評価	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7. 自身・身近な体験	0	0.0%	2	8.7%	2	8.7%
8. 相談・サポート体制	0	0.0%	1	4.3%	1	4.3%
9. 自己開示・援助希求	0	0.0%	2	8.7%	2	8.7%
10. その他	0	0.0%	1	4.3%	1	4.3%
合計	0	0.0%	23	100.0%	23	100.0%

ここでは、自由記述の一部を紹介します。なお、原文を基本としつつ、一部編集・抜粋しています。

#### 【問 6 で、お世話をしている人が「いる」を選択した回答者の自由意見】

問 6 でお世話をしている人が「いる」を選択した回答者の、自由意見の記述はありませんでした。

【問6で、お世話をしている人が「いない」を選択した回答者の自由意見】

1. ヤングケアラーの認知

1	自分のまわりでヤングケアラーの話聞いたことはない。
2	こういったアンケートをしていただきありがとうございます。自分は健康に楽しく生活できていてヤングケアラーのことで何も不安や心配なく過ごしていますが、このアンケートを通じてそういったヤングケアラーで困っている人もいるんだなと知れたことがよかったですし、普段の当たり前で楽しい生活が当たり前じゃないなと感謝しなければならないなと再認識できました。いつも狛江市のために様々な努力をしてくださってありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

3. 支援・助けたい

1	できることがあるなら助けになりたい。打ち明けることは難しいと思う。
2	身近にヤングケアラーだとわかっている人はいないので、日本にそういう状況におかれている人がいるという実感が湧かない。同じ年代の人が困っているのであれば、何か手伝えることがないのか、あれば知りたい。

4. 問題意識・制度への提言

1	とても難しい問題だと思います。
2	もっと支援していくべきだと思う。
3	金と人材派遣。
4	もっと早く取り組むべき問題だったと思います。
5	親がいなく祖母に育てられていたり、片親の人にヤングケアラーが多いので、国など現状よりも支援を増やした方が良いと思う。
6	もっとヤングケアラーのことを世に広めていくべきだと思う。
7	SNSで親の介護をしていて限界にもかかわらず自治体の方が助けてくれない等の事例を見た事がある。そのようなことが起きないようにしてほしい。
8	私は今、受験生で思うように勉強できる環境がありますが、自身の将来のために思うように時間を費やせない人が同年代にいるという現実には早急に変えて欲しいと思います。そのために、子供の生活支援のための政策を推進していくべきだと強く思います。また、少子高齢化の進んでいる現状を考慮すると、高齢者支援のための政策や施設を整えていくことで、私たちの親世代、子供たちの介護の負担を減らすことができるので、QOLを高めることにつながると思います。全ての支援を今すぐに行き渡らせることは難しいですが、優先順位をつけて支援体制を整えることで、少しでもヤングケアラーの問題を解消し、子どもたちのQOLを高めて欲しいです。
9	自分の周りにはいないけれど学校で調べたことがあります。こういう人が気

	軽に周りに助けを求められる社会になってほしいと思います。
10	人がどうこういう問題ではない。辛くなってそれを吐ける場所、対応ができるようにしとくだけでいい。こちらから問題を探し無理やり助けたりするのは違う。それは助けじゃなく干渉しているしこちら側が問題を作っていると思う。
11	ヤングケアラー問題は、若い時の時間を自分のために使えないという、不公平な現実だと思います。市として、この言葉の意味・実態をもっと広めていくべきだと思います。
12	ヤングケアラーが置かれている状況が、まだ社会全体に十分理解されていないことが問題だと思います。本人たちは「家のことを手伝うのは当たり前」と感じていることが多く、自分がヤングケアラーであると気づかない場合もあります。このような状況を変えるためには、周りの大人たちの理解と支援が必要です。学校では、先生が家庭の事情に気づいたときにそっと声をかけたり、相談できる場所を作ったりすることが大切だと思います。また、行政や地域が協力して、家庭への支援体制を整えることも欠かせません。ヤングケアラーの中には、家族を思う優しさや責任感を持っている人が多いと思います。しかし、その優しさが原因で自分の夢や可能性をあきらめてしまうことがあってはいけません。子どもたちが安心して成長できる社会をつくるために、私たち一人ひとりがこの問題に関心を持ち、より多くの人に知ってもらうことが大切だと感じます。

## 5. ヤングケアラーの困難の理解

1	テレビ等で見て、存在は知っていますが、周りに知っている人はいません。知らないだけで、いるだろうとは思いますが、でも、本人がオープンでないならこちらから聞くことはしないので、助けたくても助けられません。
---	--

## 7. 自身・身近な体験

1	住んでいるのは狛江市ではないが、身の回りにヤングケアラーに該当しそうな子がいて自分にはなにもできないのがもどかしく感じる。
2	自分は福祉の分野に興味があるのですが、ヤングケアラーの方々に具体的にはどのような支援を行うのか気になりました。私には以前ヤングケアラーと思われる友人がいましたが、本人も進んで周りに話すことはなく、私もその友人に嫌われることを恐れて周りには相談しませんでした。支援の内容が分かった方が、当事者の方々も相談しやすいのではないかと思います。

## 8. 相談・サポート体制

1	どうやって付き合っていけばよいのかよくわからない。
---	---------------------------

## 9. 自己開示・援助希求

1	数年前祖母が倒れてしまい日中誰もいないところで歩こうとするくせがあるため私が家にいて家事を代わりにしたり、見守りを兼ねて学校を休学のような感じの状態になったことがありました。その時カウンセラーさんと話した時ヤングケアラーではないのかと言われて初めて知ったのはその時です。
2	母親が急にいなくなってゲームのパスワードとか分からないし連絡手段がない。妹の親権がどちらに行くか。弁護士などの話が出て費用だけでもお金がかかるせいで本来みんなで遊べた時間が消えること。

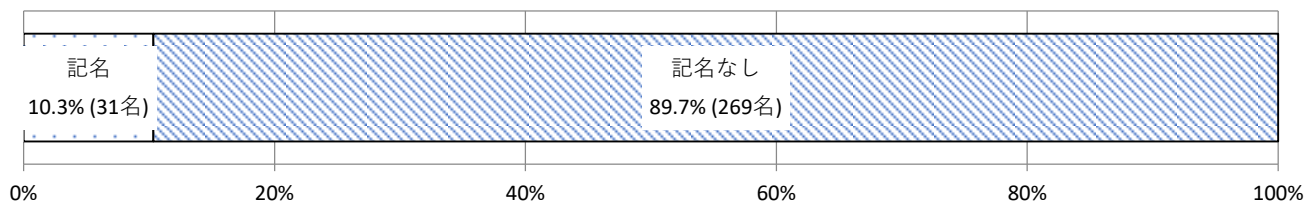
## 10. その他

1	いつもありがとうございます！
---	----------------

★ 最後に、ヤングケアラーについて悩んでいて、今すぐ「相談したい」、「支援してほしい」人のみ、こちらにお名前・住所・電話番号を書いてください。

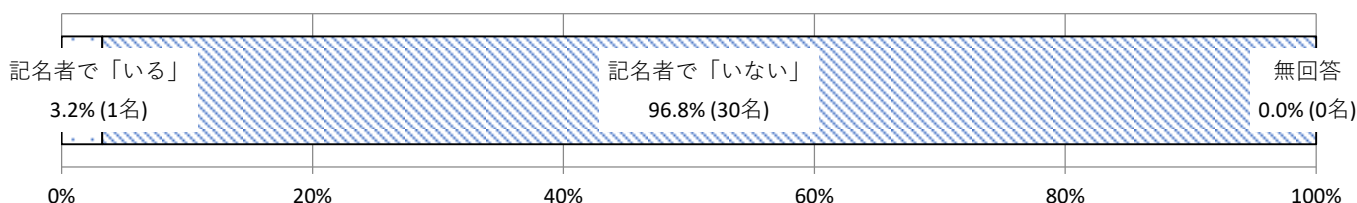
ヤングケアラーについて悩み、相談や支援を希望する子どもが任意で記名できる設問を設けたところ、記名した回答者は31名（10.3%）でした。

高校生世代調査 n=300

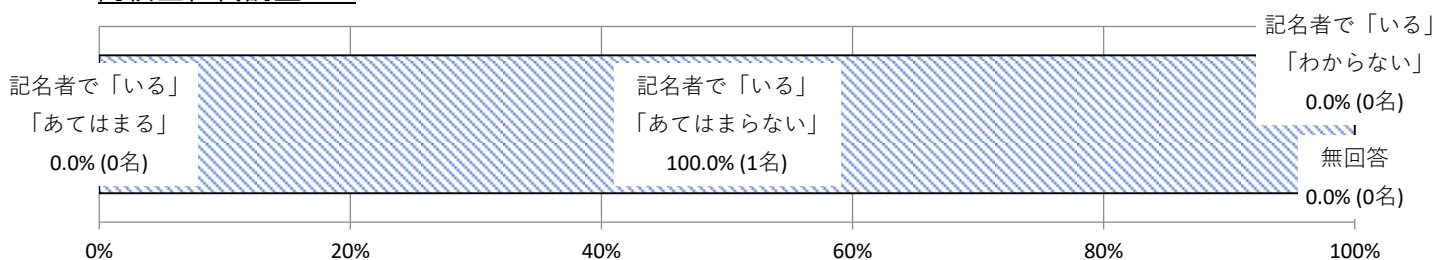


そのうち、世話をしている家族が「いる」を選択した回答者は1名（3.2%）で、自身がヤングケアラーに「あてはまる」を選択した回答者はいなかった。

高校生世代調査 n=31



高校生世代調査 n=1



---

狛江市ヤングケアラー実態調査報告書

---

発行日 令和8年3月  
発行 狛江市  
編集 子ども家庭部 子ども家庭課 児童相談係  
〒201-0013  
狛江市元和泉2-35-1 (あいとぴあセンター1階)  
03-5761-7990